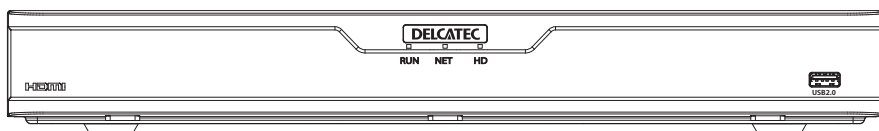
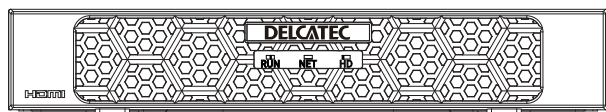


ネットワークレコーダー

CNE3R423 ・ CNE3R443 ・ CNE3R463
CNE3R842 ・ CNE3R882 ・ CNE3R8F2



設定ガイド

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- ・ この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに

準備

設定

その他

使用上のお願い	4	設定メニューについて	36
録画について	4	カメラ選択	37
使用上のご注意	4	カメラ選択	37
設置のご注意	4	オーディオとビデオ	41
商標について	4	設定	44
本書について	4	PTZ	53
用語	5	パノラマリンク	56
このマニュアルで使われている用語 ..	5	検索	57
このマニュアルで使われている記号 ..	5	ビデオ	57
本製品の概要	6	画像	59
接続方法	7	イベント	61
マウスの使い方	9	対象物	62
キーボード入力の方法	10	合計	62
初期設定	11	その他	63
ログイン	15	バックアップ / アップグレード ...	64
ホーム画面	16	録画データをバックアップする	65
メインメニュー	17	VCA	67
ポップアップメニュー	18	VCA 設定	67
コンテキストメニュー	20	周辺機器	68
録画映像を再生する	21	システム	69
再生画面の表示方法	21	一般	69
再生画面について	22	画面表示	73
タイムライン表示	26	ネットワーク情報	76
設定した検知録画映像を再生する ..	27	ユーザー管理	81
検知した映像を再生する	27	セキュリティ	83
ファイル管理画面	28	ストレージ	85
ファイル管理のデータをバックアップ		録画スケジュール	85
する	29	スナップショット	87
録画画質を設定する	30	ハードディスク	88
録画スケジュールを設定する	32	ディスクグループ	88
映像を拡大して見る		容量設定	89
(デジタルズーム)	34	アドバンスド	91
ライブ映像画面でズーム表示する ..	34	アラーム	92
再生画面でズーム表示する	35	動体検知	94
		タンパリング	95
		人体検知	95

ビデオロス検出	96	が出る.....	143
入力／出力	96	■マウスが動かない	144
システム警告	97	■キーボードから文字入力ができない	144
音声検知	98	■カメラの Web 管理画面で設定した設定値 とは異なる設定値がレコーダーの設定画面 に表示されている	144
ブザー	99	■バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できない	144
人体検出アラーム.....	99	■ USB デバイスで、ファイルフォルダが 認識できない.....	144
ワンキー警戒解除.....	100	■モニターに映像が映らない.....	145
メンテナンス	102	■画面がはみ出して切れた状態で表示される	145
システム情報	102	■本製品の PoE 端子にネットワークカメラ を接続すると、ネットワークカメラの IP アドレスが変更される.....	145
ネットワーク情報.....	103	■ 本製品の PoE 端子につながれたネットワーク カメラにネットワーク端子側のパソコンから アクセスできない	145
ログ.....	107	■ Web 管理画面のとき、ライブビュー画面 でカメラの切り換えができない.....	145
メンテナンス	108	■ Web 管理画面のとき、スケジュール設定で 「休日の設定は 8 を超えました」という メッセージが表示された.....	146
システムアップグレード.....	111	使用上のご注意	147
HDD	112	設置上のご注意	148
手動.....	114	このマニュアルについて	149
マニュアル録画	114	動作環境.....	150
手動スナップショット.....	115		
手動アラーム	115		
ブザー	116		
手動で通行させる.....	116		
電源オフ	117		
電源オフ	117		
Web 管理画面について	118		
ホーム画面	121		
ツールメニュー	123		
再生画面	124		
録画データの再生.....	126		
設定画面	128		
故障と判断する前に.....	139		
■ログインパスワードを変更する	139		
■カメラを本製品に接続しても認識されない	141		
■ライブビューに映像が表示されない	141		
■ライブビューは表示されているが録画が 見つからない.....	142		
■動体検知がうまく働かない.....	142		
■ネットワークカメラの映像に横縞（フリッカー）			

使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、本製品の内蔵ハードディスクに正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。内蔵ハードディスクの書き込み回数は、約 1000 回です。
(ただし、使用環境によって異なります)

使用上のご注意

- ・ 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- ・ 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- ・ 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

設置のご注意

- ・ 本製品に登録するカメラを設置するときは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

商標について

- ・ Microsoft、Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ iOS は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国や地域における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ Android および Google Chrome は、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- ・ その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

HE Advance™
Covered by Patents at patentlist.accessadvance.com

本書について

- ・ 本書に掲載されているイラスト、図、説明文は実際の製品の外観や機能と異なる場合があります。内容の正確性には細心の注意を払っておりますが、技術的な誤りや誤植が発生することがありますので、ご了承ください。
- ・ 不適切な操作によって生じる破損や損害は、当社では責任を負えません。
- ・ 本書は、8ch 対応ネットワークレコーダーを元に作成しています。

用語

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	ネットワークレコーダー「CNE3R シリーズ」を称して「本製品」と表記しています。
4ch モデル	最大 4 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CNE3R423 / CNE3R443 / CNE3R463
8ch モデル	最大 8 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CNE3R842 / CNE3R882 / CNE3R8F2

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
4ch	4ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CNE3R423 / CNE3R443 / CNE3R463
8ch	8ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CNE3R842 / CNE3R882 / CNE3R8F2

本製品の概要

本製品は、ハードディスク搭載ネットワークレコーダーです。本製品と当社監視カメラ（CNE3C シリーズ）を接続することで、すぐに利用いただくことが可能です。

●PoE 対応

カメラ接続用ポートはすべて PoE（PoweroverEthernet）に対応。PoE 対応カメラにカテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルを接続することで給電することができます。

●USB ポート

USB ポートを搭載し、USB メモリーを挿すことで映像の書き出しができます。

●カメラ設定

接続しているカメラの設定を、本製品の管理画面から簡単に変更することができます。

●DDNS サービス

ダイナミック DNS サービス「SkyLinkDDNS」に対応し、IP アドレスが変更されても同一カメラの映像を見ることが可能です。

●モバイル用アプリ対応

モバイル用アプリ「Guard Viewer」に対応し、スマートフォン（iOS/Android 版）やタブレットから監視カメラのライブビュー・録画再生映像を見ることができます。

●本書に記載されているイラスト、画面などは実際の製品と異なる場合があります。

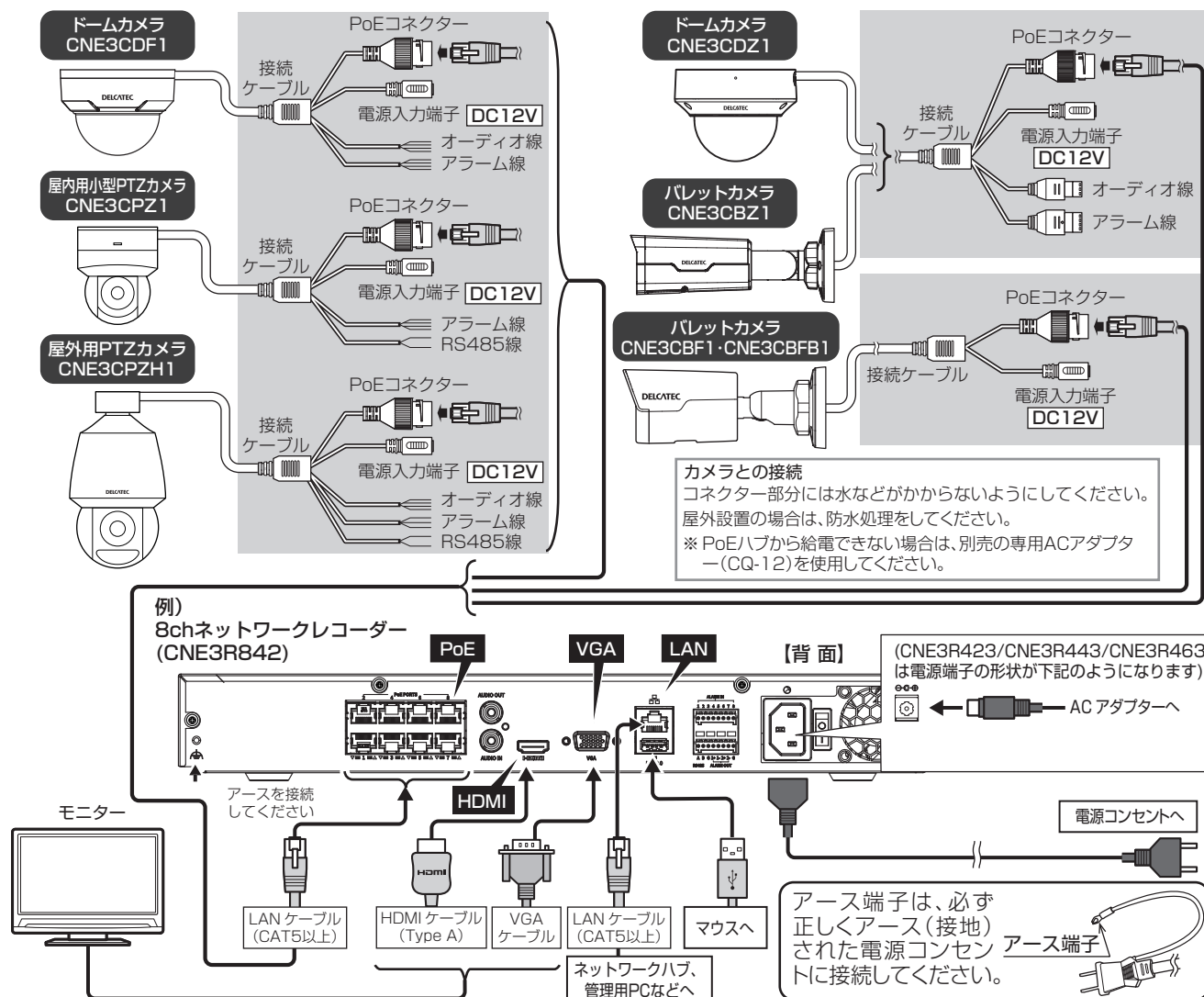
接続方法

■接続例

各カメラの設置・接続方法は、カメラに付属している取扱説明書または PDF 版取扱説明書（詳細）を参照してください。

重要 <モニター接続時の注意>

- 電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。
- ネットワークレコーダーの出力解像度の初期設定は、「1280x1024/60Hz」です。接続するモニターが上記解像度に対応していない場合は、接続する前にネットワークレコーダーの出力解像度を設定してください。（73 ページ「画面表示」参照）



重要 本製品に同梱されている AC アダプター、電源コードは本製品専用です。他の機器への流用および同梱以外の機器・ケーブルの使用はできません。

重要 <VGA 接続時の注意>

接続するモニターによっては、対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。モニター側の表示調整機能にて、調整をお試しください。（モニターや解像度によっては、調整を行っても正しい表示にはならない場合もあります。）

●はじめに、デバイスがネットワーク経由で本機に接続されていることを確認してください。通常は別売の DX アンテナ製のネットワークカメラが、工場出荷設定の状態のとき、PoE 端子に接続するだけでご利用いただけます。

●2つのモニターをそれぞれ HDMI 端子と VGA 端子に接続した場合、同じ映像が映ります。

●電源を供給する前に機能アースを必ず接地してください。なお、機能アースは安全アースではありません。

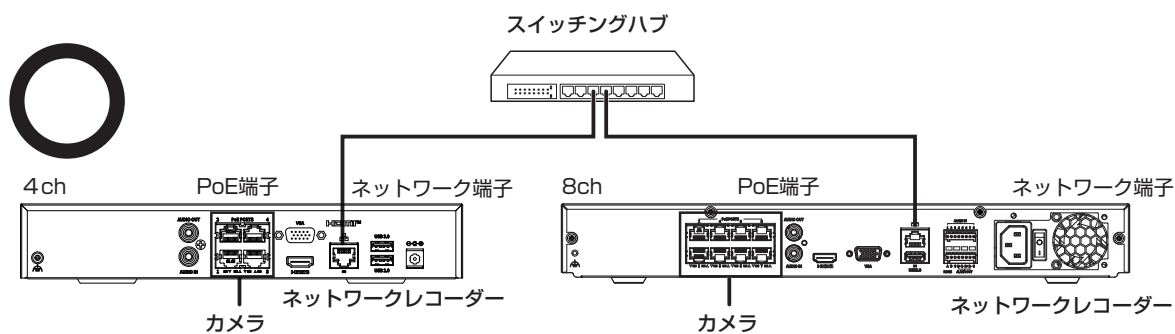
■ネットワークカメラの接続可能台数について

●バレットカメラ／ドームカメラ／PTZ カメラ

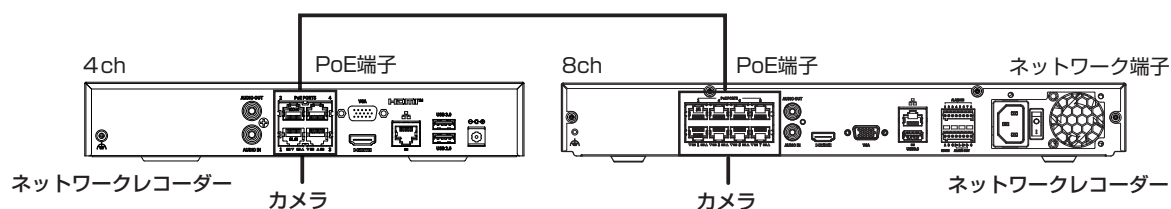
ネットワークレコーダー	バレットカメラ／ドームカメラ／PTZ カメラ
4ch モデル	4 台まで（最大 50W まで）
8ch モデル	8 台まで（最大 130W まで）

同一ネットワーク上に複数のネットワークレコーダーを接続する場合

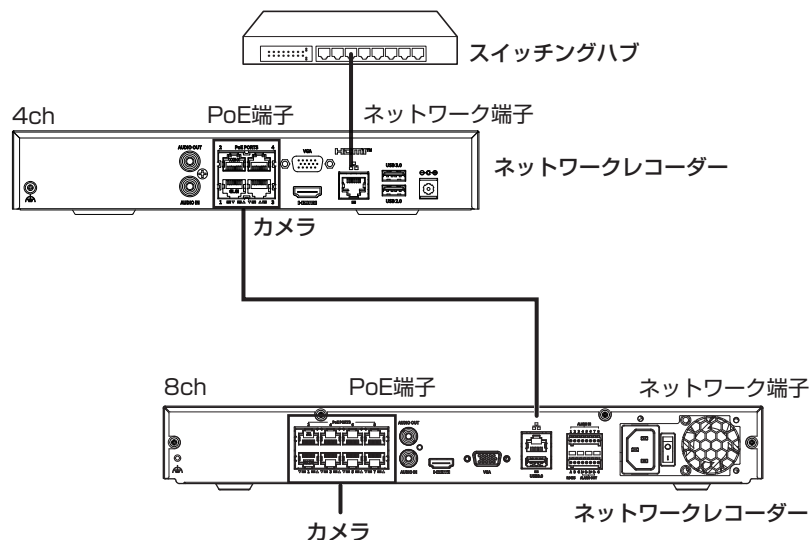
ネットワークレコーダーはスイッチングハブ経由ネットワーク端子で接続してください。ネットワークレコーダー同士を PoE 端子を利用して接続すると、誤動作の原因となります。



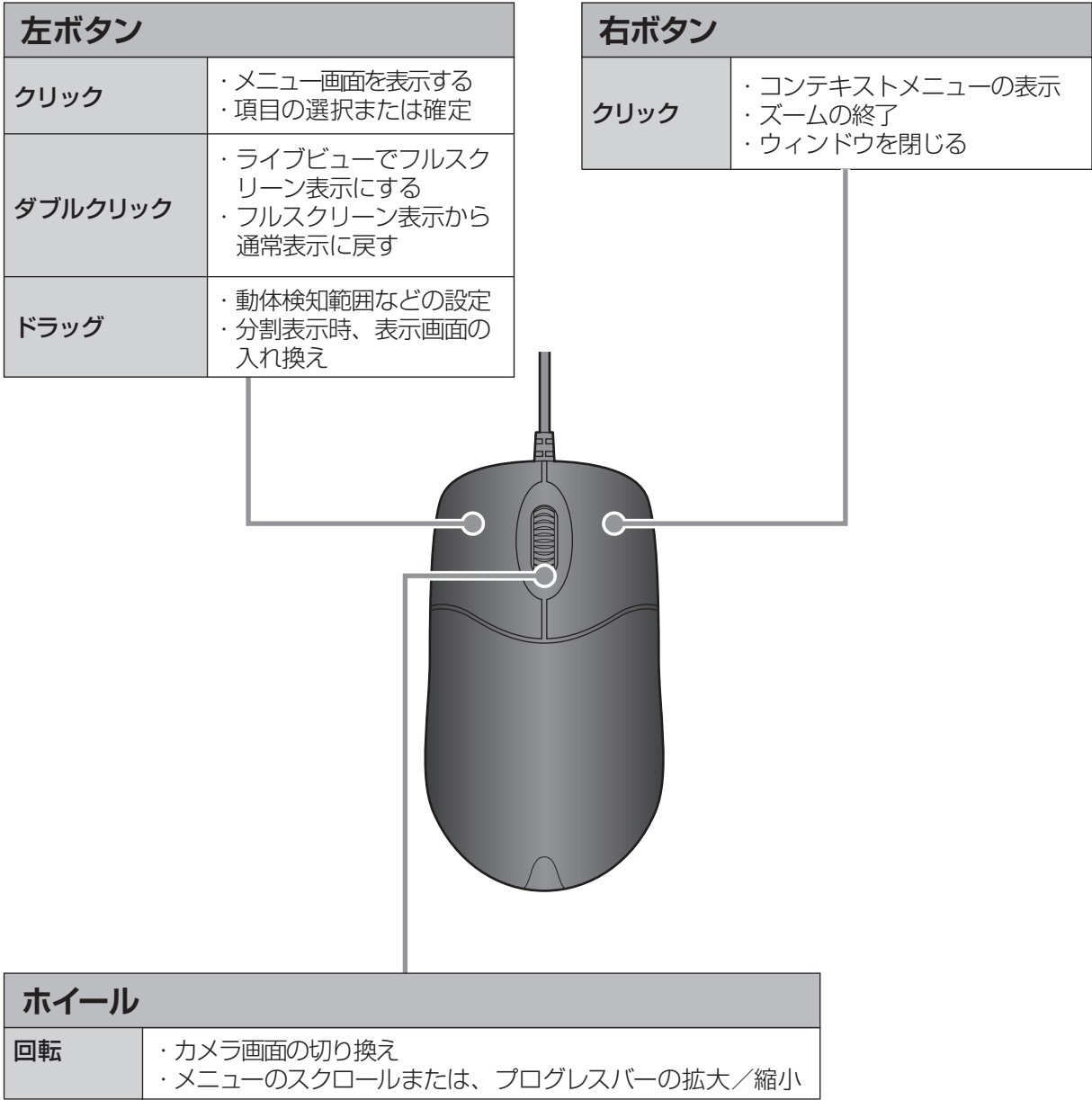
ネットワークレコーダー同士をPoE 端子で接続しない。



ネットワークレコーダー同士をPoE 端子とネットワーク端子で接続しない。



マウスの使い方



はじめに

準備

設定

その他

キーボード入力の方法

入力欄をクリックすると、ソフトキーボードが表示されます。マウスのカーソルを入力したい文字に合わせてクリックして文字を入力します。



本製品に USB キーボードを接続しても、ご利用になれません。

初期設定

本製品の電源を入れると、モニターに初期設定ウィザードが表示されますので、画面に従って設定します。

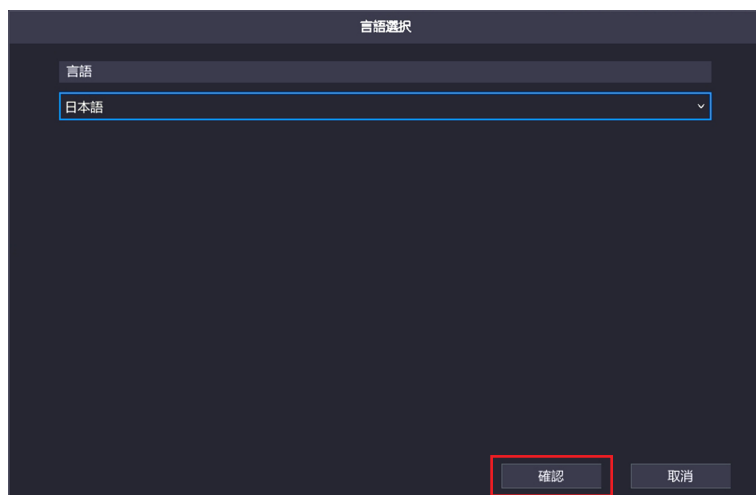
● 初期設定の内容は、後からでも設定・変更できます。

重要 電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。



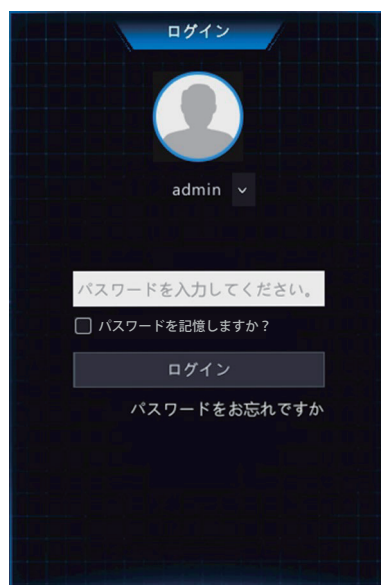
CNE3C シリーズネットワークカメラは、カメラを本製品の PoE 端子に接続するだけで、ご利用いただけます。

1 言語を選択し、[確認] をクリックします。



2 入力欄をクリックして初期設定のパスワードを入力します。

初期設定のパスワード：123456



ログインすると、新しいパスワードに変更するよう促すメッセージが表示されます。

[確認] をクリックすると、パスワード変更画面が表示されます。



3 新しいパスワードを設定します。

①「古いパスワード」入力欄をクリックして、現在のパスワード(初期パスワード:123456)を入力します。

②「パスワード」入力欄をクリックして、新しいパスワードを入力します。

※新しいパスワードは英字・数字・記号をすべて使用した9～32文字で設定してください。

※スペースは入力できません。

※パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されるので「強」になるようにしてください。

③確認のため、「パスワード(確認)」欄に新しく設定したパスワードを再度入力します。

④[適用] をクリックします。

※パスワードの復旧設定を行う場合は、連絡先メールアドレスを入力してください。後で行う場合は、「Eメール」のチェックをはずしてください。

重要

●初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。

●変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。

(付属の取扱説明書内にパスワードを記録する欄を設けておりますので、ご利用ください。)

4 アンロックパターンの設定をします。

本機に接続したマウスでクリック&ドラッグしながら、○を結ぶ好きなパターンを設定します。

※確認のため同じパターンを2回入力する必要があります。

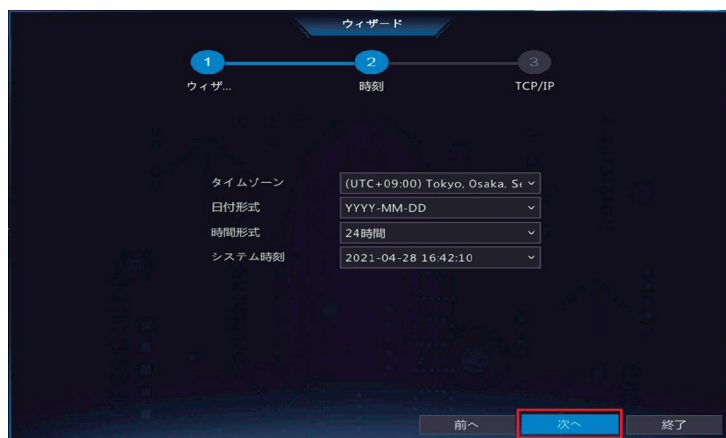
パターンが設定されると、ウィザード画面が表示されます。

パターンを設定しないときはスキップを選択してください。

5 「次へ」をクリックします。



6 「時刻」を設定して、「次へ」をクリックします。



システム時刻は、NTP サーバーによる自動更新（同期）を設定することも可能です。初期設定完了後にメニューから「設定」－「システム」－「時刻」画面で設定できます。
詳しい設定方法は（➡ 70 ページ）をご参照ください。

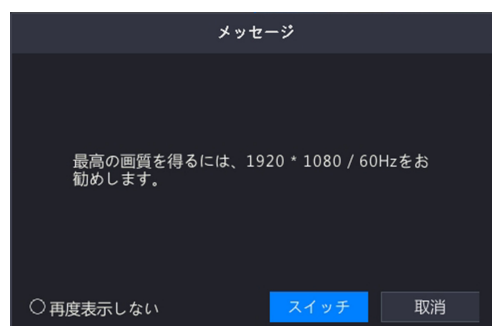
7 本機のネットワーク設定をして、「確認」をクリックします。

IP アドレスなどを変更したい場合は設定します。変更の必要のない場合は、そのまま「終了」をクリックします。

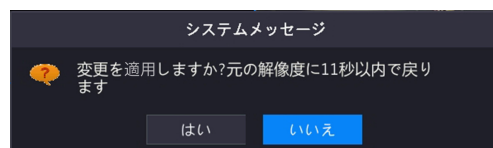


ウィザード終了の確認画面が表示されるので「はい」をクリックすると、最高の画質に調整するメッセージ画面が表示されます。

「スイッチ」をクリックすると、画質が自動調整されます。



自動調整後、確認メッセージが表示されます。設定を有効にするには「はい」をクリックします。



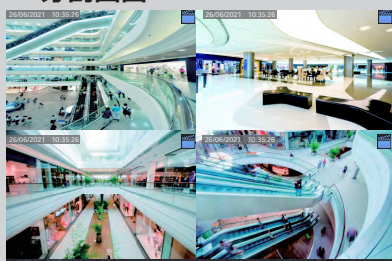
初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

- カメラは接続するだけで、特別な設定を行わなくても映像が表示され、録画も常時行われるようになります。
- カメラ映像が表示されるまで少し時間がかかる場合があります。
 - ➡ カメラ映像が表示されない場合は、141 ページをご参照ください。

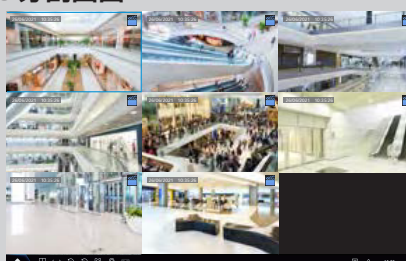


4ch モデルは 4 分割画面、8ch モデルは 9 分割画面が表示されます。
(画面の分割は、「メインメニュー」から変更することができます。(➡ 17 ページ))

4分割画面

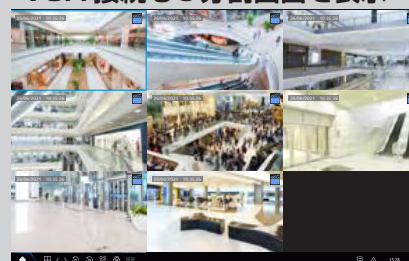
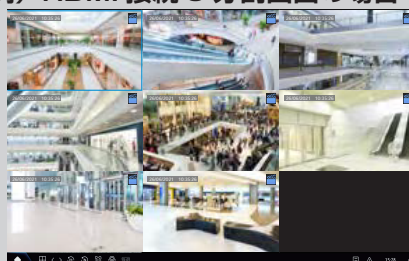


9分割画面



8ch モデルで HDMI 接続と VGA 接続の両方にモニターを接続した場合、HDMI 接続しているモニターには 9 分割画面が、VGA 接続しているモニターにも、同じ画面が表示されます。

(例) HDMI 接続 9 分割画面の場合 ▶ VGA 接続も 9 分割画面を表示



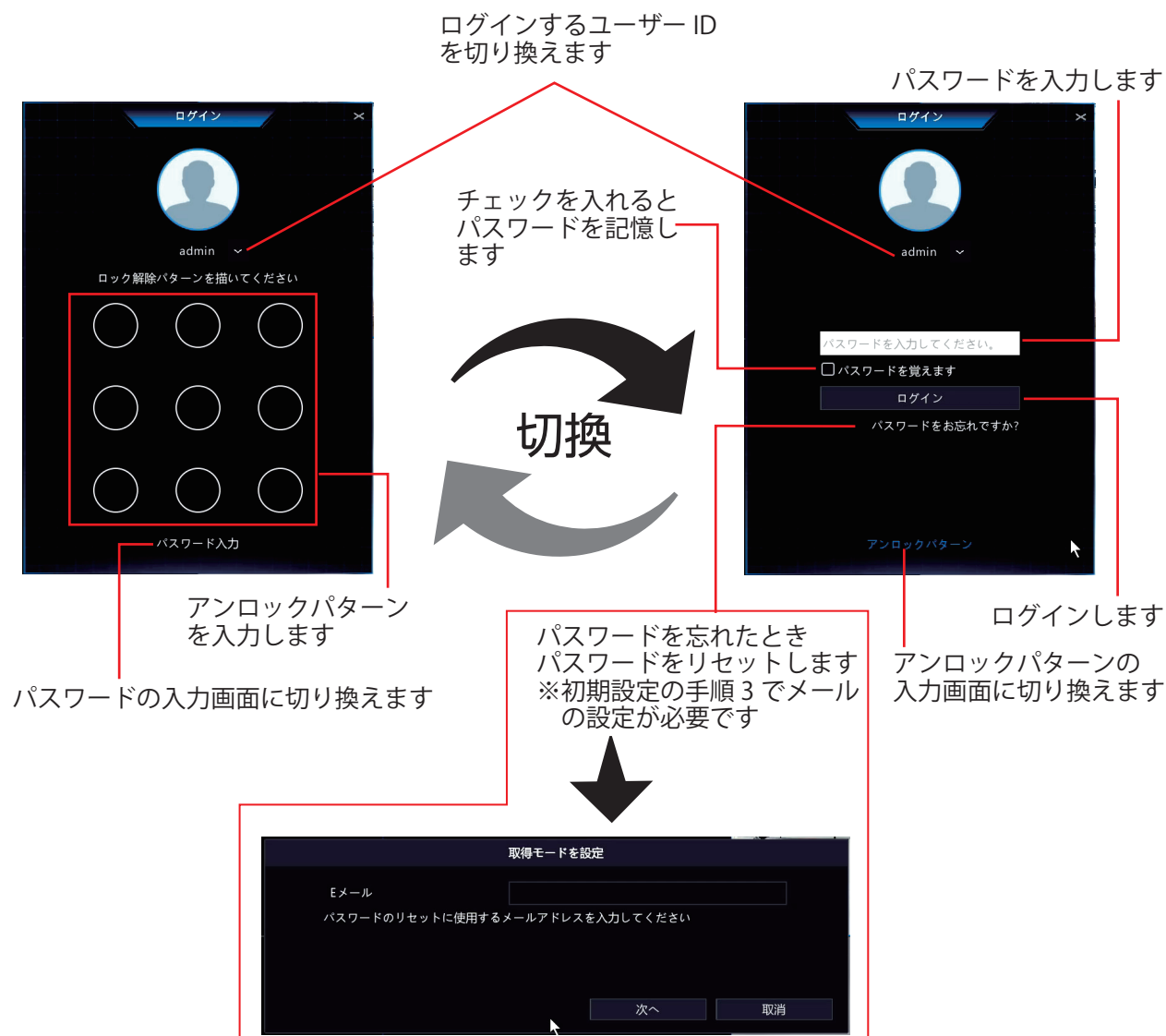
ログイン

ログインするときにアンロックパターン※¹で解除する、またはパスワードを入力して解除してください。

※ 1：アンロックパターンを設定しているとき

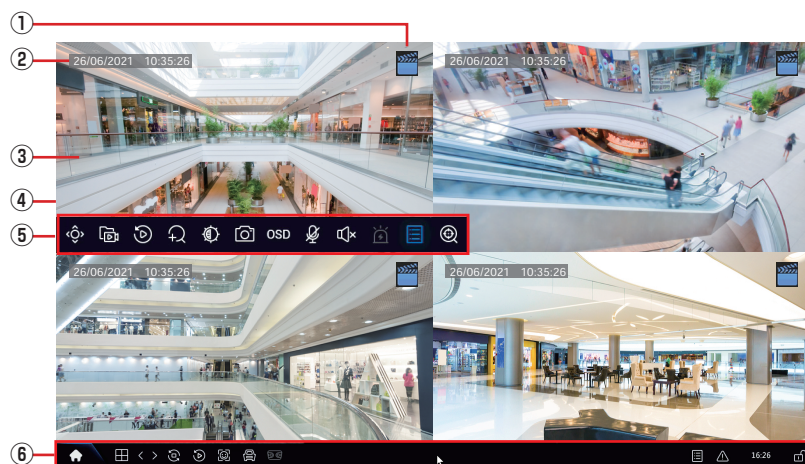
アンロックパターンを入力、またはパスワードを入力します。

初期設定のパスワード：123456



ホーム画面

ホーム画面には接続しているカメラのライブビューやメインメニューなどが表示されます。
(下図は画面表示が4分割表示に設定されている場合です。)



番号	項目	内容
①	状態アイコン	カメラの状態をアイコンで示します。  録画中です。  カメラのスピーカーが有効です。カメラ側に接続されたマイク（または内蔵マイク）に入力された音声、ネットワークレコーダーに接続したスピーカーに出力されています。  カメラのマイクが有効です。カメラ側に接続されたマイク（または内蔵マイク）に入力された音声、ネットワークレコーダーに接続したスピーカーに出力されます。  タンパリングアラーム（カメラ妨害検知機能）が発生中です。  イベントやアラーム発生時に表示されます。
②	現在日時	現在の日付と時刻を表示します。
③	ライブビュー	カメラの現在の映像が表示されます。
④	アクティブカメラ	映像を左クリックすると、アクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。
⑤	ポップアップメニュー	選択しているカメラに対するメニューです。 ➡ 18 ページ「ポップアップメニュー」
⑥	メインメニュー	マウスカーソルを画面下に移動すると、表示されます。 ➡ 17 ページ「メインメニュー」

メインメニュー

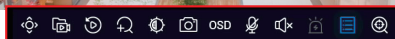
ホーム画面でマウスカーソルを一番下へ移動すると、メインメニューが表示されます。



番号	項目	内容
①	メニュー	管理画面が表示されます。表示にはログインする必要があります。
②	画面分割数	1画面のみ表示します。 4分割表示します。 (8chのみ) 6分割表示します。 (8chのみ) 8分割表示します。 9分割表示します。
③	前画面／次画面	画面表示が「1画面」のときに前または次の画面に移動します。 (増設用カメラを接続していないときは、利用できません。)
④	シーケンス表示	シーケンス表示のオン／オフを切り換えます。 シーケンス表示をオンにすると、設定した間隔で自動的に画面表示が切り換えられます。 画面レイアウト、画面数、時間間隔は、[メニュー] - [システム] - [画面表示]で設定することができます。 ➡ 73 ページ「画面表示」 シーケンス表示オンの状態です。 クリックすると、シーケンス表示オフになります。 シーケンス表示オフの状態です。 クリックすると、シーケンス表示オンになります。
⑤	再生	録画した映像を再生します。 ➡ 21 ページ「録画映像を再生する」
⑥	カメラ情報	カメラの情報ウィンドウが表示されます。
⑦	アラームステータス	カメラのアラーム状態とネットワークレコーダーの状態が表示されます。
⑧	時刻	アイコンの上にカーソルを置くと、現在の日付が表示されます。 クリックすると、時刻設定の管理画面が表示されます。
⑨	ロック	メインメニューを自動的に隠します。 マウスカーソルを画面の一番下に移動すると表示されます。 メインメニューが常に表示されます。

ポップアップメニュー

ホーム画面でライブビュー表示の映像をクリックすると、クリックしたカメラ映像がアクティブ状態になり、ポップアップメニューが表示されます。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

使用できません 使用できません

番号	項目	内容
①	PTZ	PTZ コントロール画面が表示され、カメラをコントロールすることができます。 ➔ 19 ページ「PTZ カメラの操作」
②	ローカル録画 * スケジュール録画で録画中はローカル録画できません。	 録画されていません。 クリックすると、ハードディスクに録画を開始します。  録画中です。 クリックすると、録画を停止します。
③	インスタントプレイバック	クリックすると、最新の録画映像を簡易的に再生します。さかのぼる時間は設定することができます（初期設定：5 分）。
④	デジタルズーム	表示中の映像をマウスでクリック & ドラッグをしながら、拡大したい箇所を選択します。
⑤	画像設定	画像設定の画面が表示され、撮影モード画面の輝度、彩度、コントラストを設定できます。
⑥	スナップショット	クリックするとスナップショットを保存します。
⑦	OSD	クリックすると、画面表示の設定画面が表示されます。
⑧	双方向通話	マウスカーソルを合わせると、通話の音量を調整できます。 クリックすると、双方向通話のオン／オフを切り換えます。 ※使用するカメラによって異なります。  双方向通話がオフの状態です。 クリックすると、双方向通話をオンにします。  双方向通話がオンの状態です。 クリックすると、双方向通話を終了します。
⑨	音量設定	マウスカーソルを合わせると、カメラの音量を調整できます。 クリックすると、ミュートのオン／オフを切り換えます。  ミュート中  ミュート解除中
⑩	ビットレート表示 / カメラ変更	マウスカーソルを合わせると、選択中のカメラのビットレートが表示されます。 クリックすると、「IP カメラ変更」画面が表示され、カメラの設定ができます。



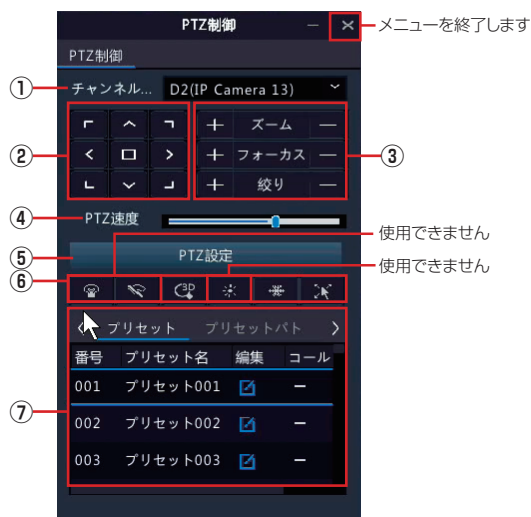
ライブビューでは、同時に複数のカメラの音声を有効にはできません。

■ PTZ カメラの操作

- 1 ライブビューのカメラ映像をクリックし、ポップアップメニューからPTZ制御アイコンをクリックします。



- 2 PTZ 制御パネルでカメラを制御します。



番号	項目	内容
①	カメラ名	選択制御するカメラを選択します。対応可能なカメラのみが表示されます。
②	回転	矢印の方向に、カメラの撮影方向を移動させることができます。*
③	レンズ操作	ズーム、フォーカス、絞りを設定します。
④	速度	カメラのパン、チルトの速度を調整できます。
⑤	設定	このボタンをクリックすると、PTZ 管理画面が表示されます。
⑥	カメラ操作	ライブ画面上で PTZ の方向を変える操作の ON・OFF ができます。 融雪を ON にすることで、パンチルト動作を繰り返して雪を落とします。 カメラ映像画面内のカーソルが示す方向に、カメラ映像を移動させることができます。
⑦	プリセット	プリセット、プリセットパトロール、巡回録画、ガードポジションの詳細については、PTZ の管理画面を参照してください。
	プリセットパトロール	
	巡回録画	
	ガードポジション	

※：使用するカメラによって、制御できる機能は異なります。

「×」を押して終了します。

コンテキストメニュー

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。



番号	項目	内容
①	メニュー	管理画面を表示します。
②	共通メニュー	「カメラ選択」・「ネットワーク」・「録画ステータス」の各設定画面を表示します。
③	シングルウィンドウ	選択したライブビューのカメラ映像を 1 画面全体表示します。
④	マルチウィンドウ	ライブビューのカメラ映像をマルチウィンドウで表示します。
⑤	コリドーモード	ライブビューのカメラ映像を縦長に表示します。
⑥	ワイドモード	ライブビューのカメラ映像をワイド表示します。
⑦	再生	録画映像の再生をすることができます。➡ 21 ページ「録画映像を再生する」
⑧	プレビューモード	「ノーマル」で使用してください（スマートモードは本製品では使用できません）。
⑨	VCA 検索	「ビデオ」、「画像」、「イベント」以外の検索については、サポートしていません。
⑩	照度設定	カメラの設定画面を表示します。（➡ 46 ページ）
⑪	出力モード	接続しているすべてのカメラ映像の出力モードを設定できます。
⑫	手動	録画・スナップショット・アラーム・ブザーを手動で開始／停止できます。

録画映像を再生する

はじめに

準備

設定

その他

再生画面の表示方法

- 1 ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから[再生]をクリックします。



再生画面が表示されます。



再生画面について

4ch モデルのみ



番号	項目	内容
①	カメラ選択	再生するカメラを選択します。
②	録画月選択	次月へ移動します 保存している一番新しい録画データを再生します 前月へ移動します 保存している一番古い録画データを再生します ◀ ◁ 2025 2月 ▷ ▶
③	日付	選択再生する日付を選択します。録画データがある日付には、 10 13 7 で表示されます。 10 イベント録画のデータがあります。 13 通常録画（スケジュール録画）のデータがあります。 7 指定した検知録画のデータがあります。
④	ツールボタン	再生画面上で左クリックすると、ツールバーが表示されます。  スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。  タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けられます。 後でタグの検索をすることが可能です（➡ 63 ページ）  デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。再生時のみ使用できます。➡ 35 ページ「再生画面でズーム表示する」  音量調整 音量を調整します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り換わります。  保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。

はじめに

準備

設定

その他

番号	項目	内容												
⑤	再生モード	<table><tr><td>ノーマル</td><td>通常の再生画面です。</td></tr><tr><td>スマート</td><td>本製品では使用できません。</td></tr></table>	ノーマル	通常の再生画面です。	スマート	本製品では使用できません。								
ノーマル	通常の再生画面です。													
スマート	本製品では使用できません。													
⑥	コリドーモード	カメラを 2 台以上選択していると縦分割画面で映像を再生します。 (カメラは最大 3 台までの表示となります)												
⑦	検知モード	「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」以外の動作についてはサポートしていません。												
⑧	コントロール パネル	<table><tr><td></td><td>逆再生</td></tr><tr><td></td><td>停止</td></tr><tr><td></td><td>コマ送り</td></tr><tr><td></td><td>30 秒巻き戻す / 30 秒進む</td></tr><tr><td></td><td>一時停止</td></tr><tr><td></td><td>再生速度表示</td></tr></table>		逆再生		停止		コマ送り		30 秒巻き戻す / 30 秒進む		一時停止		再生速度表示
	逆再生													
	停止													
	コマ送り													
	30 秒巻き戻す / 30 秒進む													
	一時停止													
	再生速度表示													
⑨	タイムライン	映像の再生位置などが表示されます。(➡ 26 ページ)												
⑩	ファイル管理	[ファイル管理] 画面を表示し、動画や画像をバックアップしたり、タグの編集をします。➡ 28 ページ「ファイル管理画面」												
⑪	スナップショット	スナップショットを保存します。												
⑫	クリッピング開始・ クリッピング終了	ビデオの一部を切り取ることができます。 「⑧タイムライン」上で切り取りの開始位置と、終了位置をマウスで指定します。 切り抜き区間  開始位置 終了位置 切り取った後、[ファイル管理] に切り取った映像が保存されます。												
⑬	設定	録画の再生設定ができます。 <table><tr><td>結果再生</td><td>「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」の検知録画がある場合、緑色のバーが表示されます。「通常の録画をスキップする」に✓を入れると緑色のバーの部分だけを再生します。</td></tr><tr><td>結果再生速度</td><td>結果再生速度を変更することができます。</td></tr><tr><td>Interval</td><td>早戻しとスキップ時間の切替ができます。</td></tr><tr><td>明瞭度</td><td>HD または SD で再生します。</td></tr></table>	結果再生	「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」の検知録画がある場合、緑色のバーが表示されます。「通常の録画をスキップする」に✓を入れると緑色のバーの部分だけを再生します。	結果再生速度	結果再生速度を変更することができます。	Interval	早戻しとスキップ時間の切替ができます。	明瞭度	HD または SD で再生します。				
結果再生	「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」の検知録画がある場合、緑色のバーが表示されます。「通常の録画をスキップする」に✓を入れると緑色のバーの部分だけを再生します。													
結果再生速度	結果再生速度を変更することができます。													
Interval	早戻しとスキップ時間の切替ができます。													
明瞭度	HD または SD で再生します。													
⑭	もっと	表示されていないアイコンを表示します。 <table><tr><td>オンにします</td><td>使用できません</td></tr><tr><td>外部ファイル</td><td>USB に接続した USB メモリなどからファイルを読みだすことができます。</td></tr></table>	オンにします	使用できません	外部ファイル	USB に接続した USB メモリなどからファイルを読みだすことができます。								
オンにします	使用できません													
外部ファイル	USB に接続した USB メモリなどからファイルを読みだすことができます。													
⑮	終了	再生画面を閉じます。												



番号	項目	内容										
①	カメラ選択	再生するカメラを選択します。										
②	録画月選択	次月へ移動します 保存している一番新しい録画データを再生します 前月へ移動します 保存している一番古い録画データを再生します << < 2025 2月 > >>										
③	日付	選択再生する日付を選択します。録画データがある日付には、 10 13 7 で表示されます。 10 イベント録画のデータがあります。 13 通常録画（スケジュール録画）のデータがあります。 7 指定した検知録画のデータがあります。										
④	ツールボタン	再生画面上で左クリックすると、ツールバーが表示されます。 <table><tr><td></td><td>スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。</td></tr><tr><td></td><td>タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けられます。 後でタグの検索をすることが可能です（➡ 63 ページ）</td></tr><tr><td></td><td>デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。再生時と一時停止時に使用できます。➡ 35 ページ「再生画面でズーム表示する」</td></tr><tr><td></td><td>音量調整 音量を調整します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り換わります。</td></tr><tr><td></td><td>保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。</td></tr></table>		スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。		タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けられます。 後でタグの検索をすることが可能です（➡ 63 ページ）		デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。再生時と一時停止時に使用できます。➡ 35 ページ「再生画面でズーム表示する」		音量調整 音量を調整します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り換わります。		保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。
	スナップショット スナップショットを保存します。 コリドーモードのときは、アクティブ状態になっている映像のスナップショットを保存します。											
	タグの追加 画面が表示され、追加するタグに任意の名前を付けられます。 後でタグの検索をすることが可能です（➡ 63 ページ）											
	デジタルズーム 画面の一部を拡大表示します。ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。再生時と一時停止時に使用できます。➡ 35 ページ「再生画面でズーム表示する」											
	音量調整 音量を調整します。スライダーで音量を調節します。アイコンをクリックするとミュート／ミュート解除が切り換わります。											
	保護 現在の再生位置の前後 5 分間の映像をロックします。ロックを行うと録画映像の削除を行えなくなり、ディスクが一杯のときでも自動的に削除されることがなくなります。											

番号	項目	内容												
⑤	再生モード	<table><tr><td>ノーマル</td><td>通常の再生画面です。</td></tr><tr><td>スマート</td><td>本製品では使用できません。</td></tr></table>	ノーマル	通常の再生画面です。	スマート	本製品では使用できません。								
ノーマル	通常の再生画面です。													
スマート	本製品では使用できません。													
⑥	コリドーモード	カメラを 2 台以上選択していると縦分割画面で映像を再生します。 (カメラは最大 3 台までの表示となります)												
⑦	検知モード	「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」以外の動作についてはサポートしていません。												
⑧	コントロール パネル	<table><tr><td></td><td>逆再生</td></tr><tr><td></td><td>停止</td></tr><tr><td></td><td>コマ送り</td></tr><tr><td></td><td>30 秒巻き戻す / 30 秒進む</td></tr><tr><td></td><td>一時停止</td></tr><tr><td></td><td>再生速度表示</td></tr></table>		逆再生		停止		コマ送り		30 秒巻き戻す / 30 秒進む		一時停止		再生速度表示
	逆再生													
	停止													
	コマ送り													
	30 秒巻き戻す / 30 秒進む													
	一時停止													
	再生速度表示													
⑨	タイムライン	映像の再生位置などが表示されます。(➡ 26 ページ)												
⑩	AcuSearch	この機能は使用できません。												
⑪	設定	録画の再生設定ができます。 <table><tr><td>結果再生</td><td>「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」の検知録画がある場合、緑色のバーが表示されます。「通常の録画をスキップする」に✓を入れると緑色のバーの部分だけを再生します。</td></tr><tr><td>結果再生速度</td><td>結果再生速度を変更することができます。</td></tr><tr><td>Interval</td><td>早戻しとスキップ時間の切換ができます。</td></tr><tr><td>明瞭度</td><td>HD または SD で再生します。</td></tr></table>	結果再生	「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」の検知録画がある場合、緑色のバーが表示されます。「通常の録画をスキップする」に✓を入れると緑色のバーの部分だけを再生します。	結果再生速度	結果再生速度を変更することができます。	Interval	早戻しとスキップ時間の切換ができます。	明瞭度	HD または SD で再生します。				
結果再生	「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」の検知録画がある場合、緑色のバーが表示されます。「通常の録画をスキップする」に✓を入れると緑色のバーの部分だけを再生します。													
結果再生速度	結果再生速度を変更することができます。													
Interval	早戻しとスキップ時間の切換ができます。													
明瞭度	HD または SD で再生します。													
⑫	もっと	表示されていないアイコンを表示します。 <table><tr><td>クリッピング開始</td><td>ビデオの一部を切り取ることができます。 「⑧タイムライン」上で切り取りの開始位置と、終了位置をマウスで指定します。切り取った後、[ファイル管理] に切り取った映像が保存されます。</td></tr></table> <table><tr><td>スナップショット</td><td>スナップショットを保存します。</td></tr><tr><td>ファイル管理</td><td>[ファイル管理] 画面を表示し、動画や画像をバックアップしたり、タグの編集をします。➡ 27 ページ「ファイル管理画面」</td></tr><tr><td>オンにします</td><td>使用できません</td></tr><tr><td>外部ファイル</td><td>USB に接続した USB メモリなどからファイルを読みだすことができます。</td></tr></table>	クリッピング開始	ビデオの一部を切り取ることができます。 「⑧タイムライン」上で切り取りの開始位置と、終了位置をマウスで指定します。切り取った後、[ファイル管理] に切り取った映像が保存されます。	スナップショット	スナップショットを保存します。	ファイル管理	[ファイル管理] 画面を表示し、動画や画像をバックアップしたり、タグの編集をします。➡ 27 ページ「ファイル管理画面」	オンにします	使用できません	外部ファイル	USB に接続した USB メモリなどからファイルを読みだすことができます。		
クリッピング開始	ビデオの一部を切り取ることができます。 「⑧タイムライン」上で切り取りの開始位置と、終了位置をマウスで指定します。切り取った後、[ファイル管理] に切り取った映像が保存されます。													
スナップショット	スナップショットを保存します。													
ファイル管理	[ファイル管理] 画面を表示し、動画や画像をバックアップしたり、タグの編集をします。➡ 27 ページ「ファイル管理画面」													
オンにします	使用できません													
外部ファイル	USB に接続した USB メモリなどからファイルを読みだすことができます。													
⑬	終了	再生画面を閉じます。												

タイムライン表示

はじめに

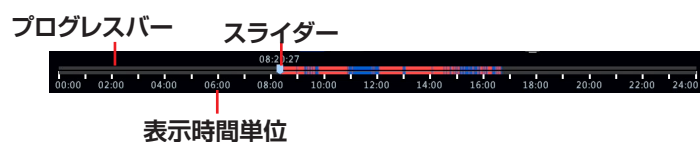
準備



設定

番号	項目	内容
①	プログレスバー	選択中のカメラ（青色枠）の状態が表示されます。 通常録画（ノーマル）された映像データは青色、イベントが検知された箇所は赤色、指定した検知録画（結果）は緑色で表示されます。
②	スライダー	現在の再生位置を表示します。 スライダーを移動すると、再生位置を移動することができます。
③	表示時間単位	スライダーを移動すると、表示される時間軸の単位を 6 段階（10 分・30 分・1 時間・6 時間・12 時間・24 時間）に切り換えできます。

その他



設定した検知録画映像を再生する

検知した映像を検索して再生することができます。

- 1 再生画面で画面左下の検知モードをクリックします。
- 2 プルダウンメニューより選択してクリックします。
- 3 「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」の映像を検索します。

- ① 検索するカメラを選択します。選択するカメラのチェックボックスにチェックを入れます。
- ② 検索する日をダブルクリックします。



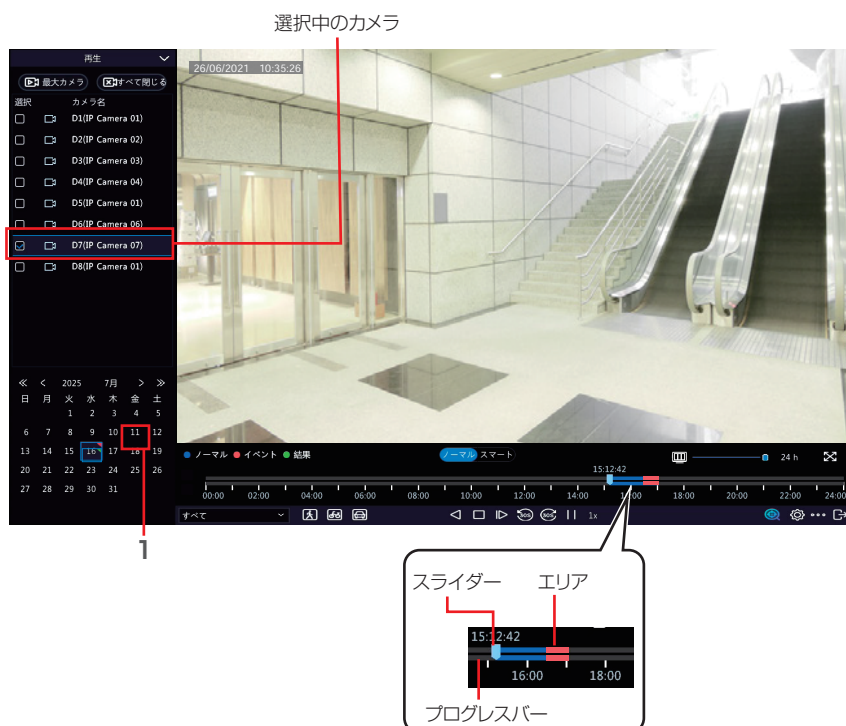
9 カレンダーに青色で表示されているときは、通常録画（スケジュール録画）のデータが保存されます。

10 カレンダーに赤色で表示されているときは、イベント録画のデータがあります。

検知した映像を再生する

検知した録画映像を再生することができます。

- 1 カレンダーの赤色 10 または 7 がついた日をダブルクリックします。
- ① プログレスバーに表示されている赤色または緑色のエリアにスライダーを移動させます。



ファイル管理画面

はじめに

準備

設定

その他



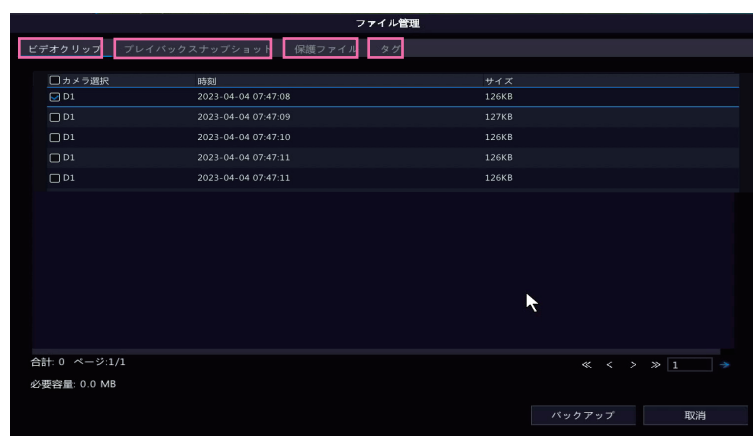
ファイル管理ボタン



上記のアイコン表示になっているときは、新しいファイルがあります。



新しいファイルがあるときに、[ファイル管理] ボタンを押すと、下記の [ファイル管理画面] が表示されます。クリップした映像などを USB ストレージにバックアップすることができます。

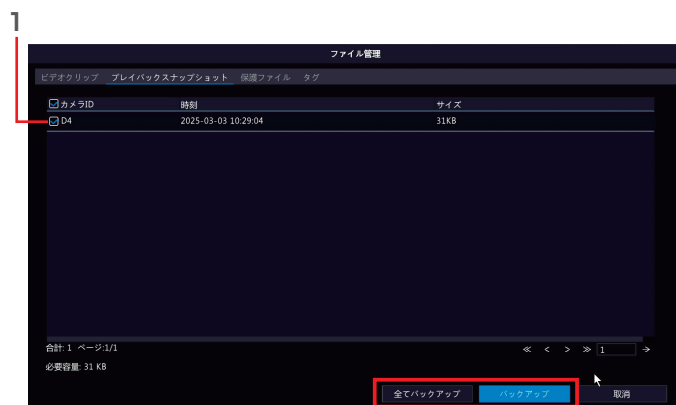


項目	内容
ビデオクリップ	クリッピングで切り取った映像を保存します。 クリッピング機能で切り取った映像が一覧表示されます。 クリッピングの方法は 23 ページの「クリッピング開始・クリッピング終了」をご参照ください。
プレイバック スナップショット	再生中に撮影されたスナップショットを表示します。
保護ファイル	保護した映像を保存します。
タグ	カスタムタグやデフォルトタグの編集をします。

ファイル管理のデータをバックアップする

ビデオクリップ、プレイバックスナップショット、保護ファイルを USB ストレージデバイスにバックアップすることができます。

- 1 データをバックアップするカメラを選択します。
「カメラ ID」にチェックを入れると、全てのカメラを選択します。
- 2 バックアップをクリックします。
「プレイバックスナップショット」では「全てバックアップ」を選択できます。



2

- 3 USB ストレージデバイス「パーティション」を選択します。
- 4 保存するフォルダを選択します。
- 5 バックアップをクリックします。



新しいフォルダを作成します

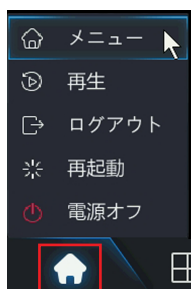
USBストレージデバイスを
フォーマットします

フォルダを削除します

録画画質を設定する

録画映像の解像度やフレームレート、画質を適切なものに設定します。

1 ホーム画面で設定メニューアイコンをクリックします。



映像を右クリックして表示されるコンテキストメニューにある「メニュー」からも管理画面へ入ることができます。

2 「メニュー」－「カメラ選択」をクリックします。



3 必要に応じて以下のメニューに入り、設定を行います。

「カメラ選択」－「オーディオとビデオ」

エンコードの設定や、音声検出の設定を行います。

➡詳しい設定内容は 41 ページ「エンコード」



[カメラ選択] — [設定] — [画面表示]

映像の画質の設定やプライバシーマスクの設定を行います。

→詳しい設定内容は 44 ページ「設定」



はじめに

準備

設定

その他

録画スケジュールを設定する

初期設定では録画は 24 時間 365 日行われます。夜間や休日に録画をしないときなどは、スケジュール設定をします。

1 ホーム画面で設定メニューアイコンからメニューをクリックします。

2 [ストレージ] をクリックします。

スケジュール画面が表示されます。



3 スケジュール設定するカメラを選択し、録画設定をします。

① スケジュール設定するカメラを [チャンネルを選択] から選択します。



注意 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。

初期設定では常時録画状態 (24 時間 365 日の録画) になっているので、任意で夜間や休日などの録画をしない時間を設ける場合は、スケジュール設定で変更を行う必要があります。

② [スケジュール有効] を (有効) にします。

③ [オーディオストレージ] を (有効) にします。

[オーディオストレージ] を有効にすると、音声付きで録画ができます。



有効になっていない場合は、音声は録音されません。

④ [プリ録画 / ポスト録画時間 (秒)] を設定します。

プリ録画時間：指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。

ポスト録画時間：指定した時間だけスケジュールの録画終了時間後も録画します。

4 スケジュール設定を行います。



①スケジュールに割り当てたい録画の種類をクリックします。

項目	内容
 ノーマル	通常の録画を行います。
 イベント	指定した時間にイベントが起こったときに録画を行います。 ➡ 92 ページ「アラーム」
 動体検知	指定した時間に動体検知をしたときに録画を行います。動体検知機能が「有効」になっている必要があります。 ➡ 94 ページ「動体検知」
 アラーム	指定した時間にアラーム発生したときに録画を行います。
 動体検知とアラ...	指定した時間に動体検知とアラームが同時発生したときに録画を行います。
 動体検知または...	動体検知またはアラームのどちらかが発生したときに録画を行います。
 なし	録画を行いません。

②スケジュール表をクリックして色を塗り、スケジュールを設定します。



「編集」をクリックすると、他の曜日に設定をコピーすることができます。

<設定例>

月～日	0:00 ～ 6:00 と 19:00 ～ 24:00 はアラーム発生時のみ録画。 その他の時間は通常録画。
休日	録画なし。 ➡休日の設定方法は、71 ページ「休日」をご参照ください。

5 「適用」をクリックして設定を保存します。

注意 「適用」を押す前に他のカメラを選択すると、設定がリセットされますのでご注意ください。

6 他のカメラも同様に設定します。

「コピー」をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

映像を拡大して見る（デジタルズーム）

ライブ映像画面や再生画面では映像の一部をデジタルズームで拡大して見るができます。

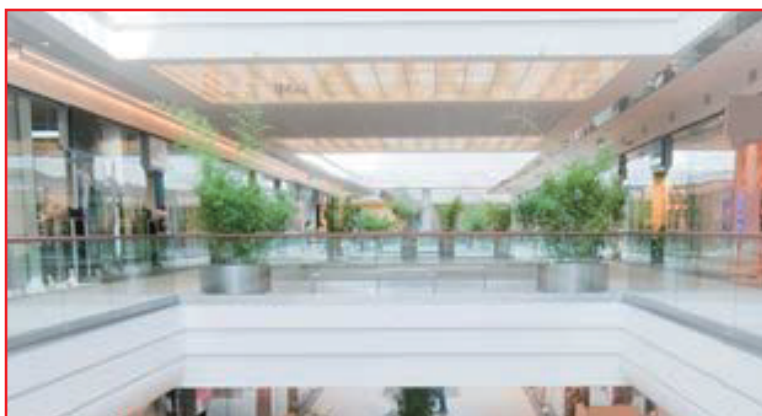
ライブ映像画面でズーム表示する

- 1 ズーム表示したい映像をクリックしてメニューを表示し、デジタルズームボタンをクリックします。



デジタルズームボタン

- 2 画面表示が「1画面」に切り換わりますので、ズーム表示するエリアをマウスでクリック&ドラックして指定すると、選択した範囲が拡大表示されます。

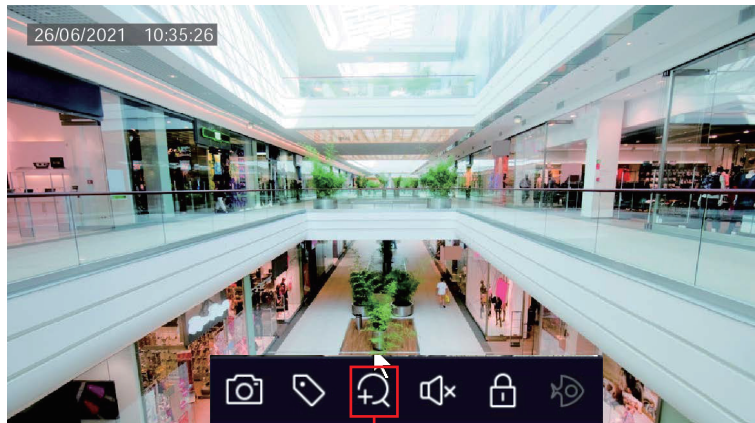


ズーム表示を解除するとき

右クリックでデジタルズームが終了します。

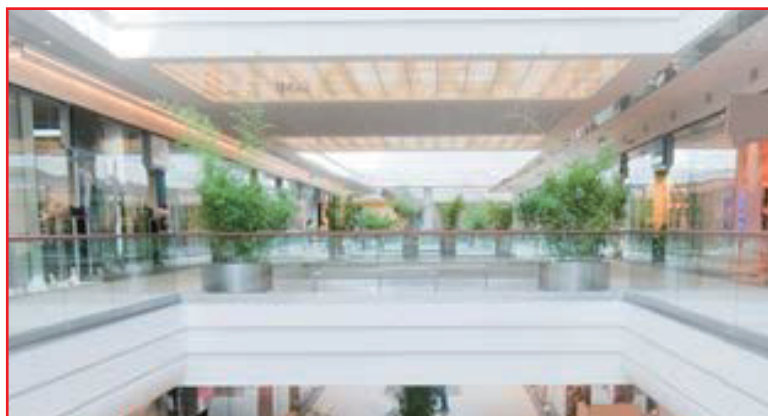
再生画面でズーム表示する

- 1 ズーム表示したい映像を左クリックしてメニューを表示し、デジタルズームボタンをクリックします。



デジタルズームボタン

- 2 画面表示が「1画面」に切り換わりますので、ズーム表示するエリアをマウスでクリック&ドラックして指定すると、選択した範囲が拡大表示されます。



デジタルズーム機能は通常の再生時のみ使用できます。インスタントプレイバック時は使用できません。

ズーム表示を解除するとき

右クリックでデジタルズームが終了します。

設定メニューについて

説明画面で□の囲みがあるところは、画面下に一覧表で説明が記載されています。

🏠をクリックして、管理画面を表示します。(⇒ 17 ページ「メインメニュー」)



メニュー項目	内容	ページ
カメラ選択	映像の設定やカメラの操作を行います。	37 ページ
検索	「ビデオ」、「画像」、「イベント」以外の検索については、サポートしていません。	57 ページ
VCA	自動追跡のみ使用できます。	68 ページ
周辺機器	本製品では使用できません。	—
システム	本製品のシステム設定を行います。	69 ページ
ストレージ	録画スケジュールやハードディスクの設定を行います。	85 ページ
アラーム	アラーム入／出力の設定やシステムの警告などを設定します。	92 ページ
メンテナンス	録画状態や本システムの状態、システム設定の復元／初期化、本システムのアップグレードなどを行います。	102 ページ

カメラ選択

カメラ選択

■カメラ選択

新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。

ネットワーク上のカメラのパスワードを入力します。

表示を最新の情報に更新します。

表示されていない項目を表示します
 ・パスワードの一括編集:カメラのパスワードを一括で編集できます。
 ・セグメント検索:ネットワーク上のカメラを検索します。
 ・エクスポート:設定をエクスポートします。
 ・インポート:設定をインポートします。

各カメラの変更ボタンをクリックすると、IPカメラ変更画面が表示されます。

カメラを工場出荷設定に戻します。

カメラIDなどを確認できます。

IPアドレスを変更することができます。

再生ボタンが青色表示のときは、カメラが正常にオンラインになっています。
 再生ボタンがグレー表示のときは、アイコンの上にカーソルを置くと、ネットワークが未接続またはデバイスが接続中の状態であることを確認できます。

検索
 PTZ
 VCA
 周辺機器
 システム
 ストレージ
 アラーム
 メンテナンス

カメラ選択
 オーディオとビデオ
 パノラマリンク

カメラ選択
 更新
 IPパスワード
 もっと

カメラ選択	アドレス	状態	プロトコル	モデル	操作	IPパスワード
☐ 01(IP Camera 01)			ONVIF		再生 設定 削除	-
☐ 02(IP Camera 02)			ONVIF		再生 設定 削除	-
☐ 03(IP Camera 03)			ONVIF		再生 設定 削除	-
☐ 04(IP Camera 04)			オリジナル		再生 設定 削除	-
☐ 05(IP Camera 01)			オリジナル		再生 設定 削除	-
☐ 06(IP Camera 06)			オリジナル		再生 設定 削除	-
☐ 07(IP Camera 07)			ONVIF	CNE3CP21	再生 設定 削除	危険
☐ 08(IP Camera 01)			オリジナル		再生 設定 削除	-

検出されたデバイス: 3、追加されたデバイス: 8、通信帯域: 158Mbps

H.265への自動切り替え スマートエンコーディングへの自. OFF 基本 アドバンスド 終了

項目	内容
H.265 への自動切り替え	本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にビデオ圧縮形式を「H.265」に設定します。(初期値：有効)
スマートエンコーディングへの自動切り替え	本製品にカメラを初めて接続したときに、拡張エンコード設定が「OFF」に設定されています。[OFF (初期値) / 基本 / アドバンスド]

IP カメラ変更画面

「カメラ選択」 - 「カメラ選択」で  (カメラ設定) をクリックします。



ネットワーク上のカメラを検索します。

「プロトコル」に「カスタム」が選択されているときに
プロトコルの管理画面を開きます。

項目	内容	
モードを追加	IP アドレス	IP アドレスを指定して接続します。
	プラグ&プレイ (初期値)	接続されたカメラを自動的に設定します。
	MyDDNS	外部クラウドサービスを利用して接続します。 クラウド側でのユーザー登録が必要となります。
	ドメイン名	DDNS サービスを利用して接続します。 ネットワークカメラ側で DDNS の設定が必要となります。
プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。 本設定項目は、他社製カメラ等を使用できるようにするための、将来拡張用の機能となります。 通常は変更せずにご利用ください。 プルダウンメニューより選択します。	
	ONVIF	ONVIF で接続します。 ※すべての製品が正しく動作することは保証いたしかねます。 使用する製品を実際に使用できることをご確認ください。
	オリジナル (初期値)	通常は [オリジナル] のままで使用します。
	カスタム	カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。
[カスタム] を選択すると、以下のように表示され、カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。		
追加モード プロトコル IPアドレス IPアドレス カスタム 172 . 16 . 0 . 3 Custom1		
サーバーアドレス	[モードを追加] で [MyDDNS] を選択しているときに設定します。	
IP アドレス	[モードを追加] で [IP アドレス] を選択しているときに設定します。	
ドメイン名	[モードを追加] で [ドメイン名] を選択しているときに設定します。	
ポート		
ユーザー名	カメラの接続情報を入力します。	
パスワード		

項目	内容
チャンネルの総数	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。 通常は初期値「1」のままご利用ください。
長距離伝送	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。現在にご利用いただくことができません。通常はチェックをはずした状態をご利用ください。



インターネットを介してカメラを接続する場合は、カメラ側でポートマッピングを有効にする必要があります。

※本製品の IP アドレス（または本製品にアクセスできるドメイン名）を指定しないでください。誤動作の原因となります。

登録してしまった場合は、「モードを追加」で「プラグ&プレイ」に変更したあと、約 30 秒経過すると登録が解除されます。

カスタムプロトコル画面

CNE3C シリーズのネットワークカメラを利用する場合は、本画面での設定は利用できません。プロトコルはオリジナルのままご利用ください。

カスタムプロトコルの使用には、追加するネットワークカメラが標準の RTSP をサポートしている必要があります。

この方法で追加された IP デバイスは、本製品から設定できず、ライブビューと再生だけ行えます。

カスタム

プロトコル名

ポート

転送形式

メインストリーム有効

リソースパス

サブストリーム有効

リソースパス

カスタム1

Custom1

554

TCP

☒

rtsp://<ip>:<port>/

☒

rtsp://<ip>:<port>/

例:rtsp://<IPアドレス>:<ポート番号>/<リソースパス>;

1 つのチャンネル:
rtsp://192.168.0.1:554/unicast/c1/s0/live

マルチチャンネル:
rtsp://192.168.0.1:554/unicast/c[%C]/s0/live 選択したカメラIDを追加
rtsp://192.168.0.1:554/unicast/c[%C+1]/s0/live 選択したカメラID+1を追加
rtsp://192.168.0.1:554/unicast/c[%C-1]/s0/live 選択したカメラID-1を追加
[%C±N]: %C は選択されたリモートカメラ ID を意味し、N はオフセット

適用

確認

取消

項目	内容
カスタム	設定するカスタムプリセットを選択します。
プロトコル名	カスタムプリセットの名称を設定します。
ポート	RTSP の設定をします。
(4ch のみ)	
伝送プロトコル /	
(8ch のみ)	
転送形式	
メインストリーム有効	
リソースパス	
サブストリーム有効	
リソースパス	

■アドバンスド

接続しているネットワークカメラのパスワードを変更したり、工場出荷時の設定にしたりできます。



項目	内容
パスワード変更	パスワードを変更することができます
デフォルトアイコン	選択したネットワークカメラを工場出荷時の設定に戻します。
パスワードの一括変更	選択したカメラのパスワードを変更できます。

オーディオとビデオ

■エンコード

映像のエンコード設定を行います。



設定を他のカメラにコピーすることができます。

項目	内容												
チャンネルを選択	設定するカメラを選択します。												
ストレージモード	録画に使用するストリームを選択します。 [メインストリーム／サブストリーム／メインおよびサブストリーム／メインおよびサードストリーム（初期値）／サブおよびサードストリーム]												
撮影モード	解像度とフレームレートを設定します。 この設定は、オリジナルで本製品に接続しているネットワークカメラのみに有効です。 <table border="1"> <tr> <td>2688*1520@30</td><td>解像度 2688 × 1520、フレームレート 30fps</td></tr> <tr> <td>2688*1520@25</td><td>解像度 2688 × 1520、フレームレート 25fps</td></tr> <tr> <td>2560*1440@30</td><td>解像度 2560 × 1440、フレームレート 30fps</td></tr> <tr> <td>2560*1440@25</td><td>解像度 2560 × 1440、フレームレート 25fps</td></tr> <tr> <td>1920*1080@30</td><td>解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps</td></tr> <tr> <td>1920*1080@25</td><td>解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps</td></tr> </table>	2688*1520@30	解像度 2688 × 1520、フレームレート 30fps	2688*1520@25	解像度 2688 × 1520、フレームレート 25fps	2560*1440@30	解像度 2560 × 1440、フレームレート 30fps	2560*1440@25	解像度 2560 × 1440、フレームレート 25fps	1920*1080@30	解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps	1920*1080@25	解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps
2688*1520@30	解像度 2688 × 1520、フレームレート 30fps												
2688*1520@25	解像度 2688 × 1520、フレームレート 25fps												
2560*1440@30	解像度 2560 × 1440、フレームレート 30fps												
2560*1440@25	解像度 2560 × 1440、フレームレート 25fps												
1920*1080@30	解像度 1920 × 1080、フレームレート 30fps												
1920*1080@25	解像度 1920 × 1080、フレームレート 25fps												
ストリームタイプ	<table border="1"> <tr> <td>ノーマル</td><td>予約録画用のメインストリームです。</td></tr> <tr> <td>イベント</td><td>アラーム入力や動体検知アラームなどのイベントによってトリガーされる録画を目的としたメインストリームです。</td></tr> <tr> <td>ネットワーク伝送</td><td>ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い（細い）場合などに選択できるよう、サブストリーム、サードストリームとしてデータ容量が少ないストリームを設定しておきます。</td></tr> </table> 重要 本製品は、動体検知中と動体非検知中でビットレートとフレームレートを別々の設定にすることができます。動体検知中と動体非検知中で同じビットレートとフレームレートに設定にしたいときは、ストリームタイプの「ノーマル」と「イベント」で、それぞれ「ビットレート」および「fps」を同じ値に設定してください。 「ノーマル」のみ設定を変えても動体検知中は「イベント」のビットレートおよびフレームレートの設定値で録画されます。	ノーマル	予約録画用のメインストリームです。	イベント	アラーム入力や動体検知アラームなどのイベントによってトリガーされる録画を目的としたメインストリームです。	ネットワーク伝送	ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い（細い）場合などに選択できるよう、サブストリーム、サードストリームとしてデータ容量が少ないストリームを設定しておきます。						
ノーマル	予約録画用のメインストリームです。												
イベント	アラーム入力や動体検知アラームなどのイベントによってトリガーされる録画を目的としたメインストリームです。												
ネットワーク伝送	ローカルまたはリモートのリアルタイム監視を目的とした低解像度の映像です。基本はメインストリームを使用しますが、ネットワーク環境が悪い（細い）場合などに選択できるよう、サブストリーム、サードストリームとしてデータ容量が少ないストリームを設定しておきます。												
ビデオ圧縮	ビデオの圧縮規格を選択します。 [H264 / H265]												
解像度	ビデオの解像度を変更します。												

項目	内容	
ビットレートタイプ	CBR (初期値)	ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持します。帯域幅が限られている場合は、CBR が優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が低下するデメリットがあります。
	VBR	ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、VBR を選択することをおすすめします。
ビットレート (Kbps)	1 秒あたりの転送ビット数値を選択します。[カスタム] を選択すると、任意の値に設定することができます。 [128 / 160 / 192 / 224 / 256 / 320 / 384 / 448 / 512 / 640 / 768 / 896 / 1024 / 1280 / 1536 / 1792 / 2048 / 3072 / 4096 / 5120 / 6144 / 7168 / 8192 / 9216 / 10240 / 12288 / 14336 / 16384 / カスタム]	
fps	フレームレートです。 1 秒あたりのフレーム数を設定します。[撮影モード] の選択値によって設定できる最大フレームレートは異なります。	
画質	画質を 9 段階で設定します。この設定は VBR を選択している場合のみ有効です。 [レベル 1 ～レベル 9]	
I フレーム間隔	2 つの隣接する I フレーム間のフレーム数です。 [5 ～ 250]	
平滑化	映像の変化が激しい場合に、ネットワークに流れる映像のデータ量が極端に上下しないように補正します。 スライダーが右にあるほど、急激な増加量を抑制します。	
スマートエンコーディング	選択すると、より高い圧縮を行います。「OFF」 < 「基本モード」 < 「アドバンスドモード」の順で圧縮率が高くなりますが、動きの激しい場面などでブロックノイズなど乱れが目立つ場合もあります。本機能に対応しないカメラでは設定が行えません。 [OFF / 基本モード / アドバンスドモード]	



H.264 または H.265 では一定期間で I フレーム（イントラフレーム）として、完全な画像を送り、それ以外のときには、フレーム間の画像差分データのみを送ることで、圧縮率を上げています。ネットワーク上でパケットロスが発生した場合、映像の乱れが起きますが、I フレームを受信すると復旧されます。そのため I フレーム間隔を空けると（大きくすると）、映像の圧縮率が向上し全体のデータ量が少なくなりますが、映像の乱れが起きた場合に、復旧までの時間が長くなります。

■ H.265+ の設定方法

H.265+ は、低いビットレートでも高い画質を実現でき、従来の H.264 に比べ約 4 倍の長時間録画が可能です。

- ビデオ圧縮を「H.265」に設定し、スマートエンコーディングを「アドバンスドモード」に設定すると、H.265 に対して、50% 圧縮します。
- ビデオ圧縮を「H.265」に設定し、スマートエンコーディングを「基本モード」に設定すると、H.265 に対して、25% 圧縮します。

■音声検出

音声入出力の設定を行います。



項目	内容
チャンネルを選択	音声検出の設定対象のカメラを選択します。
オーディオ入力	チェックを外すと、オーディオデータはエンコードされません。 音声が必要な場合は、チェックを外してください。
アクセスモード	「Line/Mic」のみ選択できます。この機能は、2つのオーディオ出力チャンネルを持つデバイスには使用できません。
入力ボリューム	入力ボリュームを設定します。
オーディオ圧縮	音声の圧縮形式（G.711A、G.711U または AAL-LC）を選択します。
サンプリングレート	変更はできません。
雑音抑制	ノイズ制御するときは、  （有効）にします。
オーディオチャンネル1	 （有効）にすると、AUDIO OUT に接続した機器より音声出力が有効になります。
音声出力	CNE3CBF1：設定できません CNE3CPZ1：スピーカーから変更できません。 CNECPZ1 除く：Line から変更できません。
出力ボリューム	出力ボリュームを調整できます。
アラームボリューム	アラームボリュームを調整できます。

設定

■画面表示

映像上に表示される文字の設定を行います。



設定を他のカメラにコピーすることができます。

項目	内容
チャンネルを選択	設定するカメラを選択します。
カメラ名	カメラの名前を設定します。
OSD カメラ名にコピー	チェックを入れると、画面に表示されるカメラ名も連動して変更されます。
OSD カメラ名	画面に表示されるカメラ名です。
時間表示	時間表示の有無を設定します。(初期値：有)
カメラ名	カメラ名表示の有無を設定します。(初期値：なし)
日付形式	日付の表示形式を設定します。 (「yyyy」は年、「MM」は月、「dd」は日の数値表示を示しています。 「MMMM」は月、「dddd」は曜日の英語表示を示しています。) [dd/MM/yyyy / MM/dd/yyyy / dd MMMM, yyyy / MMMM dd, yyyy / dddd,yy,MM,dd / dd MMMM, yyyy / dddd, MMMM dd, yyyy / yyyy/MM/dd / yyyy, MMMM dd]
時間形式	時間の表示形式を設定します。 (「h」は時間、「m」は分、「s」は秒、「tt」はAM・PMの表示を示しています。) [hh:mm:ss (24 時間) (初期値) / hh:mm:ss tt (12 時間)]
フォントサイズ	フォントのサイズを設定します。内部フォントの仕様上、大と特大で OSD 文字のサイズ差を見分けることができない場合があります。[特大／大／中 (初期値)／小]



カメラ側に設定が保存される内容に関しては、本製品の設定を初期化（➡ 108 ページ）しても工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。本ページでの設定も初期化する場合は、「カメラ選択 - アドバンスド」画面（➡ 40 ページ）から「デフォルト」を実行してください。

項目	内容
フォントの色	フォントの色を設定します。(初期値：白)

■画面表示内容

時刻やカメラ名とは別に画面に表示したい文字を追加できます。



項目	内容
チャンネルを選択	設定するカメラを選択します。
画面表示 1 ～ 6	画面表示 1 ～ 6の項目をそれぞれ  (有効) にすると入力した内容が画面に表示されます。

はじめに

準備

設定

その他

■画像

映像の画像設定を行います。

スマート照度

設定した照度で明るさを自動で調整します。

イラスト：CNE3CPZH1



設定をデフォルトに戻します

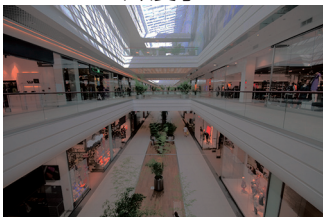
項目	内容	
チャンネルを選択	設定するカメラを選択します。	
シーン	使用シーンに応じてあらかじめ設定されたプリセットを選択することができます。カメラによって設定できる項目が異なります。 [カスタム／一般（初期設定）（4ch のみ）／屋内（8ch のみ）／スターライト／道路向き HLC／WDR／顔検知／周囲長]	
	一般（初期設定）	（4ch のみ） （屋外設置用）明るさやコントラストがバランスの取れた標準的な設定です。
	屋内	（8ch のみ） （屋内設置用）明るさやコントラストがバランスの取れた標準的な設定です。
	スターライト	（低照度環境用）デイナイト感度を最低にした設定です。 設置環境が常に低照度な場所におすすめです。
	道路向き HLC	デイナイト感度が最低かつ切替時間を 60 秒にした設定です。 道路を監視したい場合におすすめです。
	WDR	露出モードを屋内 50Hz にし、WDR を有効化した設定です。 映像内の明暗差が大きい場合におすすめです。
	顔検知	本製品では使用できません。
	周囲長	本製品では使用できません。
スマート照度	スマート照度を  （有効）すると、スマート照度が使用できます。	
イルミネーションモード	赤外線：夜間撮影時に、赤外線が有効になります	
コントロールモード	バレット型カメラ／ドーム型カメラ／PTZ カメラ（CNE3CPZ1）の場合 グローバルモード：自動的に照明と露出を調整し、全体的にバランスの取れた設定になります。 露出オーバー制御：自動的に照明と露出を調整し、一部の露出オーバーを抑える設定。 画像が暗くなる場合があります。	
	手動：明るさや露出の手動設定 CNE3CPZH1 のみ 道路プリセット：全体的に強い照明を照射します。 遮蔽物の少ない監視範囲が広い場合にお勧めします。 手動：「近照明輝度」や「遠照明輝度」の設定ができます。 パークプリセット：均一的な照明を照射します。 障害物が多い狭い範囲を監視する場合にお勧めします。	
照明輝度	バレット型カメラ／ドーム型カメラの場合 照明輝度の設定を行います。スライダーが右にあるほど照明輝度が明るくなります。	

項目	内容
近照明輝度	CNE3CPZH1 のみ 「コントロールモード」を「手動」に設定すると、操作が可能です。 スライダーが右にあるほど、近距離の照明輝度が明るくなります。
遠照明輝度	CNE3CPZH1 のみ 「コントロールモード」を「手動」に設定すると、操作が可能です。 スライダーが右にあるほど、遠距離の照明輝度が明るくなります。

画像補正

カメラ映像の画質を設定します。



項目	内容
輝度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像が明るくなります。
	輝度小  輝度大 
彩度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、彩度が高くなります
	彩度小  彩度大 
コントラスト	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、コントラストが強くなります。
	コントラスト小 コントラスト大
シャープネス	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、輪郭がはっきりします。
	シャープネス小 シャープネス大
ノイズ削減	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。
	ノイズ削減小 ノイズ削減大
画像回転	映像を回転表示します。 [ノーマル（初期値）／ 180°／ 90° 時計回り／ 90° 反時計回り]

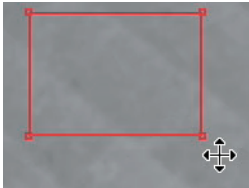
※画像例は効果を説明するためのサンプルで、実際の画像画質とは異なります。

露出

カメラ映像の露出を設定します。



項目	内容												
露出モード	露出モードを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>自動（初期値）</td><td>自動設定（屋外環境に適した調整を行います）</td></tr> <tr> <td>カスタム</td><td>露出の内容を手動より細かく設定</td></tr> <tr> <td>屋内 50Hz</td><td>50Hz の蛍光灯に対応</td></tr> <tr> <td>屋内 60Hz</td><td>60Hz の蛍光灯に対応</td></tr> <tr> <td>手動</td><td>パラメータを自分で設定</td></tr> <tr> <td>低モーションブラー</td><td>動きの大きな映像に対してブレを少なくする</td></tr> </table>	自動（初期値）	自動設定（屋外環境に適した調整を行います）	カスタム	露出の内容を手動より細かく設定	屋内 50Hz	50Hz の蛍光灯に対応	屋内 60Hz	60Hz の蛍光灯に対応	手動	パラメータを自分で設定	低モーションブラー	動きの大きな映像に対してブレを少なくする
自動（初期値）	自動設定（屋外環境に適した調整を行います）												
カスタム	露出の内容を手動より細かく設定												
屋内 50Hz	50Hz の蛍光灯に対応												
屋内 60Hz	60Hz の蛍光灯に対応												
手動	パラメータを自分で設定												
低モーションブラー	動きの大きな映像に対してブレを少なくする												
シャッター（秒）	シャッタースピードを設定します。動きの速い被写体には速いシャッタースピード、動きの遅い被写体には遅いシャッタースピードが向いています。「露出モード」を「カスタム」に設定している場合は、2 つのシャッタースピードを設定することができます。												
ゲイン（dB）	カメラがさまざまな照明条件で標準のビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。「露出モード」を「カスタム」に設定している場合は、2 つのゲインを設定することができます。[0 ～ 100]（初期値：0、カスタムモードのときは 0 と 100）												
スローシャッター	チェックを入れると、暗い場所に設定するときに映像を明るくさせることができます。[初期値：無効]												
最遅シャッター	スピードの下限を設定します。[スローシャッター] にチェックを入れると、設定することができます。 [1/6 / 1/8 / 1/10 / 1/12（初期値） / 1/15 / 1/20 / 1/25 / 1/30]												
補正	露出補正を設定します。逆光のときなどに映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないように調整できます。[露出モード] が [手動] のときは設定できません。[初期値：0]												
デイ/ナイトモード	<table border="1"> <tr> <td>自動（初期値）</td><td>周囲の照明条件に応じて、夜間モードと昼間モードを自動的に切り換えます。</td></tr> <tr> <td>デイ</td><td>周囲の照明条件に応じて高品質のカラー画像を出力します。</td></tr> <tr> <td>ナイト</td><td>周囲の照明条件に応じて高品質の白黒画像を出力します。</td></tr> </table>	自動（初期値）	周囲の照明条件に応じて、夜間モードと昼間モードを自動的に切り換えます。	デイ	周囲の照明条件に応じて高品質のカラー画像を出力します。	ナイト	周囲の照明条件に応じて高品質の白黒画像を出力します。						
自動（初期値）	周囲の照明条件に応じて、夜間モードと昼間モードを自動的に切り換えます。												
デイ	周囲の照明条件に応じて高品質のカラー画像を出力します。												
ナイト	周囲の照明条件に応じて高品質の白黒画像を出力します。												
デイ/ナイト感度	[デイ/ナイトモード] が [自動] に設定されている場合に、デイモードとナイトモードを切り換えるときのしきい値を設定します。撮影環境が暗くなると、カメラの「シャッター速度、CMOS のゲイン、レンズの絞り（現在のラインナップでは固定）」を調整して撮影された映像のデイ/ナイト感度ノイズを抑えますが、調整してもノイズを抑えきれなくなり、ノイズがしきい値を超えるとナイトモードに変わります。早くナイトモードに切り換えたいときは [高] に、映像のノイズが多くなってもデイモードを維持したい場合は「低」や「最低」に設定してください。[最低（初期値） / 低 / 中 / 高]												
デイ/ナイト切替（秒）	デイモードとナイトモードを切り換えるまでの時間を設定します。設定した値が小さすぎると、夕暮れや朝日のときに頻繁に切り換わることがあります。設置する環境・状況に合わせて、調整してください。[3 ～ 120（秒）]（初期値：3）												

項目	内容
WDR	WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能を有効にして、被写体のコントラストが高い場合でも映像を鮮明にします。[ON / OFF（初期値）]
WDR レベル	映像を見て、映像の中で見たい範囲が白飛びしたり、黒つぶれしないよう WDR レベルに調整できます。[初期値：5]
測光制御	中央重点平均測光：映像の中央を重点に光を補正します。 評価測光（BLC）：一つの映像の中で極端に明るい場所と暗い場所を撮影する場合に使用します（バックライト補正です）。 フェイスマータ：この機能は使用できません。 スポット測光：設定した範囲のみ光を補正します。
範囲指定開始	評価測光（BLC）またはスポット測光を選択すると、指定したエリアの明暗箇所を基準に光を補正します。 1  をクリックします。 2 左側の映像をクリックすると、範囲が追加されます。  3 範囲にカーソルを移動し、左クリックを長押しすると十字矢印に変わり、範囲の移動ができます。 範囲のコーナーにカーソルを移動し、左クリックを長押しすると十字矢印に変わり、範囲のサイズを変更できます。  十字矢印  範囲サイズを変更する

ホワイトバランス露出

カメラ映像のホワイトバランスを設定します。



項目	内容
ホワイトバランス	ホワイトバランスの補正モードを選択します。 [自動（初期値）・微調整・屋外・ナトリウムランプ・保護]
赤オフセット	赤色のオフセット値を手動で調整します。[－ 127 ～ 127]
青オフセット	青色のオフセット値を手動で調整します。[－ 127 ～ 127]

アドバンスド

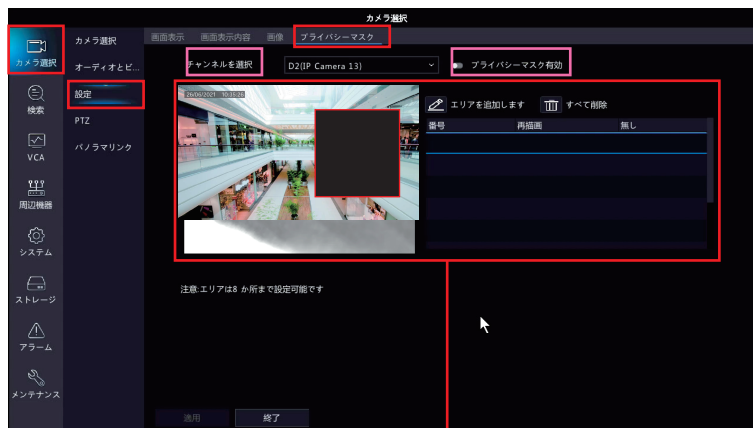
カメラ映像の詳細設定をします。



項目	内容
デフォグ	霧補正機能を使用するときは [ON] に設定します。 [OFF (初期値)] / ON]
デフォグレベル	[デフォグ] を [ON] に設定したときに霧補正レベルを設定します。 [1 ~ 9 (初期値 : 5)]

■プライバシーマスク

映像の一部を覆いたいときに設定します。



プライバシーマスク設定ウィンドウ

項目	内容
チャンネルを選択	設定するカメラを選択します。
プライバシーマスク有効	チェックを入れると、プライバシーマスクが有効になります。

プライバシーマスク設定ウィンドウ

プライバシーマスクを最大4か所まで作成することができます。プライバシーマスクを設定するとその部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。



「追加」「削除」など変更を行った後は「適用」をクリックして設定を保存してください。Web 管理画面では、「すべて削除」ボタンをクリックした場合のみ自動的に「保存」も行われます。

PTZ に対応しているカメラは、パン制御（P）、チルト制御（T）、ズーム制御（Z）ができます。



■ PTZ 管理画面

PTZ カメラを操作したり、パトロール機能などのプリセットを設定したりすることができます。



プリセットの設定

プリセットとは、カメラが特定の方向・ズームの倍率を点で記憶させる機能です。呼出を押すことで別の方向から特定の位置に移動させます。

プリセットパトロールおよびガードポジションで使用するプリセット条件を登録します。

■プリセット条件の登録方法

- ①カメラの向きと角度を設定します。
- ② (編集) をクリックします。
- ③プリセット名を登録します。
- ④「確認」をクリックして、決定します。

■プリセット条件の削除方法

- ①設定したプリセット条件を選択します。
- ② をクリックします。

をクリックすると PTZ カメラの調整した向きを確認することができます。



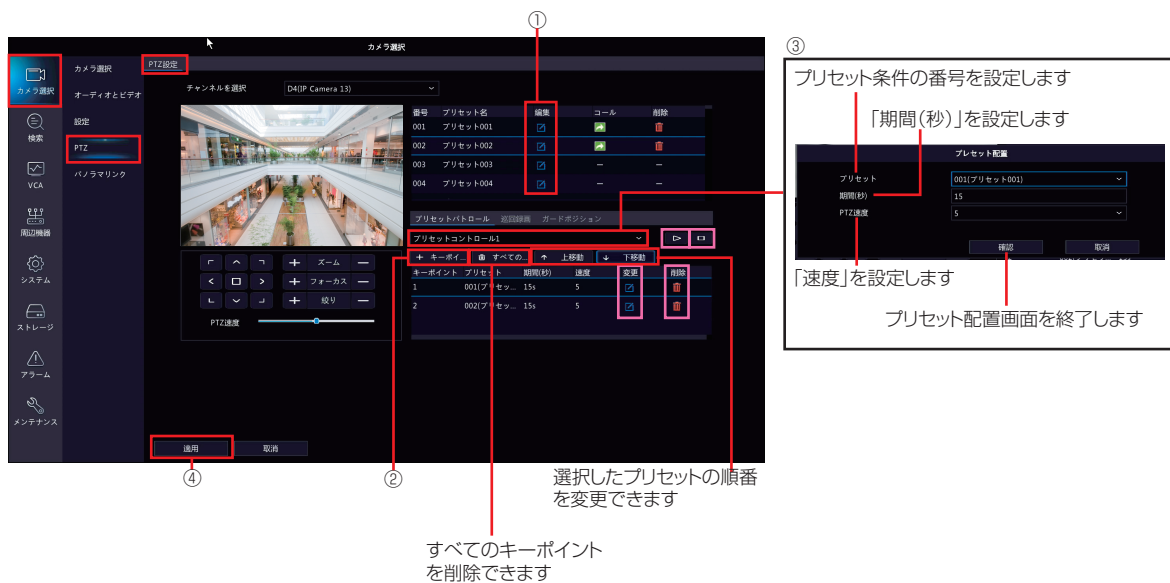
設定後は「取消」をクリックして設定を完了します。

プリセットパトロール

プリセットパトロールを設定します。

プリセットパトロールは、登録したプリセットの順番・回転速度・留まる時間を設定します。

- ① プリセットコントロールを設定します
- ② 「キーポイント追加」をクリックします。
- ③ プリセット配置画面で、設定したプリセット条件の番号、「期間（秒）」、「速度」を選択します。
- ④ 「適用」をクリックします。



項目	内容
	キーポイントの設定を変更することができます。
	キーポイントを削除することができます。
	パトロールを開始します。
	パトロールを停止します。

巡回録画（CNE3CPZH1 のみ）

巡回録画を設定します。巡回録画は、ユーザーが PTZ パネルで操作した動きを記憶させる機能です。「録画」ボタンを押した後、PTZ パネルでカメラを動かし、「停止」ボタンを押すと、PTZ 操作を記憶します。その後、「開始」ボタンを押すとカメラが記憶した動きの通り動作します。「停止」ボタンで動きをとめます。

- ①「録画」ボタンをクリックします。
- ② PTZ パネルでカメラを操作します。
- ③「停止」（録画）ボタンをクリックします。PTZ パネルで動かしたカメラの動作を記憶します。
- ④「開始」ボタンを押すと、カメラが記憶した動作を再現します。
- ⑤「停止」（動作）ボタンを押すと、カメラの動作が止まります。



ガードポジション

ガードポジションを設定します。ガードポジションでは選択した項目をホームポジションのように扱うことができます。プリセットを選べばカメラが別の方向を向いていても、設定時間後に登録プリセットの方向を向くようになります。

- ①有効にチェックマークをいれます。
- ②待機時間「アイドル（秒）」を設定します。
(待機時間は 120 秒 - 1800 秒の間で設定してください。)
- ③設定したいモードを選択します。
 - ・ **プリセット** : カメラが特定の方向・ズームの倍率を点で記憶させた位置に移動させます。
 - ・ **プリセットパトロール** : キーポイントで設定した PTZ カメラを順番にパトロールを開始することで、点と点をつないで巡回させることができます。
 - ・ **巡回録画** : PTZ パネルで操作した動きが録画されますので、感覚的に動きや停止時間などを記憶して巡回させることができます。
- ④「モード」でプリセットパトロールを選択したときは、「ルート」を設定します。
「ルート」を設定すると、プリセットコントロールを選択することができます。
プリセットコントロールは、キーポイントで設定したプリセットコントロールを呼び出して設定します。
1 台の PTZ カメラに 4 つまで設定できます。



パノラマリンク

本製品では使用できません。

はじめに

準備

設定

その他

検索

ハードディスクに保存しているデータを条件を指定して検索することができます
「ビデオ」、「画像」、「イベント」、「その他」以外の検索については、サポートしていません。

ビデオ

■録画ステータス

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 映像のファイル形式は、「.mp4」です。

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できないときは、144 ページをご確認ください。

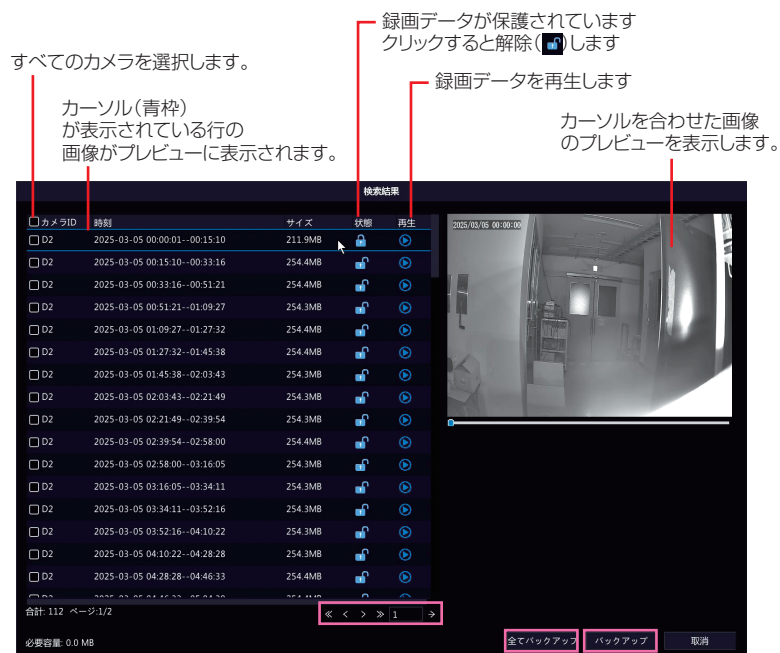


設定した条件で映像を検索します。

項目	内容								
チャンネルを選択	バックアップ対象のカメラを選択します。								
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。								
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。								
タイプ	バックアップする映像の種類を指定します。 <table><tr><td>すべて (初期値)</td><td>すべての映像から選択します。</td></tr><tr><td>ノーマル</td><td>通常の録画映像から選択します。</td></tr><tr><td>手動</td><td>手動録画した映像から選択します。</td></tr><tr><td>イベント</td><td>イベントとして録画された映像から選択します。</td></tr></table>	すべて (初期値)	すべての映像から選択します。	ノーマル	通常の録画映像から選択します。	手動	手動録画した映像から選択します。	イベント	イベントとして録画された映像から選択します。
すべて (初期値)	すべての映像から選択します。								
ノーマル	通常の録画映像から選択します。								
手動	手動録画した映像から選択します。								
イベント	イベントとして録画された映像から選択します。								
イベントタイプ	[タイプ] で [イベント] を選択したときに、イベントの種類を選択できます。 検知したイベントタイプで検索したいときに設定します。								
VCA タイプ	VCA で設定した「自動追跡」を検知した結果を検索できます。								
ファイルタイプ	ファイルの種類を指定します。								
明瞭度	明瞭度を指定します。								

- 検索結果は、ビデオ検索結果画面 (➡ 58 ページ) を参照してください。

ビデオ検索結果画面



項目	内容
全てバックアップ	すべて画像をバックアップします。
バックアップ	チェックを入れている画像をバックアップします。
ページ操作	⏪ ページを先頭に戻します。 ⏮ 1 ページ前に戻します。 ⏭ 1 ページ先に進みます。 ⏩ 最終ページに進みます。 1 ➡ 入力したページに進みます。

はじめに

準備

設定

その他

■スナップショットバックアップ

本製品のハードディスクに保存されている画像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 画像のファイル形式は、「.jpg」です。



設定した条件で映像を検索します。

項目	内容
チャンネルを選択	バックアップ対象のカメラを選択します。
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。
画像タイプ	画像のタイプで検索したいときに、使用します。

- 検索結果は、画像検索結果画面 (➡ 60 ページ) を参照してください。

画像検索結果画面

はじめに

準備

設定

その他



項目	内容
全てバックアップ	すべて画像をバックアップします。
バックアップ	チェックを入れている画像をバックアップします。
ページ操作	◀◀ ページを先頭に戻します。 ◀ 1 ページ前に戻します。 > 1 ページ先に進みます。 ▶▶ 最終ページに進みます。 1 > 入力したページに進みます。

イベント

■イベントの検索

検知したイベントで検索することができます。

- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。

- 映像のファイル形式は、「.mp4」です。

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できないときは、144 ページをご確認ください。



設定した条件で映像を検索します。

項目	内容
チャンネルを選択	設定するカメラを選択します。
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。
イベントタイプ	スマートイベント：本製品ではサポートしていません。 基本イベント：VCA 検知以外のイベントを検索することができます。
スマートイベントのタイプ	検知したイベントタイプで検索したいときに設定します。

- 検索結果は、イベント検索結果画面 (➡ 62 ページ) を参照してください。

イベント検索結果画面



項目	内容
全てバックアップ	すべて画像をバックアップします。
バックアップ	チェックを入れている画像をバックアップします。
ページ操作	◀◀ ページを先頭に戻します。 < 1 ページ前に戻します。 > 1 ページ先に進みます。 ▶▶ 最終ページに進みます。 1 ➡ 入力したページに進みます。

対象物

この機能は利用できません。

合計

この機能は利用できません。

その他

■ Other Search

タグをつけた映像を検索することができます（➡ 22 ページ）。プルダウンメニューより「タグ検索」を選択します（タグ検索以外はサポートしていません）。



項目	内容
開始時刻	映像の開始時刻を指定します。
終了時刻	映像の終了時刻を指定します。
キーワード	キーワードを入力します

その他検索結果画面



バックアップ / アップグレード

本製品の設定データや録画データを USB ストレージデバイスにバックアップすることができます。
また、本製品やカメラ（IPC）のアップグレードを行うことができます

- 1 USB ストレージデバイスを本製品に接続します。
- 2 USB ストレージデバイス接続後に自動表示されるメニューから、接続している USB デバイスの名前をクリックします。
- 3 バックアップまたはアップグレードの方法は以下の各参照ページをご参照ください。



番号	項目	内容	参照ページ数
①	システムバックアップ	設定情報を USB ストレージデバイスに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。	108 ページ
②	録画バックアップ	本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存します。	65 ページ
③	システムアップグレード	DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップデートします。	111 ページ
④	パケットバックアップ	パケットをキャプチャして保存します。	104 ページ
⑤	スナップショットバックアップ	スナップショットのデータを保存します。	59 ページ
⑥	IPC アップグレード	DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定してカメラのファームウェアをアップデートします。	111 ページ
⑦	ログバックアップ	ユーザーが実行した操作やデバイスのステータスの履歴を保存します。	107 ページ
⑧	VCA バックアップ	「自動追跡」以外の機能はサポートしていません。	61 ページ



録画データのバックアップの際に、外付けの USB ハードディスクを使用する場合、ファイルやフォルダに、2 バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。
※ 外付けの USB ハードディスクのフォーマット形式は FAT32 または NTFS に対応しています。

録画データをバックアップする

- 1 ホーム画面で設定メニューアイコンをクリックするか、USB ストレージデバイスを本製品に接続したときに表示されるメニューから「録画バックアップ」を選択します。



- 2 「検索」 — 「ビデオ」 をクリックします。

検索画面が表示されます。



- 3 バックアップしたい映像の条件を指定し、「検索」をクリックします (⇒ 57 ページ)。



4 検索結果画面が表示されますので、バックアップする映像を選択するか、[全てバックアップ]をクリックします。



- 本製品では、カメラの映像を約 250MB ごとに 1 つのファイルとして内部で管理しています。バックアップ時にもこの内部ファイル単位でバックアップファイルが作成されます。そのため、開始時間・終了時間によっては、複数のファイルが出力されます。
- 録画データのバックアップの際に、外付けの USB ハードディスクを使用する場合、ファイルやフォルダに、2 バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。
※ 外付けの USB ハードディスクのフォーマット形式は FAT32 または NTFS に対応しています。

5 バックアップ画面が表示されますので、フォルダを選択し、[バックアップ]をクリックします。



- 接続されている USB ストレージデバイスの容量が 2TB を超える場合は、[フォーマット]をクリックすると、NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。容量が 2TB 以下の場合、FAT32 または NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。
- バックアップファイルの名前は、「(カメラ名) (録画開始時間) .mp4」となります。(例：Ch9-20150630183546.mp4)
- 画像のバックアップは、[バックアップ] - [画像] メニューから同じ手順で行います。ファイルの拡張子は「.jpg」となります。

VCA 設定

VCA 設定は、CNE3CPZH1 を使用したときに自動追跡のみ動作します。その他の機能は、サポートしていません。また、VCA 設定は、その他のカメラでは、サポートしていません。



■自動追跡（CNE3CPZH1）

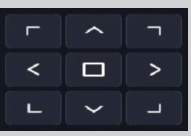
検出物を一定時間追跡します。「継続的な追跡を有効にする」にチェックを入れます。



連動動作の設定ができます。

自動追跡を有効にするスケジュールの設定ができます。

「継続的に追跡」を ☒ (有効) にします。

項目	内容
ズーム	ズーム操作ができます。
フォーカス	フォーカス操作ができます。
絞り	カメラの絞りを調整できます。
	カメラの方向（パン・チルト）をコントロールします（PTZ カメラのみ）。 ※ ライブビュー画面上でマウスカーソルを各方向をクリック、または長押しすることでカメラ方向をコントロールすることができます。
速度	スライダーが右にあるほど、カメラの方向（パン・チルト）をコントロールする速度は速くなります。

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

自動追跡詳細設定

自動追跡の詳細設定をします。

項目	内容
追跡モード	パノラマのみ設定ができます。
追跡タイムアウト(秒)	追跡する時間を設定します。

連動動作画面 または **スケジュールの設定** については「アラーム」(➡ 92 ページ) をご確認ください。

周辺機器

本機能は Sler 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。

システム

一般

■基本設定

システムの基本的な設定をします。



項目	内容
デバイス名	本製品のデバイス名が表示されます。
デバイス ID	本製品のデバイス ID が表示されます。
表示言語	管理画面の表示言語を以下の中から選択します。[English / 日本語（初期値）]
カメラ映像規格	設定を変更しないでください
オートログアウト時間（分）	一定時間操作しなかったときに、自動的にログアウトするまでの時間を設定します。 [無効] に設定すると、自動的にログアウトしません。 [1 / 5（初期値） / 10 / 15 / 20 / 25 / 30 / 無効]
即時再生（分）	ライブビュー上で簡易再生するときに、逆上の時間を設定します。[0～60分（初期値:5）]
マウスポインタの速度	マウスポインタの速度を 4 段階で設定できます。スライダーを右に移動させるほど速くなります。[1 ～ 4（初期値：1）]
パスワード保護を有効にします	チェックを外すと、パスワードを入力せずに管理画面に入ることができるようになります。この項目は、管理者のみ変更できます。（初期値：有効）
スタートアップ時ウィザード有効	チェックすると、電源オン時に毎回初期設定ウィザードを表示します。[ウィザード] をクリックすると、すぐに初期設定ウィザードが表示されます。
インテリジェントマーク	本製品では使用できません。

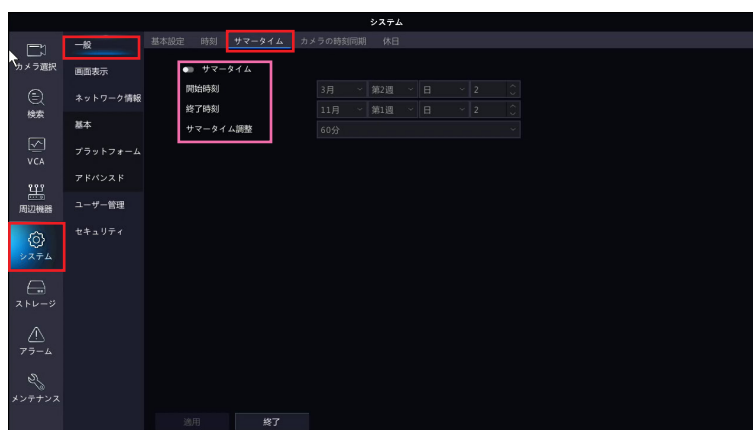
■時刻

本システムの時刻を設定します。



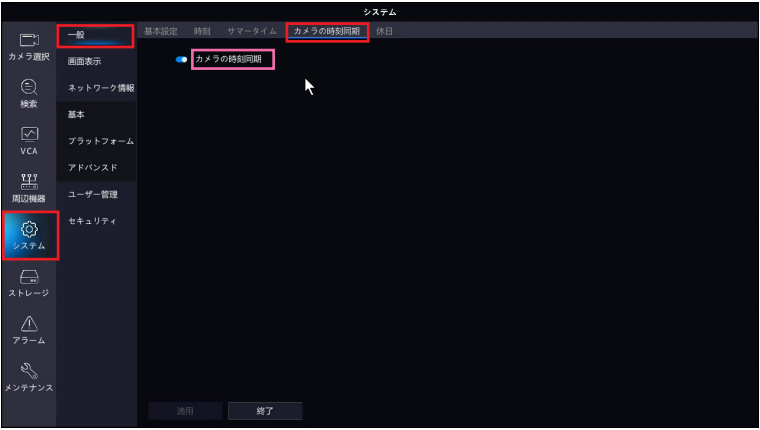
項目	内容						
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。						
日付形式	カメラ映像の左上に表示する日付の形式を選択します。 例)「YYYY-MM-DD」の場合「2021-02-12」と表示						
時間形式	時間表示形式を選択します。[12 時間 / 24 時間 (初期値)]						
システム時刻	システム時刻を設定します。						
時刻同期モード	時刻の同期を行うときに設定します (初期値: 同期無効)。 <table border="1"> <tr> <td>同期無効</td><td>時刻の同期は行いません。</td></tr> <tr> <td>NTP サーバーに時刻を同期</td><td>NTP (ネットワークタイムプロトコル) を使用する場合に設定します</td></tr> <tr> <td>クラウドサーバーと同期する</td><td>クラウドサーバーを使用する場合に設定します</td></tr> </table>	同期無効	時刻の同期は行いません。	NTP サーバーに時刻を同期	NTP (ネットワークタイムプロトコル) を使用する場合に設定します	クラウドサーバーと同期する	クラウドサーバーを使用する場合に設定します
同期無効	時刻の同期は行いません。						
NTP サーバーに時刻を同期	NTP (ネットワークタイムプロトコル) を使用する場合に設定します						
クラウドサーバーと同期する	クラウドサーバーを使用する場合に設定します						

■サマータイム



項目	内容
サマータイム有効	指定した期間、指定した時差でサマータイムを適用できます。
開始時刻	開始時刻と終了時刻を設定します。
終了時刻	
サマータイム調整	サマータイムをする季節に合わせて、サマータイムと標準時間の差を設定します。

■カメラの時刻同期



項目	内容
カメラの時刻同期	チェックすると、本製品と接続しているカメラの時刻を本製品の時刻に合わせます。通常はチェックを外さずにご利用ください。（初期値：有効）

■休日

休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。



選択した休日設定を無効にします。

選択した休日設定を有効にします。

クリックすると、「休日」画面が表示され、休日設定を追加できます。

はじめに

準備

設定

その他

「休日」画面

選択した内容で休日設定を更新します。

選択した内容で設定内容を確定します。

項目	内容
休日名	休日の名称を設定します。
状態	追加する休日を有効にするか無効にするか設定します。 (初期値：有効)
繰り返し	「はい」を選択すると、日ごとまたは週ごとに休日を繰り返します。 (初期値：いいえ)
モード	「繰り返し」で「はい」を選択している場合に、日ごとに繰り返すか、週ごとに繰り返すか設定します。 [日 (初期値) / 週]
開始時刻 (開始日時) / 終了時刻 (終了日時)	休日に設定する日付を設定します。 (「繰り返し」または「モード」で選択している項目によって設定内容が異なります)

画面表示

■画面表示

管理画面の画面表示を設定します。

● (有効)にするとプレビューウィンドウにカメラ番号を表示します



レイアウト設定ウィンドウ

項目	内容
ビデオ出力	設定変更はできません。
解像度	管理画面の解像度を選択します。 4ch モデル： [1024*768/60Hz / 1280*720/60Hz (初期値) / 1280*1024/60Hz / 1600*1200/60Hz / 1920*1080/50Hz(1080P) / 1920*1080/60Hz(1080P) / 3840*2160/30Hz(4K)] 8ch モデル： [1024*768/60Hz / 1280*720/60Hz / 1280*1024/60Hz (初期値) / 1600*1200/60Hz / 1920*1080/50Hz(1080P) / 1920*1080/60Hz(1080P) / 3840*2160/60Hz(4K)]
表示形式	ライブビューの表示方法を設定します。
表示比率	画像の比率を設定します。 [フル/オリジナル (初期値)]
アラーム連動のライブ画面数	アラームが発生したときにライブを表示する画面モードを設定します。 4ch モデル： [全画面 (初期値) / 4 分割] 8ch モデル： [全画面 (初期値) / 4 分割 / 9 分割]
シーケンス	● (有効) にすると、設定した間隔で自動的にライブビューの画面表示が切り換えられます。画面が分割表示に設定されているとき、チェックしても画面が切り換わりません。(初期値：無効)
シーケンス間隔 (秒)	シーケンス表示時の表示時間を設定します。[8 ~ 3600 (初期値：8)]

はじめに

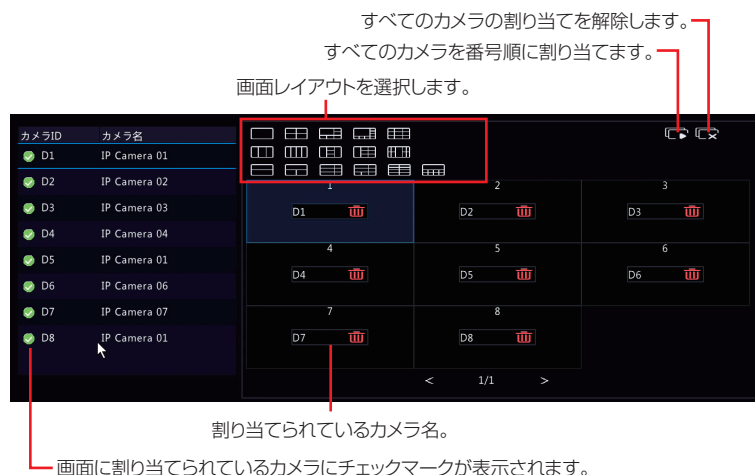
準備

設定

その他

レイアウト設定ウィンドウ

ライブビューのレイアウトを設定することができます。



<各場所に割り当てられているカメラを変更したいとき>

例) 上図の状態を、以下の状態に変更したい場合

ウィンドウ「1」: 「D1」⇒「D2」のカメラに変更

ウィンドウ「2」: 「D2」⇒「D1」のカメラに変更

①「1」をクリックして選択状態にします。



②左のリストから「D2」のチェックマークをクリックします。

ウィンドウ「1」に「D2」が設定され、ウィンドウ「2」の選択が「なし」になります。

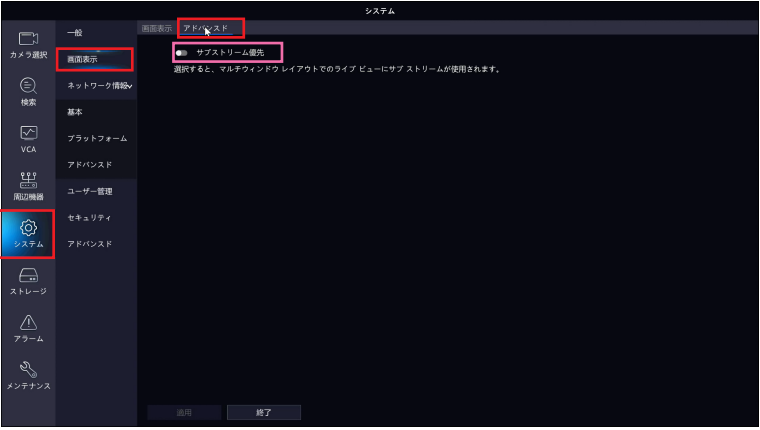


③ウィンドウ「2」をクリックしたあと、左のリストから「D1」をクリックします。

ウィンドウ「2」に「D1」のカメラが設定されます。



■アドバンスド



項目	内容
サブストリーム優先	☒ (有効) にすると、ライブ映像にサブストリームの映像を表示します。(初期設定:無効)

はじめに

準備

設定

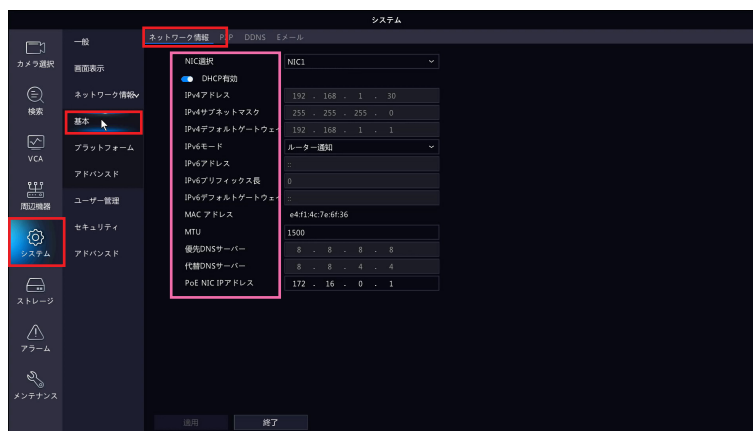
その他

ネットワーク情報

■基本

ネットワークの基本設定を行います。

ネットワーク情報



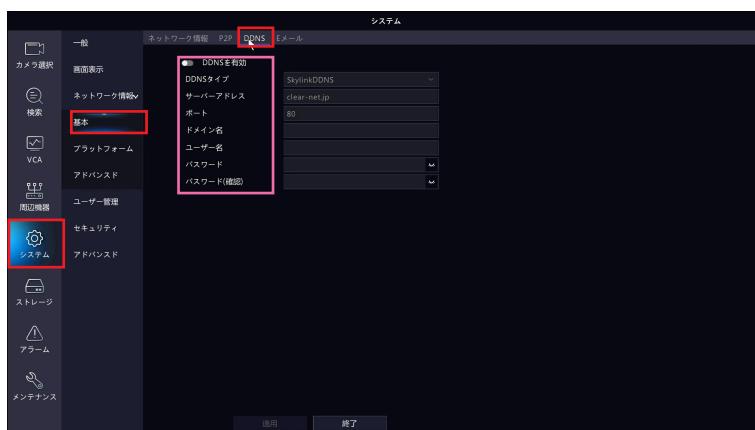
項目	内容
NIC 選択	「NIC 1」のみ選択できます。
DHCP 有効	☒ (有効) にすると、自動的に IP アドレスを取得します。(初期値：有効)
IPv4 アドレス	[DHCP 有効] にチェックを入れていないときに、設定します。
IPv4 サブネットマスク	
IPv4 デフォルトゲートウェイ	
IPv6 モード	本製品ではサポートしていません。
IPv6 アドレス	
IPv6 プリフィックス長	
IPv6 デフォルトゲートウェイ	本製品の MAC アドレスが表示されます。変更はできません。
MAC アドレス	
MTU (Bytes)	
優先 DNS サーバー	[DHCP 有効] にチェックを入れていないときに、設定します。
代替 DNS サーバー	
PoE NIC IP アドレス	PoE チャンネル側のアドレスを設定します。 先頭アドレスは IPv4 アドレスとは異なる数値にしなければなりません。 (初期値：172.16.0.1)



項目	内容
P2P を有効	P2P を有効に設定します。(初期値：有効)
サーバーアドレス	利用できる P2P サーバーのアドレスです。
登録コード	サーバー側でデバイスを登録するのに必要となります。
デバイス状態	デバイスのネットワーク接続状態を表示します。
アカウントなしで追加できる	アプリなどからデバイスを追加する際に、QR コードをスキャンすることで、追加することができます。
スナップショットアップロード	検知して撮影されたスナップショットをサーバーにアップロードし、アプリなどからもスナップショット閲覧できるようになります。

DDNS

DDNS（ダイナミック DNS）を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、SkylinkDDNS サービスに登録する必要があります。



項目	内容
DDNS を有効	DDNS を有効に設定します。(初期値：無効)
DDNS タイプ	ダイナミック DDNS、No-IP、MyDDNS、SkylinkDDNS から選択できますが、本製品では SkylinkDDNS サービスをご利用ください。
サーバーアドレス	DDNS サービスタイプに基づいた、サーバーアドレスが自動で入力されます。
ポート	プロトコルの標準番号です。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。
パスワード（確認）	指定したパスワードを再入力します。

- SkylinkDDNS については、右記の URL をご参照ください (<https://www.clear-net.jp/>)。

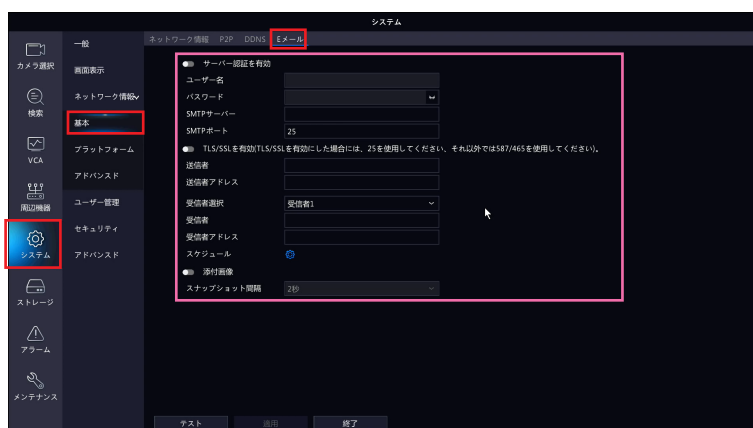
SkylinkDDNS へ登録するときは、本製品のラベルに記載されたシリアルナンバーをシリアル変換ページで変換して登録してください。
(シリアル変換ページ https://www.dxantenna.co.jp/product/skylink/skylink_ddns_for_dx_.html)

本製品のシリアルナンバー：

E メール

アラーム発生時に送信する E メールを設定をします。

(アラーム発生時に E メールを送付するようにする設定は、[アラーム] - [システム警告] 設定で行います。→ 97 ページ「システム警告」)



項目	内容
サーバー認証を有効	サーバー認証が必要な場合は、 ☒ (有効) にします。(初期値：無効)
ユーザー名	認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
パスワード	
SMTP サーバー	SMTP サーバー情報を入力します。
SMTP ポート	
TLS/SSL を有効	TLS/SSL を有効にした場合には、25 を使用してください。それ以外では 587/465 を使用してください。
送信者	メールの送信者となる名前とアドレスを設定します。
送信者アドレス	
受信者選択	受信者の情報を入力します。宛先は最大 6 件まで登録できます。
受信者	
受信者アドレス	
スケジュール	アラームが発生したときに E メールを送信する時間帯を設定します。設定すると、設定した時間帯以外の時間にアラームが発生しても E メールを送信なくなります。
スナップショット間隔	添付画像を ☒ (有効) にすると、スナップショットの撮影間隔が設定できます。2 秒～5 秒の間で設定ができます。



- 「テスト」ボタンをクリックすると、メールの送信テストを行えます。受信者アドレステストで、すべての受信者の状態が有効となっていることをご確認ください。複数の受信者を設定したときに 1 つでも受信者の設定に失敗がある場合は、正常な受信者を含めすべての受信者宛メールが送信されません。
- 一部の Web メールサービスではご利用いただけない場合があります。

■プラットフォーム

SNMP

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からのサポートは対象外です。

アラームサービス

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からのサポートは対象外です。

VIID ローカルの設定

本機能は Sler 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。

VIID サーバーの設定

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からのサポートは対象外です。

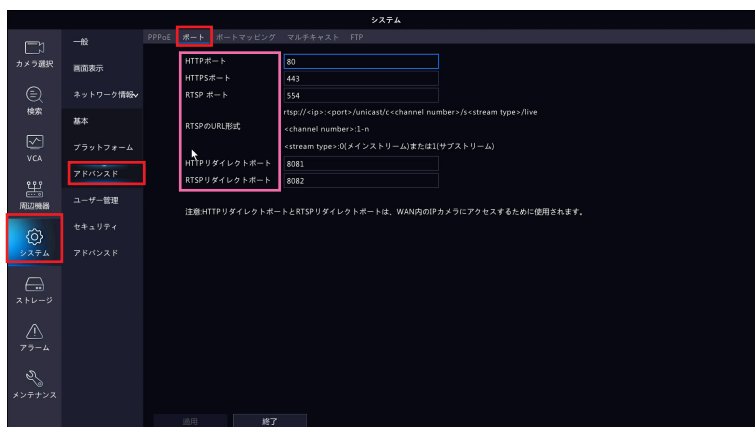
■アドバンスド

PPPoE

本製品では設定できません。

ポート

通常、ポート番号は初期設定から変更する必要はありません。
この設定はおもにポートマッピング設定と合わせて設定します。

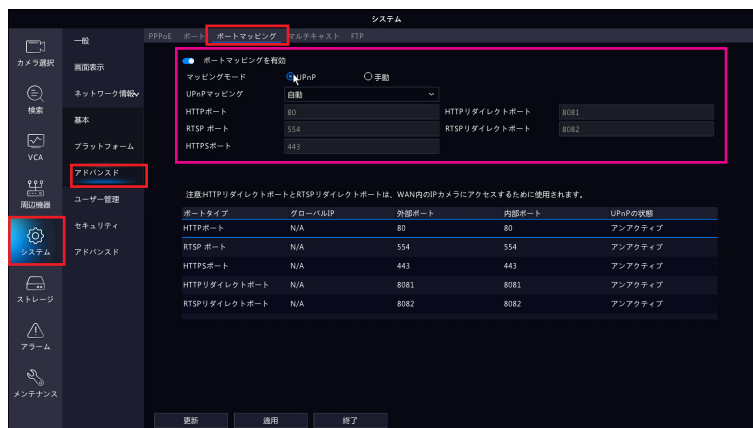


項目	内容
HTTP ポート	ポート番号を設定します。
HTTPS ポート	ポート番号は 1 から 65535 の範囲で設定できますが、以下の番号は予約されているので、設定できません。
RTSP ポート	21、23、2000、3702、60000
RTSP の URL 形式	RTSP の URL 形式を表示します。
HTTP リダイレクトポート	WAN 内の IP カメラにアクセスするために使用されます。
RTSP リダイレクトポート	

※ RTSP のライブ映像視聴は非対応

ポートマッピング

ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。



項目	内容	
ポートマッピングを有効	☒ (有効) にすると、ポートマッピング機能が使用できます。 (初期値：無効)	
マッピングモード	UPnP (初期値)	ネットワーク上の他のデバイスを検出し、データ共有や通信などのネットワークサービスを確立できます。本製品で UPnP を使用するには、接続先のルーターで UPnP を有効にする必要があります。UPnP がネットワークアドレス変換 (NAT) に対応していると、本製品のポートは自動的にルーターにマッピングされ、コンピュータは LAN の外部から本製品にアクセスできます。
	手動	ルーターが UPnP をサポートしていない場合は [手動] を選択します。
UPnP マッピング	ポートを手動でマッピングする場合は、[手動] を選択します。 ● [自動] を選択することをおすすめします。正しく設定されていないと、ポートが競合します。 [自動 (初期値) / 手動]	
HTTP ポート	[マッピングモード] または [UPnP マッピング] を [手動] に設定しているときに、ポート番号を設定します。	
RTSP ポート		
HTTPS ポート	● 本製品の内部ポートと外部ポートがルーターのポートと一致する必要があります。 ● 一部のルーターは、本製品とルーターに同じ内部ポートと外部ポートを設定する必要があります。	
HTTP リダイレクトポート	HTTP リダイレクトポートは新しい場所への通信において、通信ポートを指定します。	
RTSP リダイレクトポート	データの転送先が変更されても、クライアントは正しく新しい場所にアクセスできるようになります。	



- ポートマッピングが完了したら、Web ブラウザのアドレスバーに以下を入力すると、本製品の Web 管理画面にアクセスできます。
http:// (ルーターの WAN ポート IP アドレス) : (外部 HTTP ポート)
例) IP アドレス : 10.2.2.10
外部 HTTP ポート番号 : 82 の場合は、http://10.2.2.10:82
- この機能を使うためには、本製品が接続されているネットワーク上にあるルーターの設定も必要となります。インターネット側からのアクセスを受け入れる設定のため、セキュリティに充分配慮の上で設定を実施してください。

マルチキャスト

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からのサポートは対象外です。

FTP

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からのサポートは対象外です。

ユーザー管理

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。



クリックすると、「変更／追加ユーザー」画面が表示され、ユーザーを追加できます。

項目	内容	
ユーザータイプ	管理者	すべてのアクセス権を持ちます。 初期パスワードは「123456」です。
	ローカルプレビューユーザー	ログインなしでライブビューと双方向オーディオを利用可能にするために、あらかじめ登録されているシステム用ユーザーです。新たに作成したり、削除することはできません。また、このユーザーでログインすることもできません。
	オペレーター	基本的な権限とカメラへのアクセス権があります。 基本権限・カメラ権限を設定することができます。
	ゲスト	初期設定ではカメラにのみアクセスできます。 初期設定ではカメラ権限を設定することができます。 権限の設定変更を行い、基本的な権限へのアクセス権と、基本権限の設定もすることができます。

はじめに

準備

設定

その他

重要

- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
- 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
- パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。弊社カスタマーセンターへお問い合わせください。



「カメラ権限」を設定するカメラにチェックを入れます。

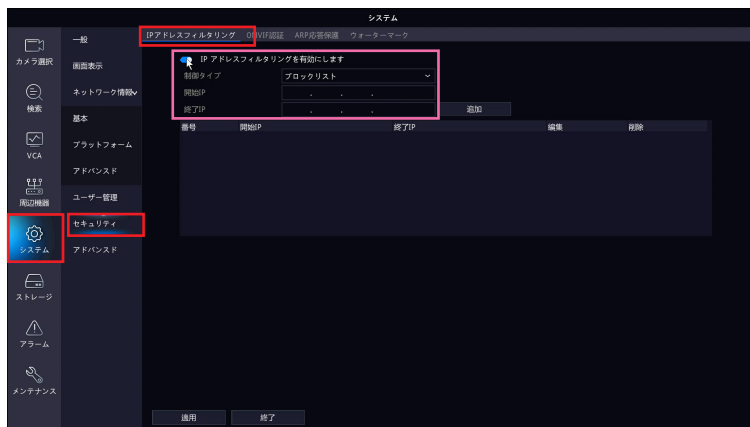
項目	内容	
ユーザー名	1～18文字でユーザー名を設定します。英字(A-Z,a-z)、数字(0-9)、アンダーバー(_)、ハイフン(-)、ドット(.)、プラス(+)が利用できます。英字の大文字と小文字は区別されます。	
ユーザータイプ	オペレーター	初期設定では、基本権限とカメラへのアクセス権があります。
	ゲスト	初期設定ではカメラにのみアクセスできます。
パスワード	9～32文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。スペースは使用できません。	
パスワード(確認)	確認のため、設定したパスワードを再度入力します。	
パターン	パスワード入力の代わりに、登録したアンロックパターンでロック解除ができるようになります。チェックを入れるとアンロックパターンの登録画面が表示されます。	
基本権限	付与する権限を設定します。	
	設定	管理画面にアクセスすることができます。
	アップグレード	システムのアップグレードができます。
	ログの表示とエクスポート	システムのログを表示したり、書き出すことができます。
	再起動	システムを再起動することができます。
スマートパーミッション	画面表示	本製品では使用できません。
カメラ権限	カメラごとに付与する権限を設定することができます。選択している項目に対して、チェックが入っているカメラは以下のように権限が与えられます。	
	ライブビュー	ライブビューを表示したり、双方向通話ができます。
	PTZ 制御	PTZ 制御パネルでカメラを制御できます。
	再生	録画された映像を再生できます。
	NVR マニュアル録画	マニュアル録画をすることができます。
	ローカルバックアップ	録画データを USB ストレージにバックアップします。
	音声検出	音声入出力の設定ができます。



- 管理画面で入力したユーザー名・パスワードは、すべて半角文字となります。
- ユーザーは最大 33 ユーザーまで登録できます。(あらかじめ登録されている「admin」「default」ユーザーを含む)

セキュリティ

指定した IP アドレスからネットワークレコーダーへのアクセスを許可または禁止することができます。

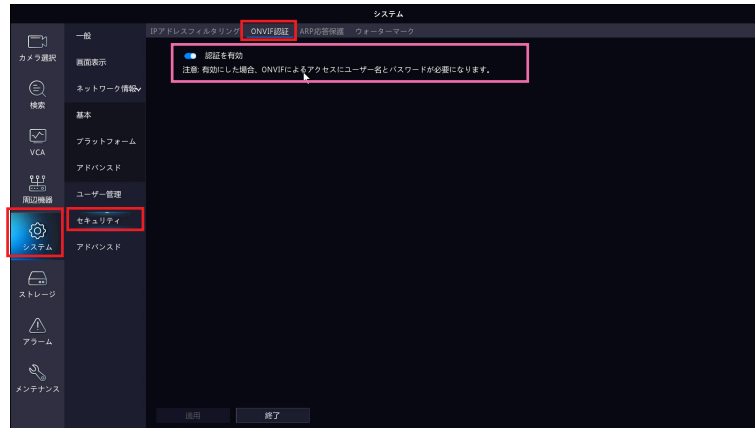


■ IP アドレスフィルタリング

項目	内容	
IP アドレスフィルタリングを有効にします	チェックすると、IP 制御機能が有効になります。(初期値：無効)	
制御タイプ	ブロックリスト	指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。
	許可リスト	指定した IP アドレスのみアクセスを許可します。 IP アドレスを指定せずに、「許可リスト」を選択すると、リモートアクセスをすべて拒否します。
 制御タイプを変更したときには、「適用」ボタンを押して変更を先に確定してください。		
開始 IP	ブロックリストまたは許可リストに追加する IP アドレスの範囲を入力します。	
終了 IP	[追加] をクリックすると、入力した範囲の IP アドレスがリストに追加されます。 [追加] の場合は「適用」をクリックしなくても設定が反映されます。 変更する場合は、設定値変更後に「適用」をクリックしてください。	

■ ONVIF 認証

通常は本設定を変更せずご利用ください。使用するカメラによって、異なります。



項目	内容
認証を有効	チェックすると、ONVIF ベースのデバイスアクセスにユーザー名とパスワードが必要になります。(初期値：有効) ※すべての製品が正しく動作することは保証いたしかねます。 使用する製品を実際に使用できることをご確認ください。

■ ARP 応答保護

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からのサポートは対象外です。

■ ウォーターマーク

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からのサポートは対象外です。

ストレージ

録画スケジュール

■録画スケジュール

録画スケジュールを表示することができます。

スケジュールの設定は、「録画スケジュールを設定する」(⇒ 32 ページ) をご確認ください。



音声付きで録画するときは [オーディオストレージ] にチェックを入れます。



スケジュール設定ウィンドウ

スケジュール設定を他のカメラにコピーします。

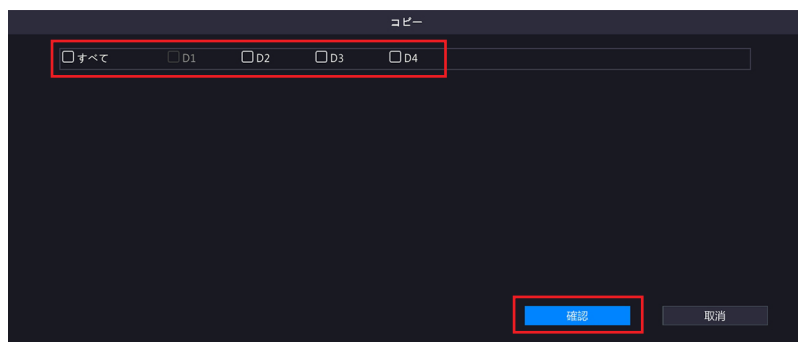
項目	内容
チャンネルを選択	スケジュール設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
スケジュール有効	☒ (有効) にすると、スケジュール設定が有効になります。(初期値：有効)
オーディオストレージ	☒ (有効) にすると、音声付きで録画ができます。(初期値：無効)
プリ録画 (秒)	指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。 [0 / 5 / 10 (初期値) / 20 / 30 / 60]
ポスト録画 (秒)	指定した時間だけスケジュールの録画終了時間後も録画します。 [5 / 10 / 30 / 60 (初期値) / 120 / 300 / 600]

スケジュールをコピーする方法

① コピー元となるカメラのスケジュールを表示し、[コピー] をクリックします。



- ② [コピー] ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れ、[確認] をクリックします。



CNE3C シリーズのカメラとレコーダーの通信ができないとき、カメラ内のストレージに録画し、通信が回復したときに、ネットワークレコーダーに映像データを補間する、ANR 機能があります。この機能はカメラ側で設定する必要があります。

下記の URL よりカメラの取扱説明書（詳細）をご確認ください。

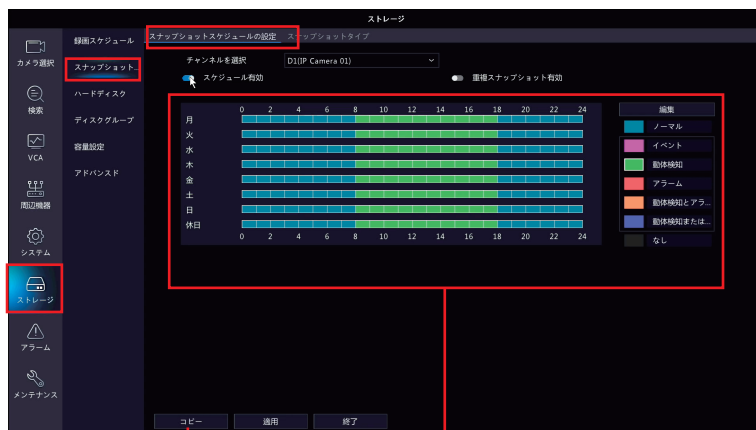
<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CNE3CBF1.pdf>

スナップショット

■スナップショットスケジュールの設定

スナップショット撮影スケジュールを表示することができます。

スケジュールの設定は、「録画スケジュールを設定する」(⇒ 32 ページ) をご確認ください。



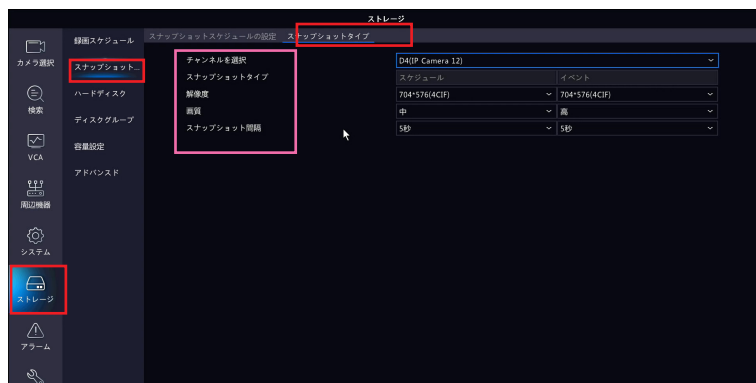
スケジュール設定ウィンドウ

スケジュール設定を他のカメラにコピーします。
スケジュールをコピーする方法については、
録画ステータスと同じです
(⇒ 85 ページ)。

項目	内容
チャンネルを選択	対象となるカメラを選択します。
スケジュール有効	☒ (有効) にすると、スケジュール設定が有効になります。(初期値：有効)
重複スナップショット	本製品では使用できません。

■スナップショットタイプ

スナップショットの設定をします。



項目		内容	
チャンネルを選択		スケジュール設定するカメラを選択します。	
解像度	スケジュール	保存するスナップショットの解像度を設定します。 (初期値：704 × 576 (4CIF))	
	イベント		
画質	スケジュール	保存するスナップショットの画質を設定します。	(初期値：中)
	イベント		(初期値：高)
スナップショット 間隔	スケジュール	スナップショットを撮影する間隔を設定します。(初期値：5 秒)	
	イベント		

ハードディスク

内蔵ハードディスクの設定をします。

ハードディスク編集画面を表示します。



選択したディスクをフォーマットします。

最新の情報に更新します。

ハードディスク編集画面



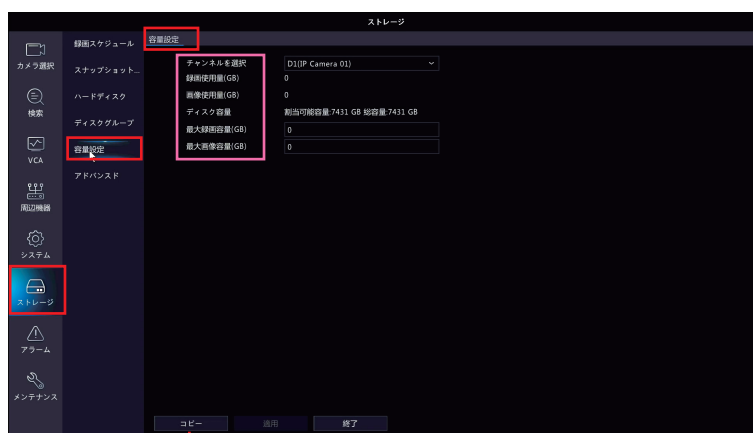
項目	内容
用途	用途は変更できません。
プロパティ	読取 / 書込 (初期値)
	読取専用

ディスクグループ

この機能は使用できません。

容量設定

カメラごとに映像と画像を保存する場所を設定します。



設定を他のカメラにコピーします。

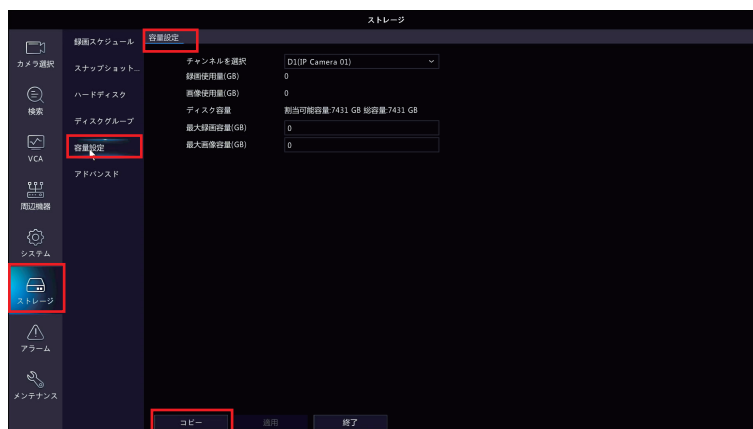
項目	内容
チャンネルを選択	設定するカメラを選択します。 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。設定中の場合は、カメラを変更する前に、[適用] をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。
録画使用量 (GB)	現在使用している録画データのサイズが表示されます。
画像使用量 (GB)	現在使用している画像データのサイズが表示されます。
ディスク容量	ディスク容量が表示されます。
最大録画容量 (GB)	保管する録画データサイズの上限を設定します。すでに録画データがある状態でこの設定値を変更すると以前の録画データはそのまま残され、この設定をしたときから、最大録画容量分の空きが確保されます。
最大画像容量 (GB)	保管する画像データサイズの上限を設定します。すでに画像データがある状態でこの設定値を変更すると以前の画像データはそのまま残され、この設定をしたときから、最大画像容量分の空きが確保されます。

注意

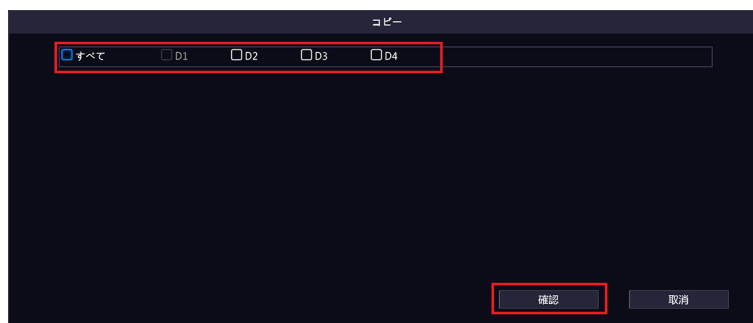
- 映像の録画ファイルは、約 0.25GB 単位で内部管理されています。そのため、最大録画容量を設定した場合でも、指定した値より 0.25GB 程度多く録画データが作成される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合、利用可能なスペースを最大限利用します。また、HDD がいっぱいになっても録画 / 画像の保存を停止せず、もっとも古いデータを上書きして（ファイル単位でデータを削除）、録画 / 画像の保存を継続します。

容量設定をコピーする方法

① コピー元になるカメラの内容を設定し、[コピー] をクリックします。



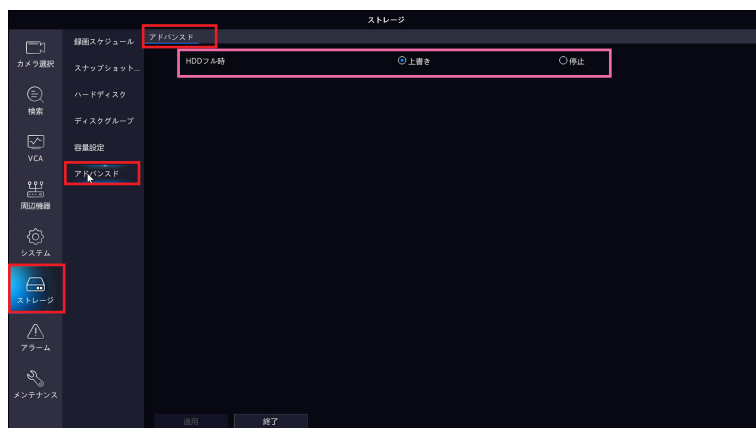
② [コピー] ダイアログボックスが表示されますので、設定をコピーするカメラにチェックを入れます。



③ [確認] をクリックします。

アドバンスド

ディスク容量が満杯になったときの動作を設定します。



項目	内容	
HDD フル時	上書き (初期値)	容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合： まず割り当てられていないスペースを使用します。 そのスペースがなくなると、もっとも古いデータが上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。 容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）以外の場合： 割り当てられたスペースを使い切ると、もっとも古いデータが上書きされます。
	停止	容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合： まず割り当てられていないスペースを使用します。 そのスペースがなくなると、もっとも古いデータが上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。 容量設定画面で設定した「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）以外の場合： 割り当てられたスペースを使い切ると、それ以上録画／画像データは保存されません。

注意

容量設定画面で設定した、「最大録画容量」「最大画像容量」が「0」（ゼロ）の場合は、「停止」を選択しても、古いデータを上書きして録画を継続します。

アラーム

映像に動きや妨害行為を検知したときや、映像が中断したときにブザーやEメールで通知することができます。

項目	内容	参照ページ
動体検知	動体検知機能を有効にすると、動きを検知したときにアラームを出力します（初期設定では有効になっています）。	94 ページ
タンバリング	タンバリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。	95 ページ
人体検知	この機能はサポートされていません。	95 ページ
ビデオロス検出	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力し、カメラのLAN 切断などのトラブルを検出できるようになります。	96 ページ
入力 / 出力	この機能はサポートされていません。	96 ページ
システム警告	システムに関する警告について設定します。	97 ページ
音声検知	カメラが突然の音の変化を検知したときに右上にアラームアイコンが表示されます。	98 ページ
ブザー	ブザーを鳴らす時間を設定します。	99 ページ
人体検出アラーム	この機能はサポートされていません。	99 ページ
ワンキー警戒解除	ネットワークレコーダまたはカメラで設定したすべてのアラームの解除するスケジュールを設定したりすることができます。	100 ページ

アラームの表記形式

アラームは以下の形式で入力／出力されます。

〔機器の種類〕〔入出力〕〔機器のアラーム端子番号〕

（例） A<-1：ネットワークレコーダーのアラーム入力

 D 4<-2：ネットワークカメラ（カメラ ID 4）のアラーム入力 2

 D 3->1：ネットワークカメラ（カメラ ID 3）のアラーム出力

機器の種類	A:ネットワークレコーダー D+ 数字:ネットワークカメラ+登録番号(カメラステータス画面に記載されたカメラ ID)
入出力	<-: アラーム入力 ->: アラーム出力
機器のアラーム端子番号	数字: アラームの番号 ※アラームの入出力が各 1 つの場合は「1」、複数のアラームがある場合にはアラーム端子の番号に対応します。

〈連動動作設定〉

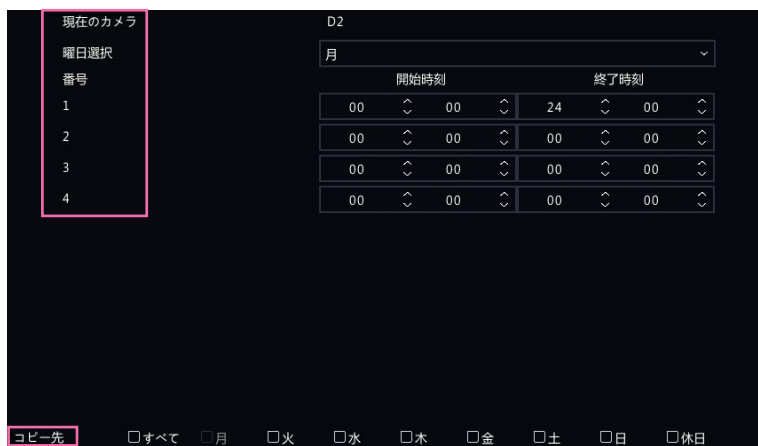
各メニューで連動動作を設定します。

使用するカメラまたは設定するメニューによっては、下記の設定項目が表示されない場合があります。

項目	内容
ブザー	チェックを入れると、イベントが発生した場合、ブザー音を鳴らします。
ポップアップウィンドウ	チェックを入れると、イベントが発生した場合、ポップアップウィンドウを表示します。
アラームをプッシュする	チェックを入れると、イベントが発生した場合、プッシュ通知を表示します。
連動カメラ設定	連動動作の内容を選択した後、以下の各画面で連動させるカメラにチェックを入れます。  ＜録画ステータス＞ (例：「画面表示」) 検知時にチェックを入れたカメラの録画を開始します。 ＜アラーム音＞ 本製品では使用できません。 ＜プリセットへ移動＞ 本項目は将来の機能拡張用の設定項目です。現在のご利用いただくことはできません。 ＜画面表示＞ 検知時にチェックしたカメラのライブビュー画面を全画面表示します。 ＜アラーム出力＞ 検知時にチェックしたアラーム端子にアラームを出力します。 ＜スナップショット＞ 検知時にチェックしたカメラのスナップショットを撮影します。 ＜Eメール送信＞ Eメールを送信する相手先と相手先のメールアドレスを一覧表示します。

＜スケジュール設定＞

各メニューで検知を有効にするスケジュールを設定します。



項目	内容
現在のカメラ	現在設定中のカメラが表示されます。
曜日選択	時間設定する曜日を選択します。休日設定は「休日」(➡ 72 ページ)をご確認ください。
開始時刻 / 終了時刻	イベントの発生を有効にする時間を設定します。
コピー先	ほかの曜日に設定をコピーします。

動体検知

動体検知機能を有効にすると、動体を検知したときにライブビューの右上にアラームアイコンが表示されます。初期設定では動体検知は有効になっています。

アラームアイコン：



項目	内容
チャンネルを選択	動体検知を設定するカメラを選択します。
有効	☒ (有効) にすると、選択しているカメラの動体検知機能が有効になります。 (初期値：有効)
検出モード	(8ch のみ) この機能は使用できません。
感度	動体検知の感度を設定します。感度の数値が高いほど (スライダーが右にあるほど)、わずかな動きでも検知しやすくなります。[1 ~ 100 (初期値：98)]

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

連動動作

設定方法は、＜連動動作設定＞ (➡ 92 ページ) をご確認ください。

スケジュール

設定方法は、＜スケジュール設定＞ (➡ 93 ページ) をご確認ください。

タンパリング

タンパリング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力し、カメラを覆い隠すようなイタズラがあったときに検知できるようになります。初期設定では無効になっています。



選択中のカメラの設定を他のカメラにコピーします。

項目	内容
チャンネルを選択	タンパリング機能を設定するカメラを選択します。
有効	☒ (有効) にすると、選択しているカメラのタンパリング機能が有効になります。 (初期値：無効)
感度	タンパリングの感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知しやすくなります。[1 ～ 100 (初期値：1)]

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

連動動作

設定方法は、＜連動動作設定＞（➡ 92 ページ）をご確認ください。

スケジュール

設定方法は、＜スケジュール設定＞（➡ 93 ページ）をご確認ください。

人体検知

この機能はサポートされておりません。

ビデオロス検出

カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力し、カメラの LAN ケーブル切断などのトラブルを検知できるようになります。初期設定では有効になっています。



連動動作

設定方法は、＜連動動作設定＞（⇒ 92 ページ）をご確認ください。

スケジュール

設定方法は、＜スケジュール設定＞（⇒ 93 ページ）をご確認ください。



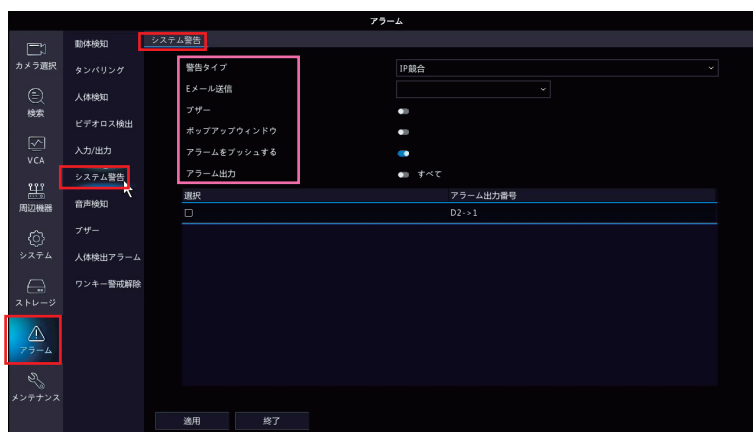
ビデオロス検知に録画の開始、プリセット、ライブビュー動作を連動させることはできません。

入力／出力

この機能はサポートされておりません。

システム警告

システムに関する警告について設定します。



項目	内容																
警告タイプ	設定する警告のタイプを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>IP 競合 (初期値)</td><td>本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき</td></tr> <tr> <td>ネットワーク未接続</td><td>ネットワークが切断されたとき</td></tr> <tr> <td>ディスクオフライン</td><td>ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき</td></tr> <tr> <td>HDD に異常があります</td><td>HDD は検出しているがアクセスができないとき</td></tr> <tr> <td>不正アクセス</td><td>ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき</td></tr> <tr> <td>ハードディスクの空き容量が少ない</td><td>残りのディスク容量が 10% 未満になったとき</td></tr> <tr> <td>ハードディスクフル</td><td>ディスク容量がなくなったとき</td></tr> <tr> <td>録画 / スナップショット異常</td><td>録画映像やスナップショット画像の保存場所が見つからないとき</td></tr> </table>	IP 競合 (初期値)	本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき	ネットワーク未接続	ネットワークが切断されたとき	ディスクオフライン	ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき	HDD に異常があります	HDD は検出しているがアクセスができないとき	不正アクセス	ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき	ハードディスクの空き容量が少ない	残りのディスク容量が 10% 未満になったとき	ハードディスクフル	ディスク容量がなくなったとき	録画 / スナップショット異常	録画映像やスナップショット画像の保存場所が見つからないとき
IP 競合 (初期値)	本製品と同じネットワークにある別の機器が同じ IP アドレスを持っているとき																
ネットワーク未接続	ネットワークが切断されたとき																
ディスクオフライン	ディスクが正しく接続されていないか、損傷しているとき																
HDD に異常があります	HDD は検出しているがアクセスができないとき																
不正アクセス	ログイン時に存在しないユーザー名または正しくないパスワードが入力されたとき																
ハードディスクの空き容量が少ない	残りのディスク容量が 10% 未満になったとき																
ハードディスクフル	ディスク容量がなくなったとき																
録画 / スナップショット異常	録画映像やスナップショット画像の保存場所が見つからないとき																
E メール送信	プルダウンメニューより送信するアドレスを選択し、選択中の警告が発生したときにメールを送信します。 Eメールの設定は 78 ページの「E メール」をご参照ください。  発生した警告タイプにより、以下のような E メールが送信されます。 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:IP 競合)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ディスクオフライン)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ディスクエラー)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:ネットワーク未接続)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:容量不足, カメラ ID:*)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:不正アクセス)」 件名「デバイスアラーム (イベントタイプ:録画 / スナップショット異常, カメラ ID:*)」 本文「これはデバイスから自動的に作成されたメールです アラーム時刻: (アラーム発生年月日・時分秒) カメラ名: (カメラ名) ※ デバイス名: (レコーダー名) S/N 値: (レコーダーのデバイス番号)」 ※「IP 競合」「ディスクオフライン」「ディスク異常」「ネットワーク未接続」「不正アクセス」では、カメラ名は記載されません。 (初期値: 無効)																

はじめに

準備

設定

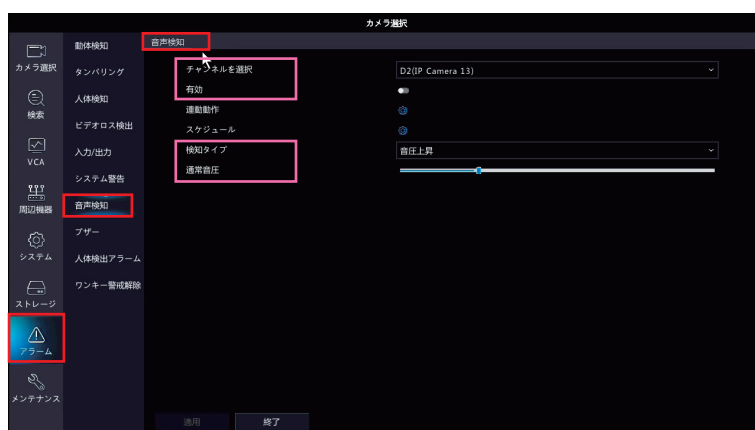
その他

項目	内容
ブザー	 （有効）にすると、選択中の警告が発生したときにブザーが鳴ります。（初期値：無効）
ポップアップウィンドウ	 （有効）にすると、選択中の警告が発生したときにポップアップウィンドウが表示されます。（初期値：無効）
アラームをプッシュする	 （有効）にすると、アラームが出力されたときにプッシュ通知します。
アラーム出力	 （有効）にすると、本製品およびカメラすべてのアラーム出力を選択されます。

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

音声検知

音声検知機能を有効にすると、カメラが突然の音の変化を検知したときに右上にアラームアイコンが表示されます。初期設定では無効になっています。



項目	内容
チャンネルを選択	音声検知機能を設定するカメラを選択します。
有効	 （有効）にすると、選択しているカメラの音声検知機能が有効になります。（初期値：無効）
検知タイプ	検知する音圧の変化を設定します。 [音圧上昇（初期値）／音圧下降／音圧変化／しきい値]
通常音圧	音圧レベルを設定します。 数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、検知する音圧変化は大きくなります。
しきい値 （検知タイプをしきい値に設定したときのみ）	通知をする音圧のしきい値を設定します。

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

連動動作

設定方法は、＜連動動作設定＞（⇒ 92 ページ）をご確認ください。

スケジュール

設定方法は、＜スケジュール設定＞（⇒ 93 ページ）をご確認ください。

ブザー

ブザーを鳴らす時間を設定します。



項目	内容	
ブザー持続時間	最大	最大の時間ブザーを鳴らします。
	カスタム (初期値)	指定した秒数ブザーを鳴らします。
カスタム期間 (秒)	ブザーを鳴らす秒数を設定します。 [1 ~ 600 (初期値 : 30)]	

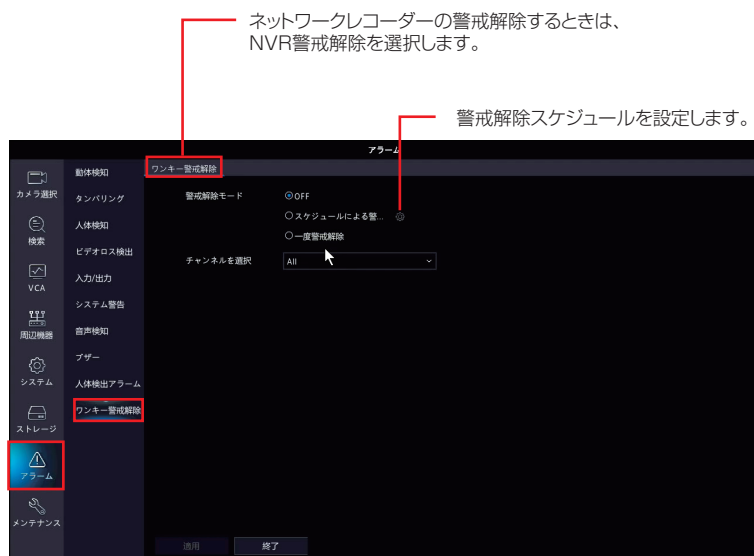
設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

人体検出アラーム

本製品ではこの機能はサポートされておりません。

ワンキー警戒解除

ネットワークレコーダーで設定したすべてのアラームを解除するスケジュールを、設定したりすることができます。



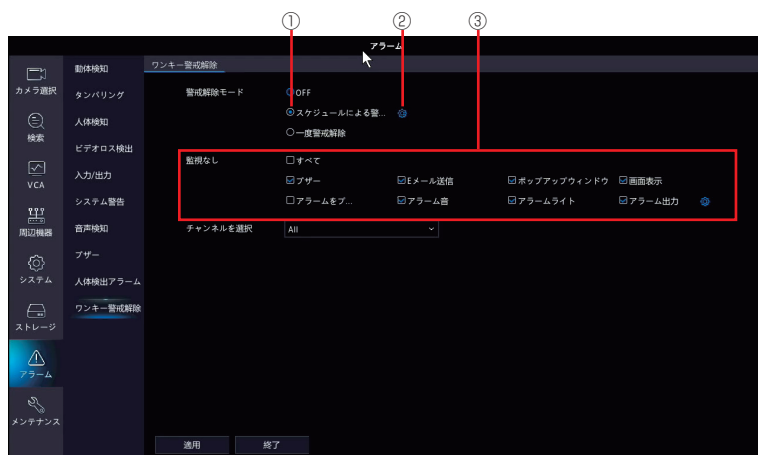
項目	内容
OFF	警戒解除の設定をしていません。
スケジュールによる警戒解除	アラーム解除するスケジュールを設定します。
一度警戒解除	警戒解除する期間を設定します。
チャンネルを選択	警戒解除するカメラを選択します。

設定後は「適用」をクリックして設定を完了します。

スケジュールによる警戒解除

警戒解除するスケジュールを設定します。

- ① 「スケジュールによる警戒解除」を選択します。
- ②  をクリックします。
- ③ 解除するアラームを選択します。
- ③ 「チャンネルを選択」から解除するカメラを選択します。

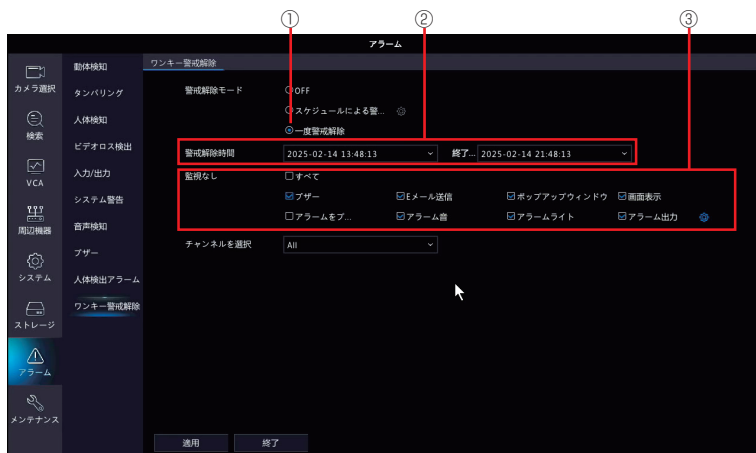


スケジュールの設定方法は、＜スケジュール設定＞（⇒ 93 ページ）をご確認ください。

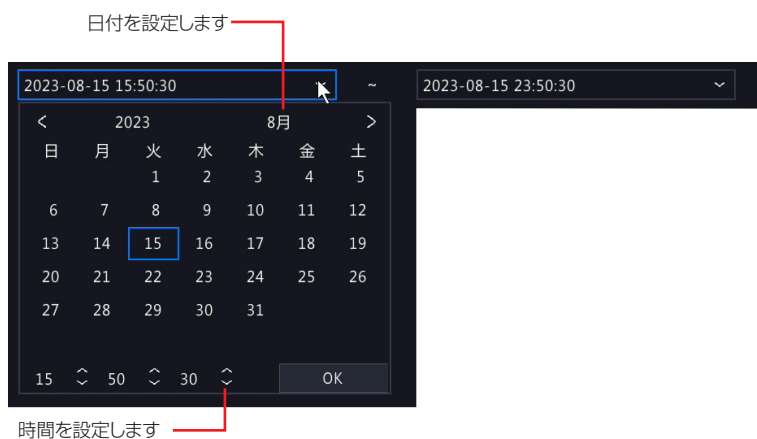
一度警戒解除

警戒解除する期間を設定します。

- ① 「一度警戒解除」を選択します。
- ② 「警戒解除時間」を設定します。
- ③ 解除するアラームを選択します。
- ④ 「チャンネルを選択」から解除するカメラを選択します。



警戒解除時間の設定方法は以下の通りです。
(開始時間と終了時間の設定方法は同じです)



メンテナンス

システム情報

■基本情報

システムの基本情報を表示します。



■カメラ選択

カメラの状態を表示します。



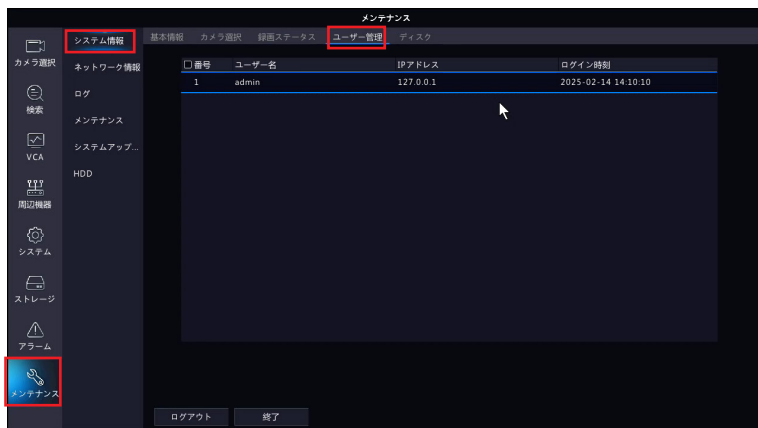
■録画ステータス

録画の状態を表示します。



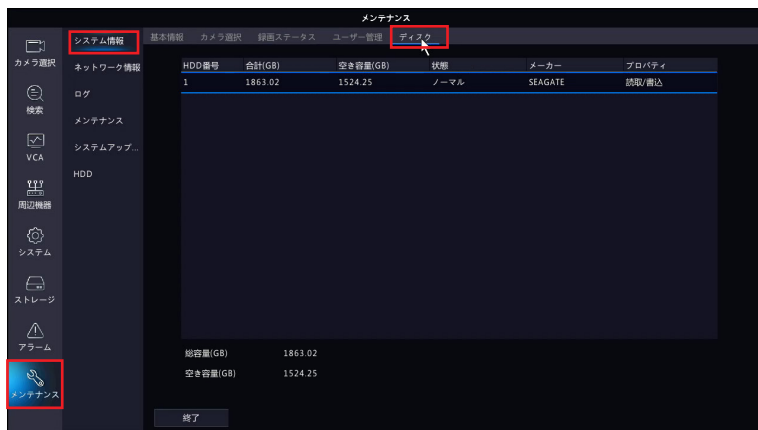
■ユーザー管理

現在管理画面にログインしているユーザーを表示します。



■ディスク

ハードディスクの状態を表示します。

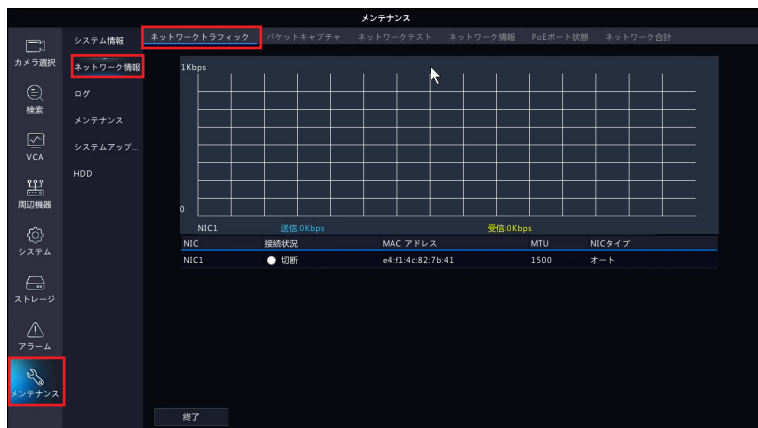


ネットワーク情報

■ネットワークトラフィック

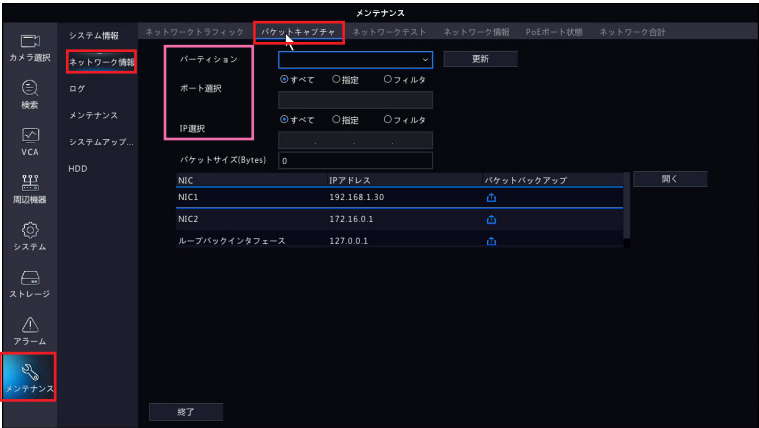
※ Web 管理画面上では「ネットワークフロー」と表示されます。

ネットワークに流れているデータ量をリアルタイムに折れ線グラフで表示します。青い線は、本製品から送出しているデータ量、黄色い線は本製品が受信しているデータ量を表します。



■パケットキャプチャ

パケットを USB ストレージに保存できます。



本製品に接続している USB ストレージにパケットをキャプチャして保存することができます。

[エクスポート (📁)] をクリックすると、キャプチャが保存されます。

ファイル名は、「(NIC 名) (日付) (時間) .pcap」の形式で保存されます。

[開く] をクリックすると、USB ストレージの内容が表示されます。

キャプチャしたデータは「取消」をクリックするか、USB ストレージが一杯になるまで保存されます。

パーティション	キャプチャを保存するデバイスを選択します。
ポート選択	キャプチャのポート番号と IP アドレスを指定します。
IP 選択	



- パケットキャプチャは本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。
- 詳細な進行状況は表示されませんが終了するまでお待ちください。
- パケットが Web 管理上ですでに開始されている場合は、パケットをキャプチャすることはできません。

■ネットワークテスト

ネットワーク遅延とパケット損失率をテストすることができます。



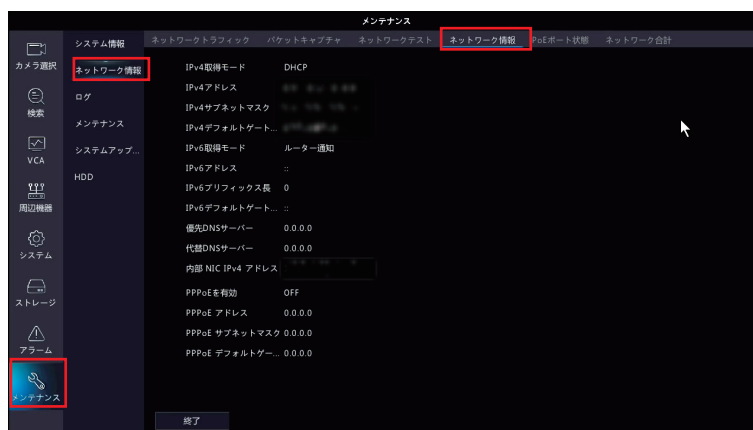
チャンネル選択	カメラを選択します。
テストアドレス	テスト送信するアドレスを設定します。
テスト期間	テスト期間を設定します。 [30s / 1min / 5min / 10min / 30min / 1hour(初期値 : 30s)]
テストパケットサイズ (バイト)	テスト送信するパケットのサイズを設定します。
テスト結果	[テスト開始] ボタンをクリックすると、テスト結果が表示されます。
現在表示中	選択しているカメラを表示します。
チャート	パケット損失率またはネットワーク遅延を設定します。



結果を保存します。
テストを開始します。

■ネットワーク情報

ネットワーク情報を表示します。



■PoE ポート状態

PoE ポートの状態を表示します。



■ネットワーク合計

ネットワーク帯域の使用状況を表示します。



ログ

ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。



項目	内容
開始時刻	ログを取得する時間を設定します。
終了時刻	
メインタイプ	ログの種類（大項目）を選択します。[すべて] を選択することもできます。 [アラーム・システム警告・操作・通知・すべて（初期値）]
サブタイプ	ログの種類（小項目）を選択します。[すべてのタイプ] を選択することもできます。選択したメインタイプの項目により、選択できる項目が異なります。



ライブビューの表示に切り換えると、ログに「IP カメラ簡単検索」のログが残ることがあります。

メンテナンス

■メンテナンス

システム

設定をデフォルトあるいは工場出荷時の設定に戻したり、システムのバックアップをすることができます。実行すると、システムが再起動します。



項目	内容
デフォルト	ネットワーク設定とユーザー設定をのぞいて設定をデフォルトの状態に戻します。
工場出荷設定	設定をすべて工場出荷時に戻します。ネットワーク設定およびユーザー設定も初期化されます。
システムバックアップ	設定情報を USB ストレージデバイスに保存したり、保存した設定情報を読み込むことができます。



カメラ側に設定が保存される内容に関しては、この機能で工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。

システムバックアップ

USBストレージデバイスのパーティションを選択します。

更新ボタン



ストレージデバイス上に新規フォルダを作成します。

設定情報をxml形式のファイルに書き出します。

書き出した設定情報で設定内容を復元します



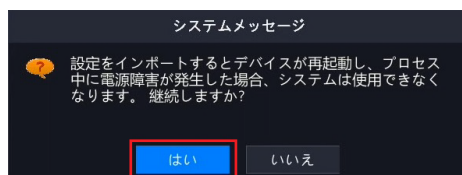
システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。ストレージデバイス上に新規フォルダを作成します。

設定内容を復元する方法

- ① 設定情報を書き出した xml ファイルを選択します。
- ② [インポート] をクリックします。



- ③ 確認のダイアログボックスが表示されますので、[はい] をクリックしてシステムを再起動します。



メンテナンス

システムを再起動する曜日と時間を設定したり、設定した保存日を過ぎたファイルを自動削除します。



項目	内容
自動再起動システム	システムを再起動する曜日と時間を設定します。
ファイルの自動削除	設定した保存日を過ぎたファイルを自動削除します。 ※無効に設定するときは、保存日を未入力状態にしてください。

■診断情報

診断情報を 14 日間保管します。空き容量が満杯になると、一番古い情報が上書きされます。



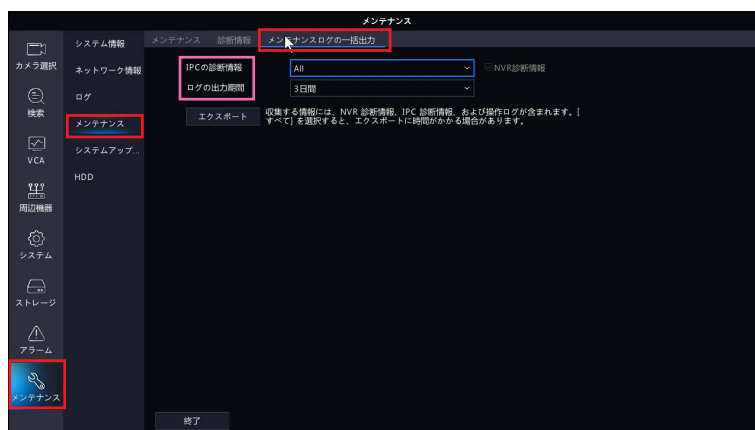
項目	内容				
設備タイプ	診断情報を表示するデバイスを選択します。 本製品の診断情報は毎日 0:00 に生成されます。 カメラの診断情報は毎日 0:05 に生成されます。 <table><tr><td>NVR</td><td>本製品を診断します。</td></tr><tr><td>IPC</td><td>本製品に接続されたカメラを診断します。</td></tr></table>	NVR	本製品を診断します。	IPC	本製品に接続されたカメラを診断します。
NVR	本製品を診断します。				
IPC	本製品に接続されたカメラを診断します。				
現在診断した情報	現在診断した情報の右にある「エクスポート」をクリックすると、診断情報のファイルを USB ストレージデバイスに書き出します。 現在表示されている診断情報のファイルを USB に書き出す場合は、履歴診断情報の番号にチェックを入れ、画面左下の「エクスポート」をクリックします。				



本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。

■メンテナンスログの一括出力

NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。

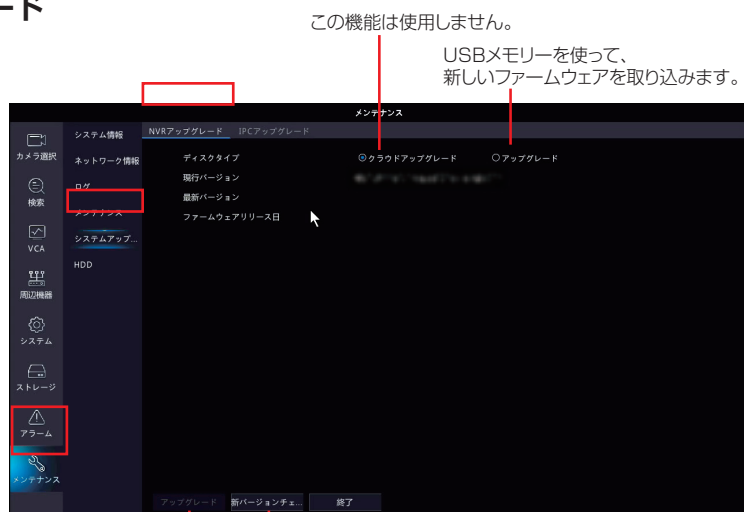


項目	内容
IPC の診断情報	診断情報を出力するカメラをカメラを選択します。
ログの出力期間	[1 日 / 3 日 (初期値) / 7 日 / すべて]
エクスポート	この操作は、NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。「すべて」を選択すると、エクスポートに時間がかかる場合があります。

システムアップグレード

DX アンテナ Web サイトからファームウェアファイルをダウンロードしておきます。
ダウンロードしたファームウェアファイル（ZIP ファイル）を解凍してから、本製品のシステムをアップデートします。

■ NVR アップグレード



ファームウェアファイルを選択したあとにクリックすると、アップグレードが開始されます。

■ IPC アップグレード



ファームウェアファイルを選択したあとにクリックすると、アップグレードが開始されます。



- アップグレード権限のないユーザー（ゲストユーザーの初期権限など）では、ファームウェアのアップグレードはできません。管理者などアップグレード権限を持つユーザーでログインした状態で実施してください。
- パスワード変更できるカメラはオリジナルプロトコルで接続されている必要があります。CNE3CBZ1、CNE3CDZ1、CNE3CPZ1、CNE3CPZH1 のカメラは、パスワードが初期設定から変更していないとき、電源を再起動するとキャリブレーションのため、5 分間レンズユニットが動作します。キャリブレーション途中で 5 分経過するとピントがずれる場合があるため、登録後にカメラのパスワードを変更してください。

■ S.M.A.R.T テスト

ハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路をチェックして、それらの正常性状態を評価します。

重要 このテストの実行中は、ほかの操作は行わないでください。
正しく動作しない場合があります。



評価を開始します。

項目	内容	
ディスク選択	評価するディスクを選択します。	
評価の種類	不足	比較的簡易な評価を行います。
	拡張	より徹底した評価を行います。
	運搬	おもにデータ伝送の問題を検出します。
評価の状態	評価の状態が表示されます。	
メーカー	ハードディスクの情報が表示されます。	
モデル		
ファームウェアバージョン		
ディスク温度 (℃)		
稼働時間 (日)		
自己評価	評価結果が表示されます。[失敗] と表示された場合は、故障する可能性が高いので、すぐにディスクを交換することをおすすめします。	
総合評価		

■不良セクタ検出

ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。



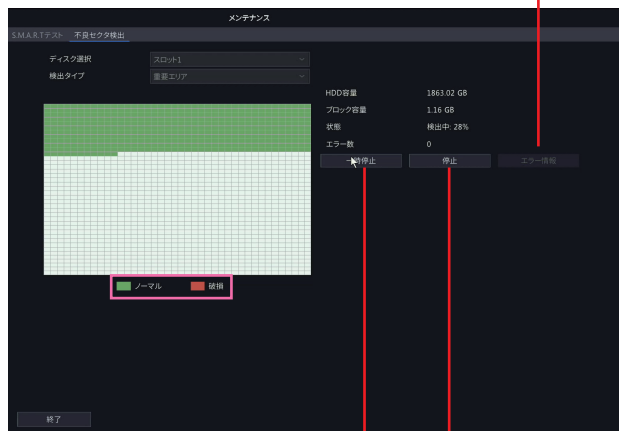
チェック結果が表示されます。

チェックを開始します。

項目	内容	
ディスク選択	チェックするディスクを選択します。	
検出タイプ	重要エリア	ディレクトリなどのデータ管理エリアをチェックします。
	全検出	すべての範囲をチェックします。

不良セクタ検出中

破損 (赤色) が表示されたときにクリックして、詳細を確認します。



検出動作を一時停止します。

検出動作を停止します。

項目	内容	
ノーマル	セクタは問題ありません	
破損	不良セクタがあります。	

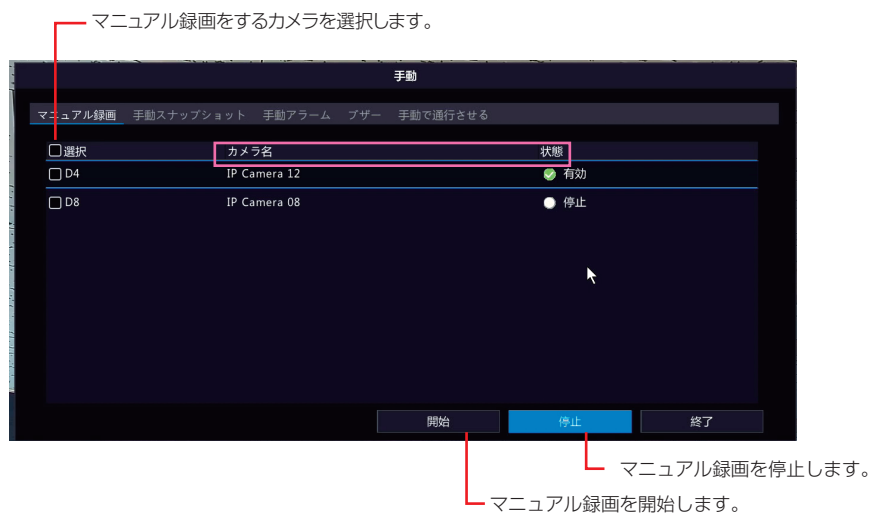
手動

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから「手動」をクリックすると、手動の画面が表示され、「録画」「スナップショット」「アラーム」「ブザー」を手動で設定／解除できます。



マニュアル録画

手動で選択したカメラの録画を開始・停止します。



項目	内容
カメラ選択	カメラ名が表示されます。
状態	録画状態が表示されます。

手動スナップショット

手動で選択したカメラのスナップショットを開始・停止します。



項目	内容
カメラ選択	カメラ名が表示されます。
状態	撮影状態が表示されます。

手動アラーム

手動でアラームにトリガーを設定します。

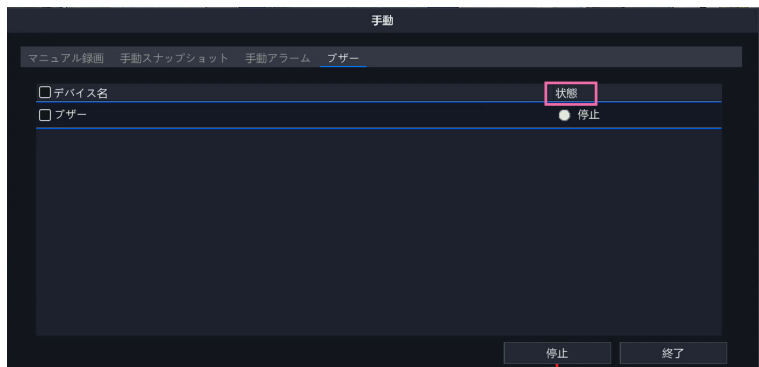
※本製品ではサポートしていません。



項目	内容
トリガー	トリガーの状態が表示されます。

ブザー

ブザーを手動で停止します。



ブザーを停止します。

項目	内容
状態	ブザーの状態が表示されます。

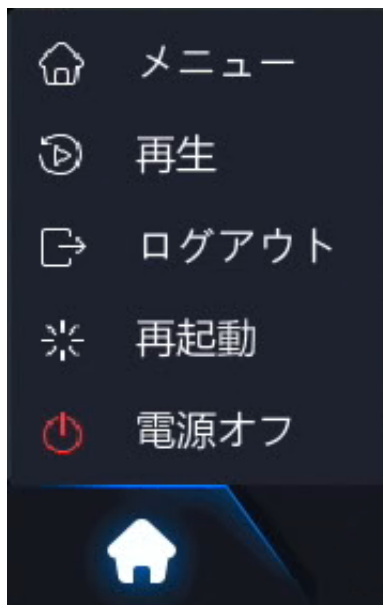
手動で通行させる

本製品ではこの機能はサポートされていません。

電源オフ

電源オフ

システムのログアウト、再起動、電源オフを行います。
ホーム画面 (➡ 16 ページ) を参照してください。



● 電源オフを行っても、ファンが回転するなど、本製品の電源は完全には切れません。

・ 電源を切るとき：

4ch モデル…AC アダプターケーブルを電源コンセントから抜く

8ch モデル…本体背面にある電源スイッチを切にする

・ 電源オフ後に電源を再投入するとき：

4ch モデル…AC アダプターケーブルを電源コンセントに接続する

8ch モデル…体背面にある電源スイッチを入にする

Web 管理画面について

本製品の管理画面を表示する方法は、本製品に“直接モニターを接続する方法”（➡ 7 ページ）以外に“パソコン上のウェブブラウザからカメラを操作する方法（カメラ用 Web 管理画面）”があります。カメラの設定は、カメラ本体の Web 管理画面で設定してください。

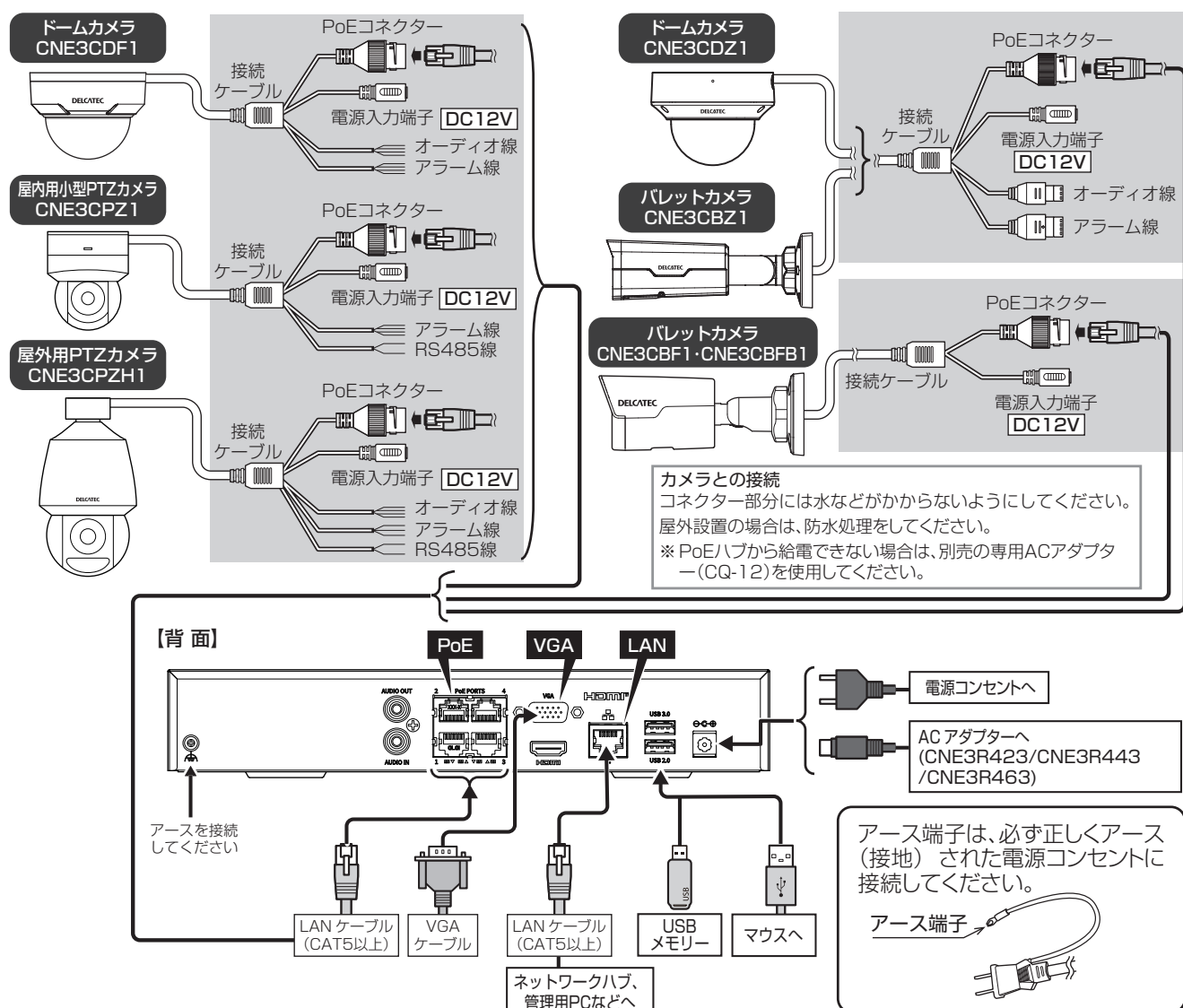
カメラ本体の設定方法については、下記の URL よりカメラ本体用 Web マニュアルの設定ガイドをご確認ください。

**CNE3CDZ1/CNE3CDF1/CNE3CBZ1/CNE3CBF1/CNE3CBFB1/CNE3CPZ1/
CNE3CPZH1**

<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CNE3CBF1.pdf>

本製品の管理画面は、LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザからアクセスすることもできます。

●接続方法については、7 ページの接続方法もあわせてご確認ください。



1 管理用 PC と本製品のレコーダーを LAN ケーブルで接続し、Microsoft Edge または Google chrome を開き、以下のページを表示します。

http://192.168.1.30

- 管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザから上記アドレスにアクセスしてください。



ルーターなど DHCP サーバー機能がある機器を接続すると、「192.168.1.30」ではアクセスできなくなります。その場合は、本製品に割り振られている IP アドレスを入力してアクセスしてください。

IP アドレスの確認するときは、下記の URL より Guard Tools をダウンロードしてください。

<https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?id=2691>

本製品とモニターを HDMI ケーブルで接続し、ログインします。

ホーム画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

「メニュー」→「システム」で「基本」→「ネットワーク情報」を表示し、DHCP 有効のチェックを外し、「適用」を押してください。このとき、IPv4 アドレスに記載されている値が、本製品の IP アドレスとなります。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

初期設定ユーザー名：admin

初期設定パスワード：123456

重要

初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。

ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。

➡ 139 ページ「ログインパスワードを変更する」



- admin ユーザーで複数の PC からでもログインすることができます。

この場合、設定変更などを保存する場合には、最後に保存した人の設定が有効になります

- Web 管理画面にログインするためのパスワードは、モニター管理画面と共通です。すでに変更済みの場合は、変更されたパスワードを入力してください。

- [最新のプラグインをダウンロードしてインストールするには、...] という黄色い帯が表示されたら、クリックし、以下の手順でプラグインをインストールしてください。

① [最新のプラグインを...] の文字をクリックします。

② 画面上部に [Webplugin.exe はデバイスに...] の確認メッセージが表示されますので、[保存] をクリックして、ダウンロード完了後に [ファイルを開く] をクリックします。

③ [このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?] というダイアログボックスが表示されますので、[はい] を選択します。

インストールが始まります。

④ インストールが完了すると、以下のダイアログボックスが表示されますので、[Finish] をクリックします。

すでにプラグインをインストール済みの状態で再インストールを行うと、以下のエラーメッセージが表示されます。

すでに古いバージョンの SurveillanceViewer がインストールされているため、このバージョンをインストールできません。「コントロールパネル」の「アプリと機能」を使用してインストール済みの SurveillanceViewer を削除してください。

●プラグインのインストール

プラグインのインストール使用するブラウザによってインストール方法は異なります。

Microsoft Edge の場合

①黄色のタブをクリックします。



②ダウンロードが表示されます。



③そのほかのアクションをクリックします。



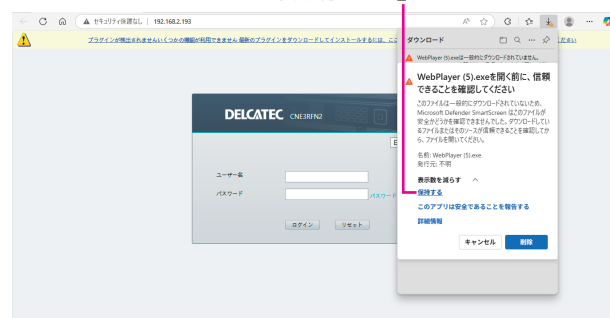
④「保存」をクリックします。



⑤「詳細表示」をクリックします。



⑥「保存する」をクリックする



⑦ダウンロードファイルをクリックして解凍します。



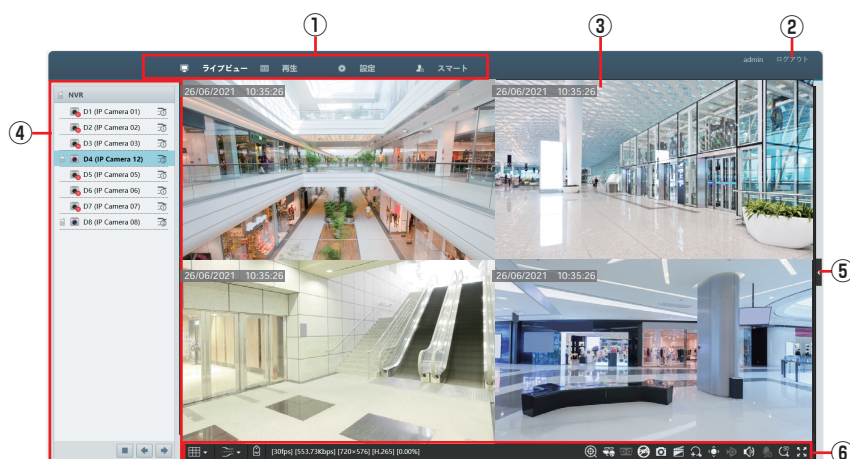
Google chrome の場合

①黄色のタブをクリックします。

②保存場所を選択します。



ホーム画面



番号	項目	内容
①	メインメニュー	ライブビュー ライブビュー画面を表示します。
		再生 再生画面を表示します。 ➡ 21 ページ「録画映像を再生する」
		設定 管理画面を表示します。 ➡ 36 ページ「設定メニューについて」
		スマート 本製品では使用できません。
②	ログアウト	管理画面からログアウトします。
③	ライブビュー	本製品に接続しているネットワークカメラのライブビューが表示されます。
④	カメラ選択リスト	ライブビューに表示するカメラをクリックして選択することができます。
		 クリックすると、双方向通話機能がオンになります。
		 接続中のネットワークカメラです。
		 未接続のネットワークカメラです。
		 ストリームを切り換えます。
		 映像の再生／停止を切り換えます。
⑤	コントロールパネル	PTZ 制御パネルと画像調整パネルを表示します。
⑥	ツールメニュー	➡ 123 ページ「ツールメニュー」

はじめに

準備

設定

その他



はじめて本製品にログインした時は、下記のパスワード変更ダイアログが表示されます。
入力フィールドの外側をクリックすると、入力フィールドにカーソルが一瞬表示され入力可能になったように見える場合がありますが、実際には入力できない状態ですので、フィールドを正しくクリックしてからパスワードを入力してください。

重要

- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
- 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
(付属の取扱説明書内にパスワードを記録する欄を設けておりますので、ご利用ください。)
- パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。

パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。
サポートセンターへお問い合わせください。

ツールメニュー



番号	項目	内容
①	画面分割数	画面の表示レイアウトを選択します。 分割画面は、使用するモデルによって異なります。
②	ストリームタイプ	表示する映像のストリーム形式を選択します。 選択できるストリーム形式は、使用するモデルによって異なります。
③	インテリジェントマーク	使用できません。
④	AcuSearch	(8ch のみ) 使用できません。
⑤	パノラマリンク	使用できません。
⑥	マルチセンサープレビュー	使用できません。
⑦	POS の OSD を有効	使用できません。
⑧	スナップショット	スナップショットを保存します。
⑨	(4ch のみ) 録画 (8ch のみ) ローカル録画開始	映像を録画し、ダウンロードします。 この機能は Web 管理画面を使用しているパソコンに直接記録するものです。設置のときなどに、どのような映像が撮れるのかのサンプル作成などの目的に使用するものですので、Web 管理画面にログインできるすべてのユーザーが使用できます。
⑩	(4ch のみ) デジタルズーム (8ch のみ) デジタルズーム ON	映像を拡大表示します。クリック後、拡大したい範囲をドラッグして指定します。
⑪	(4ch のみ) コントロールパネル (8ch のみ) コントロールパネルを開く	コントロールパネルを開き、PTZ カメラ（対応カメラのみ）を操作したり、画質の調整をしたりすることができます。
⑫	魚眼	(8ch のみ) 使用できません。
⑬	音量	カメラから入る音声の音量を調整します。
⑭	ミュート解除	使用できません。
⑮	3D ポジショニング	(PTZ カメラのみ) ライブ画面上でカメラの方向を変える操作の ON・OFF ができます。
⑯	全画面表示	ライブビュー画面を全画面表示します。ESC キーを押すと、元の画面に戻ります。

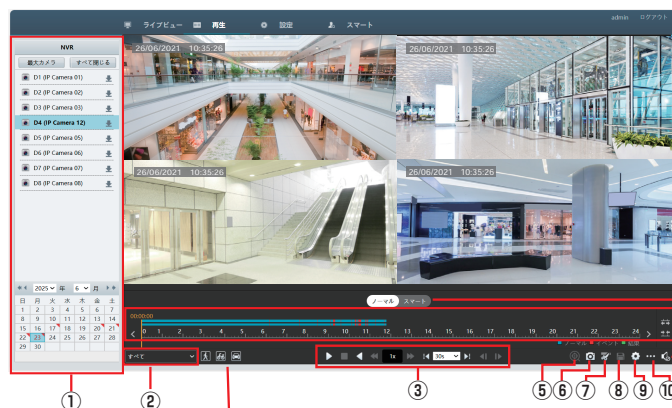
再生画面

はじめに

準備

設定

その他



本製品では使用できません。

本製品では使用できません。

番号	項目	内容												
①	動画選択	録画再生するカメラを選択します。												
②	検知モード	「動体検知」、「自動追跡」、「ビデオロス検出」、「音声検知」、「緊急ブザー」以外の動作についてはサポートしていません。												
③	コントロールパネル	<table><tr><td></td><td>再生／一時停止</td></tr><tr><td></td><td>停止</td></tr><tr><td></td><td>再生速度ダウン／再生速度アップ 一時停止中にこのボタンを操作すると再生が再開されます逆再生のときには速度ダウンボタンで「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません </td></tr><tr><td></td><td>再生速度表示</td></tr><tr><td></td><td>早戻し／早送り (5 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分 / 15 分 / 30 分 / 1 時間から選択できます)</td></tr><tr><td></td><td>コマ戻し／コマ送り</td></tr></table>		再生／一時停止		停止		再生速度ダウン／再生速度アップ 一時停止中にこのボタンを操作すると再生が再開されます逆再生のときには速度ダウンボタンで「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません		再生速度表示		早戻し／早送り (5 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分 / 15 分 / 30 分 / 1 時間から選択できます)		コマ戻し／コマ送り
	再生／一時停止													
	停止													
	再生速度ダウン／再生速度アップ 一時停止中にこのボタンを操作すると再生が再開されます逆再生のときには速度ダウンボタンで「-1x」より遅い速度（-1/2x、-1/4x など）は設定できません													
	再生速度表示													
	早戻し／早送り (5 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分 / 15 分 / 30 分 / 1 時間から選択できます)													
	コマ戻し／コマ送り													
④	タイムライン	前日のタイムラインに移動します。 タイムラインの拡大表示 翌日のタイムラインに移動します。 タイムラインの縮小表示 												
⑤	AcuSearch	使用できません。												
⑥	スナップショット	クリックすると、現在アクティブ状態になっているカメラの画像が保存されます。保存先は画面上部に一時的に表示されます。												

番号	項目	内容
⑦	クリッピング	ビデオの一部を切り取って保存することができます。 タイムライン上の切り取りを開始したい位置でクリック後、クリッピングボタンをクリックし、タイムライン上の終了したい位置でもう一度クリックして指定します。 切り取られる箇所は水色で表示されます。
⑧	保存	クリッピングした箇所の映像をダウンロードします。
⑨	設定	明瞭度：HD / SD から選択します。 表示比率：フル／オリジナルから選択します。
⑩	もっと	デジタルズーム：画面の一部を拡大表示します。 ボタンをクリックした後、拡大したい箇所をドラッグして拡大します。 カスタムタグ：追加選択中の再生位置に任意の名前のタグを付けます。 POS の OSD を有効：本製品では使用できません。 魚眼：この機能は使用できません。
⑪	音量	スライダーで音量を調整します。 スピーカーアイコンをクリックするとミュート（消音）になります。

録画データの再生

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、管理用パソコンにファイルとして保存することができます。

- 映像のファイル形式は、「.mp4」です。



詳しいWEB 管理画面の表示方法は118ページ「Web 管理画面について」をご参照ください。

1 メインメニューから「再生」を選択します。

再生画面が表示されます。

2 再生したいカメラを選択します。

3 日付を選択します。

4 「クリッピング開始」をクリックします。

5 開始時間をタイムバーで操作します。

6 「クリッピング終了」をクリックします。

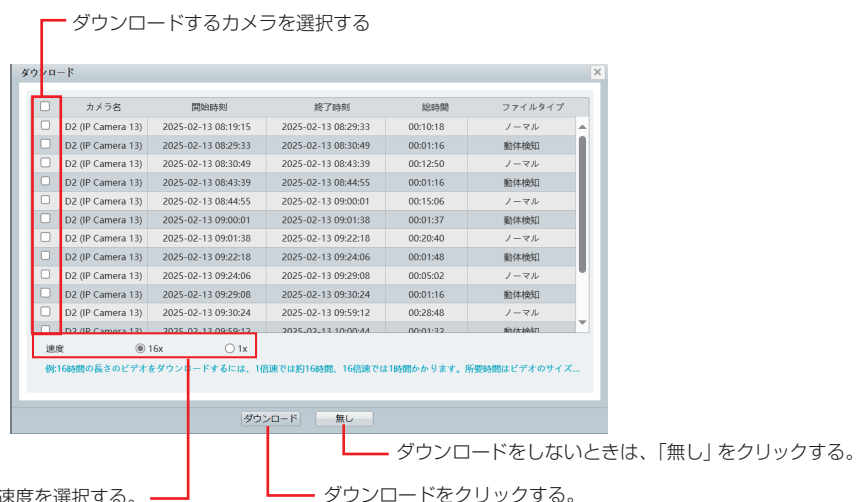
7 終了時間をタイムバーで操作します。

8 「保存」をクリックします。



9 ダウンロード画面が表示されますので、ダウンロードするカメラと速度を設定して、ダウンロードをクリックします。

ダウンロードが開始されます。



- ダウンロード中は、画面右上に進捗状況が%で表示されます。クリックすると、進捗の詳細が確認できます。
- ダウンロードが完了すると、「ダウンロード成功」と表示されます。
- ダウンロードしたファイルは以下の場所に保存されます。
C: ¥Users ¥ [ユーザー名] ¥WebPlugin_NVR ¥Download ¥ [ネットワークレコーダーの IP アドレス]



ダウンロード先フォルダを変更する場合は

- ①メインメニューから「設定」を選択します。
- ②サブメニューから「クライアント」を選択します。
- ③「ファイルを保存」の「参照」をクリックしてフォルダを選択します。



設定画面

Web ブラウザー上で本製品の設定を行います。設定内容はモニター管理画面とほぼ同じです。

●クライアント

メニュー項目	内容	ページ
クライアント	管理用 PC 側の設定を行います。	132 ページ

●システム

メニュー項目	内容	ページ
基本設定	本製品の basic 情報を設定します。	—
画面表示	モニター管理画面の表示に関する設定を行います。「シーケンス間隔」の設定が可能です。この機能も Web 管理画面でのライブビュー切り換えではなく、モニター管理画面で切り換え機能です。	73 ページ
時刻	時刻	70 ページ
	カメラの時刻同期	71 ページ
サマータイム	サマータイムを設定します。	70 ページ
休日	休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。	72 ページ
シリアル	(8ch のみ) シリアル通信方式を表示します。	—
セキュリティ	IP アドレスフィルタリング	83 ページ
	HTTPS	—
	ONVIF 認証	84 ページ
	SSH	—
	ARP 保護	—
	ウォーターマーク	—

●カメラ選択

メニュー項目	内容	ページ
カメラ選択	カメラ選択	37 ページ
	魚眼	—
	アドバンスド	40 ページ
エンコード	映像のエンコード設定を行います。	41 ページ
音声検出	音声検出するカメラの設定を行います。	43 ページ
画面表示設定	基本	44 ページ
	画面表示内容	45 ページ
画像	画像設定を行います。	46 ページ
プライバシーマスク	映像の 1 部を覆いたいときに設定します。	52 ページ
パノラマリンク	本製品では使用できません。	—

●周辺機器

メニュー項目		内容	ページ
IP スピーカー	IP スピーカー	本製品では使用できません。	—
	オーディオファイル	(8ch のみ) 本製品では使用できません。	
POS	POS	本製品では使用できません。	
	POS OSD	(8ch のみ) 本製品では使用できません。	

●ストレージ

メニュー項目	内容	ページ
録画スケジュール	録画スケジュールを設定することができます。	85 ページ
スナップショットスケジュール	スナップショットのスケジュールの設定をすることができます。	87 ページ
スナップショット	スケジュールまたはイベント起動によって撮影されるスナップショットの画質と間隔の設定を行います。	87 ページ
ハードディスク	内蔵ハードディスクの設定をすることができます。	88 ページ
ディスクグループ	本製品では使用できません。	—
容量設定	カメラごとに映像と画像を保存する場所を指定します。	89 ページ
アドバンスド	ディスク容量が満杯になったときの動作を設定します。	91 ページ

●アラーム

メニュー項目	内容	ページ
動体検知	動きを検知したときにアラームを出力します	94 ページ
タンバリング	カメラが覆われたときにアラームを出力します。	95 ページ
人体検知	CNE シリーズのカメラではこの機能はサポートされていません。	—
ビデオロス検出	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力し、カメラの LAN 切断などのトラブルを検出できるようになります。	96 ページ
アラーム入力	本製品のカメラではこの機能はご利用になれません。	—
アラーム出力	本製品ではこの機能はサポートされていません。	—
音声検知	カメラが突然の音の変化を検知したときに右上にアラームアイコンが表示されます。	98 ページ
手動	アラームを手動で開始 / 停止をします。	114 ページ
ブザー	ブザーを鳴らす時間を設定します。	99 ページ
ワンキー警戒解除	すべてのアラーム設定をまとめて、一時的に解除する設定をします。	100 ページ
人体検出アラーム	本製品ではこの機能はサポートされていません	—

●システム警告

メニュー項目	内容	ページ
システム警告	システムに関する警告について設定します。	97 ページ

●ネットワーク情報

メニュー項目	内容	ページ
TCP/IP	TCP/IP の設定をします。	76 ページ
PPPoE	本製品では設定できません。	—
P2P	P2P の設定をします。	<OV> ページ
DDNS	DDNS の設定をします。	77 ページ
ポート	ポートの設定をします。	79 ページ
ポートマッピング	ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。	80 ページ
E メール	アラーム発生時に送信する Eメールの設定をします。	78 ページ
マルチキャスト	本製品では設定できません。	—
FTP	本製品では設定できません。	—
カスタムルート	本製品では設定できません。	—

●プラットフォーム

メニュー項目	内容	ページ
ビデオ&画像データベースサーバー	ビデオ&画像データベースサーバー (8chのみ) 本製品では設定できません	—
	VIID ローカル の設定 (8chのみ) 本製品では設定できません	—
SNMP	本製品では設定できません	—
LAPI プラットホームへのアクセス	LAPI プラットフォームへのアクセス LAPI を管理するサーバーに接続します。	—
アラームサービス	本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からのサポートは対象外です。	—

●ユーザー管理

メニュー項目	内容	ページ
ユーザー管理	ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。	81 ページ

●メンテナンス

メニュー項目		内容	ページ
ネットワーク情報	ネットワークトラフィック	(* Web 管理画面上では「ネットワークフロー」と表示されます) NIC1 の受信と送信のレート状況をグラフ化 (自動更新) します。	103 ページ
	パケットキャプチャ	パケットキャプチャの設定を行います (メンテナンス用)。	104 ページ
	ネットワークテスト	ローカルネットワーク内にあるアドレスへネットワークテストを行います。	105 ページ
	ネットワーク情報	ネットワーク情報を表示します。	106 ページ
	PoE ポート状態	PoE ポートの状態を表示します。	106 ページ
	ネットワーク合計	ネットワーク帯域の使用状況を表示します。	106 ページ
ログ		ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。	107 ページ
HDD	S.M.A.R.T の実行	ハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路をチェックして、それらの正常性状態を評価します。	112 ページ
	不良セクタ検出	ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。	113 ページ
ユーザー管理		現在管理画面ログインしているユーザーを表示します。	103 ページ
カメラ選択		カメラの状態を表示します。	102 ページ
録画ステータス		録画の状態を表示します。	102 ページ
メンテナンス	メンテナンス	デバイスの再起動や工場出荷状態の操作、設定ファイルのインポート・エクスポートを行います。	108 ページ
	診断情報	診断情報を保存することができます。	109 ページ
メンテナンスログの一括出力		カメラの診断情報と NVR の診断情報と操作ログを一括して出力します。	—
ストリーミング管理	ライブビュー	他の人がブラウザでライブや録画を再生しているとき、切断を押せばその映像再生を強制的に停止できます。	—
	再生	切断された側は、再生ボタンを押せばもう一度再生することは可能です。	

●アップグレード

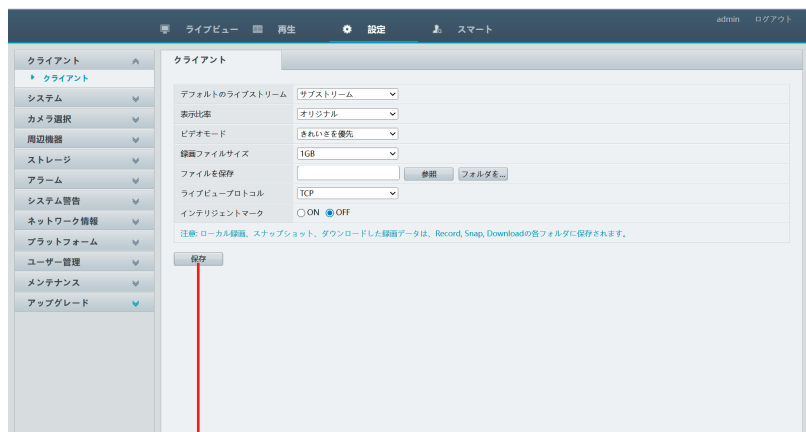
メニュー項目	内容	ページ
NVR アップグレード	ネットワークレコーダーのファームウェアをアップデートします。	111 ページ
IPC アップグレード	カメラのファームウェアをアップデートします。	

※ DX アンテナ Web サイトからファームウェアファイルをダウンロードしておきます。

ダウンロードしたファームウェアファイル (ZIP ファイル) を解凍してから、本製品のシステムをアップデートします。

クライアント

Web 設定画面にアクセスする PC との通信、映像を保存するフォルダなどの設定を行います。



設定後、保存ボタンを押します。

項目	内容	
デフォルトのライブストリーム	デフォルトで表示するストリームを選択します。 [メインストリーム／サブストリーム（初期値）／サードストリーム]	
表示比率	フル（初期値）	映像を画面に合わせて伸縮し、全画面表示します。
	オリジナル	オリジナルの画面比率を保持します。
ビデオモード	リアルタイム優先	ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。
	きれいさを優先（初期値）	ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。
録画ファイルサイズ	録画する映像の最大ファイルサイズを設定します。 [256MB / 512MB / 1GB（初期値）]	
ファイルを保存	映像データを Web 設定画面上から保存するときの保存先フォルダです。	
ライブビュープロトコル	TCP（初期値）	通常選択します。
	マルチキャスト	本製品でマルチキャストを有効にした場合のみ選択します。
インテリジェントマーク	使用できません	

カメラ選択—カメラ選択

新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。また、各カメラの Web 管理画面にアクセスすることもできます。



オンラインのカメラは
緑色で表示されます。

カメラの管理画面に
アクセスしています。

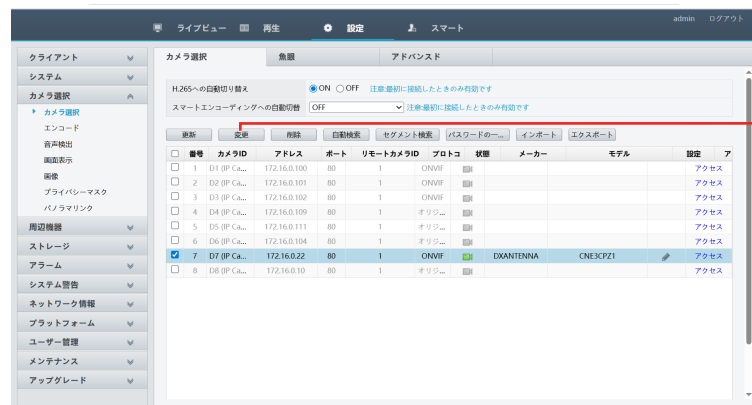
選択したいカメラの行をクリックすると背景色が青色
に変わり、選択された状態になります。

重要

- ネットワークレコーダーと同じローカルネットワークのパソコンからのみ「アクセス」を利用可能です。また、「アクセス」をクリックすると、カメラの Web 管理画面を表示することができますが、本機能はネットワークレコーダーでは管理できない一部機能（microSD カードの管理など）のために設けています。
- カメラの設定を変更したり、ファームウェアをアップデートするときは、ご使用になるカメラの管理画面から設定を変更してください。
- ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合には、ネットワークレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。

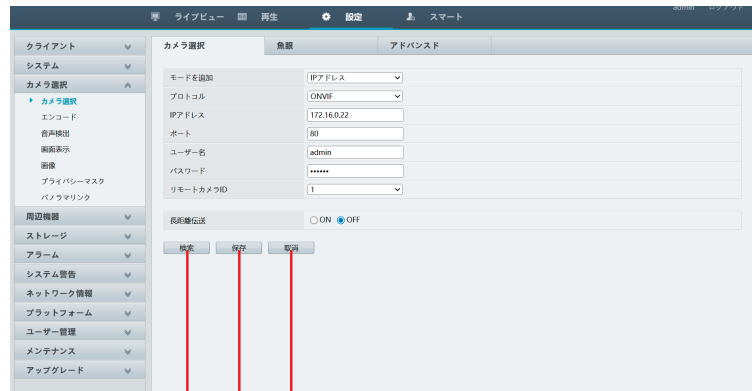
項目	内容
H265 への自動切り替え	ON に設定すると、本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にビデオ圧縮形式を「H.265」に設定します。[ON / OFF (初期値)]
スマートエンコーディングへの自動切り替え	ON に設定すると、本製品にカメラを初めて接続したときに、優先的にスマートエンコーディング設定を選択した設定値に設定します。[ON / OFF (初期値)]
更新	表示を最新の情報に更新します
変更	選択しているカメラの設定を変更します。 ➡ 38 ページ「カメラ変更画面」
削除	登録したカメラを削除します。
自動検索	ネットワーク上にあるカメラを自動的に検索します。
セグメント検索	ネットワーク上にあるカメラのセグメントを指定して検索します。
パスワードの一括編集	選択したカメラのパスワードを一括で変更することができます。
インポート	エクスポートした設定ファイルを読み込みます。
エクスポート	現在の設定ファイルをダウンロードします。

■カメラ選択



変更をクリックすると、
下記の設定画面を表示します。

【設定画面】



設定画面を終了します。
設定を保存します。
ネットワーク上のカメラを検索します。

項目	内容	
モードを追加	プラグ&プレイ	接続されたカメラを自動的に設定します。
	IP アドレス (初期値)	IP アドレスを指定して接続します。
	MyDDNS	外部クラウドサービスでの DDNS を利用して接続します。
	ドメイン名	DDNS サービスを利用して接続します。ネットワークカメラ側で DDNS の設定が必要となります。
プロトコル	カメラとの通信プロトコルを選択します。	
	オリジナル (初期値)	通常は「オリジナル」のままで使用します。
	ONVIF	ONVIF で接続します。
	カスタム	カスタム設定のプリセットが選択できるようになります。プリセットは「プロトコル」ボタンをクリックすると設定することができます。
IP アドレス	変更できません。	
ポート	変更できません。	
ユーザー名	カメラの接続情報を設定します。	
パスワード	カメラの接続情報を設定します。	
リモートカメラ ID	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。通常は初期値「1」のままでご利用ください。	
長距離伝送	本項目は将来の機能拡張用の設定項目となります。現在はご利用いただくことができません。通常は初期値「OFF」のままでご利用ください。	

■アドバンスド

カメラのパスワード変更や、設定をデフォルト管理します。

カメラのステータスを更新します。
カメラパスワードの一括変更：
選択しているカメラのパスワードを変更します。

カメラのパスワード変更をクリックすると、下記のパスワード変更画面を表示します。

カメラのID・パスワードはそのまま、設定を工場出荷時に戻します。

パスワードを変更するためには、カメラがオリジナルプロトコルで接続されている必要があります。

パスワードは、英字・数字・記号をすべて使用した9～32文字で設定してください。

※スペースは入力できません。

【パスワード変更画面】

カメラのパスワード変更

新しいパスワード

パスワード(確認)

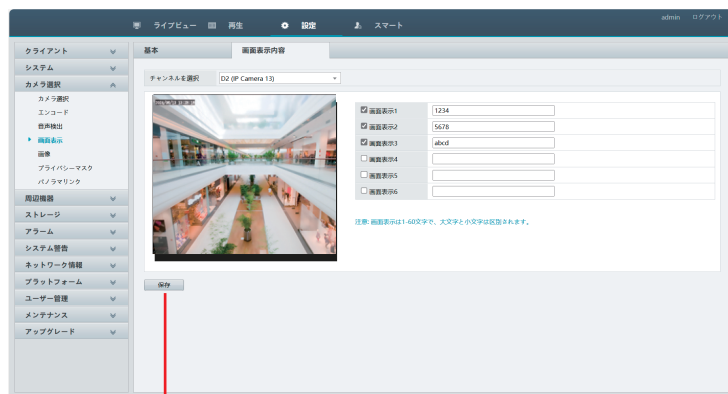
パスワードを同期します ☐ 管理者パスワードを使用します

確認 取消

パスワードを入力しないで、チェックマークを入れると、ネットワークレコーダーと同じパスワードがカメラに適用されます。

カメラ選択—画面表示—画面表示内容

映像上に任意の文字列を表示します。



「保存」をクリックすると、設定を確定します。

項目	内容
チャンネルを選択	設定するカメラを選択します。
画面表示	チェックを入れて、テキスト欄に画面上に表示したい文字を入力します。

メンテナンス—ネットワーク情報—パケットキャプチャ

カメラと本製品の間を流れるパケットをキャプチャできます。

※本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。



項目	内容
NIC 選択	パケットの送信先を指定します。
パケットサイズ	テスト送信するパケットのサイズを設定します。
IP	送信するアドレスを設定します。
ポート	送信するポートを設定します。



- 本機能はメンテナンス用の機能です。テクニカルサポートから指示があったときのみ、ご利用ください。
- パケットキャプチャはシステムデバッグ時の機能です、詳細な進行状況は表示されませんが終了するまでお待ちください
- モニター管理画面でパケットキャプチャをしてるときは、同時に Web 管理画面上でパケットキャプチャを行えません。

メンテナンス—メンテナンス—メンテナンス

■メンテナンス

システムの再起動などを行います。



項目	内容
再起動	クリックすると、システムを再起動します。
デフォルト	ネットワークとユーザーの設定以外を工場出荷時の状態に戻します。
工場出荷設定	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
エクスポート	書き出した環境設定ファイルを読み込んで復元します。
設定環境のインポート	設定環境をインポートします。 「参照」をクリックして、インポートする設定環境を選択します。
クライアントログ	クライアントログが保存されているフォルダを開きます。
自動再起動システム	自動的に再起動する曜日と時間を設定します。
ファイルの自動削除	日にちを指定して自動的にファイルを削除する設定ができます。

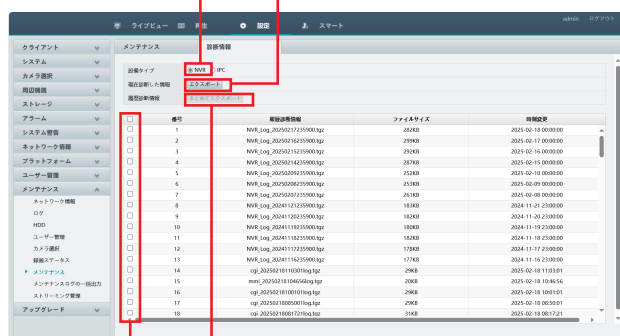


環境設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更している場合は、読み込み後に再設定してください。

■診断情報

ネットワークレコーダーまたはカメラの診断履歴をエクスポートすることができます。

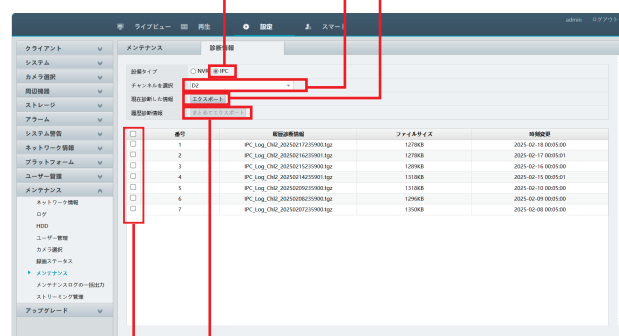
- ネットワークレコーダー
NVRを選択します。
- 現在診断した情報を
エクスポートします。



選択した診断情報をまとめて
エクスポートします。

エクスポートする診断情報を選択します。

- カメラ
IPCを選択します。
- カメラを選択します。
- 現在診断した情報を
エクスポートします。



選択した診断情報をまとめて
エクスポートします。

エクスポートする診断情報を選択します。

アップグレード—NVR アップグレード

ネットワークレコーダーのファームウェアのアップグレードを行います。



項目	内容
モデル	アップデートするデバイスを表示します。
デバイス番号	アップデートするデバイス番号を表示します。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
アップグレード	DX アンテナ Web サイトからあらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して本製品のシステムをアップデートします。
クラウドアップグレード	この機能は使用しません。



カメラの設定を変更したり、ファームウェアをアップデートするときは、ご使用になるカメラの管理画面から設定を変更してください。

故障と判断する前に

■ログインパスワードを変更する

管理画面にログインするパスワードを変更します。パスワードとユーザー名は、モニター管理画面と Web 管理画面で共通のものを使用します。

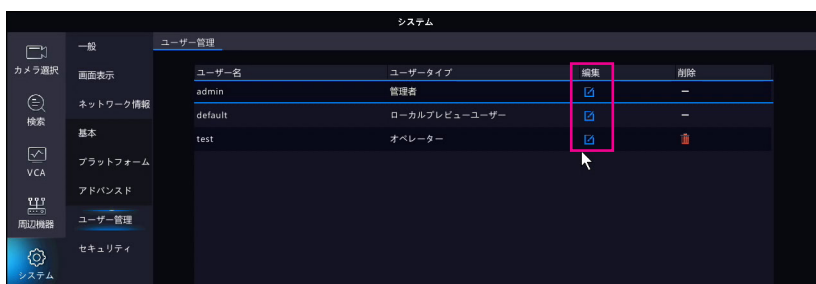
重要

- 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
- 変更したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。
- パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。

パスワードを紛失した場合は、メールアドレスの設定 (➡ 15 ページ) を行っていないと、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。サポートセンターへお問い合わせください。

■モニター管理画面から変更する場合

- 1 ホーム画面で設定メニューアイコンをクリックします。
- 2 認証画面が表示されますので、パスワードを入力して【ログイン】をクリックします。
管理画面が表示されます。
- 3 【システム】 — 【ユーザー管理】 をクリックします。
ユーザー設定画面が表示されます。
- 4 パスワードを変更したいユーザー名の【編集】アイコンをクリックします。



- 5 パスワード入力画面に、現在のパスワードを入力します。
- 6 【変更】画面が表示されますので、【パスワード】と【パスワード（確認）】欄に新しいパスワードを入力し、【確認】をクリックします。

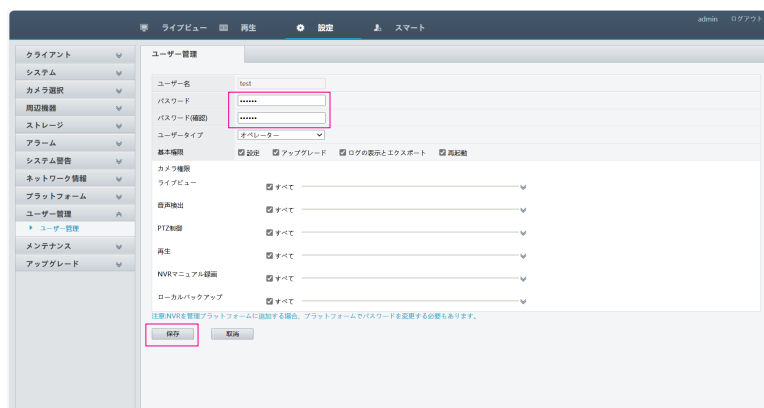
- 9 ～ 32 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。スペースは入力できません。

■ Web 管理画面の場合

- 1 Web 管理画面から【設定】 — 【ユーザー管理】 をクリックします。
- 2 管理者としてログインしている場合は、【ユーザー管理】 画面が表示されますので、パスワードを変更したいユーザーを選択し、【変更】 をクリックします。



- 3 【パスワード】 と 【パスワード (確認)】 欄に新しいパスワードを入力し、【保存】 をクリックします。
【変更】 画面は、ユーザータイプによって設定できる項目が異なります。



- 英字と数字・記号を組み合わせた 9 ～ 32 文字のパスワードを設定してください。
パスワード入力欄の右側にパスワードの強度が表示されるので「強」になるようにしてください。
スペースは入力できません。



5 回ログインに失敗するとロックされます。その場合は、解除されるまで約 10 分お待ちください。

■カメラを本製品に接続しても認識されない

- 1 モニター管理画面の【メンテナンス】 — 【システム情報】 — 【カメラ選択】 を表示します。
Web 管理画面の場合は、【メンテナンス】 — 【カメラ選択】 を表示してください。



- 2 【状態】列にある原因を確認します。

■ネットワーク未接続の場合

ネットワーク接続とネットワーク設定を確認してください。

モニター管理画面：【システム】 — 【基本】 — 【ネットワーク情報】

Web 管理画面：【ネットワーク情報】 — 【TCP/IP】

➡ 76 ページ「ネットワーク情報」

■ユーザー名とパスワードが間違っている場合

カメラのユーザー名とパスワード設定を確認してください。

モニター管理画面：【カメラ選択】 — 【カメラ選択】 — 【カメラ選択】

Web 管理画面：【カメラ選択】 — 【カメラ選択】 — 【カメラ選択】

➡ 37 ページ「カメラ選択」

■弱いパスワードで拒否されている場合

カメラの管理画面にログインし、強固なパスワードを設定してください。

■帯域不足の場合

本製品が処理可能な帯域幅に収まるように、各カメラのビットレートを下げる調整を実施してください。

■ライブビューに映像が表示されない

■モニター管理画面

- 映像の解像度を下げてください。

モニター管理画面：【カメラ選択】 — 【エンコード】

Web 管理画面：【カメラ選択】 — 【エンコード】

➡ 41 ページ「エンコード」

- ライブビューの表示にサブストリームを使用します。

モニター管理画面：【システム】 — 【画面表示】 — 【アドバンスド】

Web 管理画面：なし

➡ 75 ページ「アドバンスド」

- ライブビュー画面でカメラの切り換えができない
➡ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ（1 画面表示）の時に「前」「次」ボタンがクリックできない場合、カメラウィンドウ下にある画面分割ボタンで再度 1 画面表示へ切り換えてください。

■ Web 管理画面

ライブビュー画面下の映像情報でビットレートが [0Mbps] になっていないか確認してください。



0Mbps になっている場合

ファイアウォールを無効にし、ウイルス対策プログラムを停止してください。

0Mbps ではない場合

パソコンのグラフィックカードドライバが正しく機能しているか確認し、必要な場合はドライバを再インストールしてください。

■ ライブビューは表示されているが録画が見つからない

- 録画スケジュールが正しく設定されているか確認してください。
モニター管理画面：[ストレージ] — [録画スケジュール]
Web 管理画面：[ストレージ] — [録画スケジュール]
➡ 85 ページ「録画ステータス」
- 本製品に設定されている時間とタイムゾーンが正しいか確認してください。
モニター管理画面：[システム] — [一般] — [時刻]
Web 管理画面：[システム] — [時刻] — [時刻]
➡ 70 ページ「時刻」
- ハードディスクが正常に動作しているか確認してください。
モニター管理画面：[メンテナンス] — [HDD]
Web 管理画面：[メンテナンス] — [HDD]
➡ 112 ページ「HDD」
- 録画データが上書きされていないか確認する。
HDD の残り容量がなくなったときに録画データを上書きする設定になっていると、もっとも古いデータから上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。
モニター管理画面：[ストレージ] — [アドバンスド]
Web 管理画面：[ストレージ] — [アドバンスド]
➡ 91 ページ「アドバンスド」

■ 動体検知がうまく働かない

- 動体検知の設定を確認してください。
モニター管理画面：[アラーム] — [動体検知]
Web 管理画面：[アラーム] — [動体検知]
➡ 92 ページ「動体検知」

■ ネットワークカメラの映像に横縞（フリッカー）が出る

蛍光灯の光などが映像に入ると、以下のような横縞が発生する場合があります。（図はイメージです）



多くの場合、横縞が
上または、下方向に動きます。

フリッカーは、蛍光灯の状態、設置環境などで発生パターンが異なり、100%抑制することができない場合があります。カメラを設置する際は照明の位置、種類を確認し、フリッカーのでやすい場所を避けて設置するようお願い致します。もし、設置場所や照明の種類を変えられない場合は、下記をお試しください。

- [露出モード] を「カスタム」に変更すると軽減することがあります。

Web 管理画面から設定するときは、下記を参考にしてください

モニター管理画面：[カメラ選択] — [設定] — [画像] — [露出]

設定したいカメラを選択します。



WDR(明暗補正)をONにするとフリッカーがより目立ちます。
必須でない場合は、OFFに設定してください。

- [露出モード] を設定しても改善しない場合は、[補正] を MAX にしてお試しください。



■マウスが動かない

- 付属のマウスを使用してください。
- USB 延長ケーブルを使用している場合は、直接本製品に接続してください。
- マウスが故障している可能性もあります。他の USB タイプのマウスに交換してお試しください。
- 一度本製品を再起動してください。

■キーボードから文字入力ができない

- USB 接続等の外部キーボードは、本製品に接続しても利用できません。
文字の入力を行う際は、画面に表示されるソフトキーボードをマウスでクリックして入力してください。

■カメラの Web 管理画面で設定した設定値とは異なる設定値がレコーダーの設定画面に表示されている

- 本製品にてカメラの設定を行った後で、カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合、本製品の設定画面にはその変更は反映されません。
カメラの Web 管理画面で設定変更を行った場合は、本製品を再起動させてください。
カメラの WebUI でさまざまな設定が変更できますが、カメラの WebUI 側で変更した設定は本製品には反映されません。
本製品とカメラを組み合わせて使用する場合には、ネットワークレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。

■バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できない

- 本製品からバックアップした映像データは、カメラの「エンコード - ビデオ圧縮」で選択した圧縮形式 (H.264 または H.265) で出力されます。
H.265 形式の動画を再生できないときは、Microsoft 社のホームページから「HEVC ビデオ拡張機能」をインストールしてください。

< マイクロソフト社 : HEVC ビデオ拡張機能 >

<https://apps.microsoft.com/detail/9nmz1z57r3t7>

■USB デバイスで、ファイルフォルダが認識できない

- USB デバイスのファイルフォルダは、日本語など 2 バイトコードを使用することができません。

■ モニターに映像が映らない

- ネットワークレコーダーの初期出力解像度は 1280 × 1024/60Hz です。
- Web 管理画面からモニター出力解像度を **1280 × 720** に変更する
 - ① ネットワーク端子に LAN ケーブルで PC を接続します（7 ページ参照）。
 - ② PC のウェブブラウザでネットワークレコーダーの Web 管理画面にログインします（118 ページ参照）。
 - ③ [カメラ選択] — [オーディオとビデオ] — [エンコード] の「解像度」を、ネットワークレコーダーに接続しているモニターが対応している解像度に変更します（41 ページ参照）。
Web 管理画面から画面表示解像度を変更すると、設定変更後にネットワークレコーダーが再起動しますので、ご注意ください。

■ 画面がはみ出して切れた状態で表示される

- TV 側の映像設定によっては、レコーダーからの映像が一部表示されない状態になります。
TV のオーバースキャン機能（従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能）によるものです。
ジャストスキャンまたはアンダースキャン等へ設定変更してください。（設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください）
また、レコーダー側の出力（画面表示解像度）は、お使いのテレビの画素数（水平×垂直）に近い解像度を選択してください。（73 ページ「画面表示」参照）

■ 本製品の PoE 端子にネットワークカメラを接続すると、ネットワークカメラの IP アドレスが変更される

- 事前にカメラに対して IP アドレスを設定しても、本製品につなぐと「プラグ&プレイ」機能により、IP アドレスの設定（上書き）がされて変更されてしまいます。
IP アドレスを手動で設定する場合は、本製品にネットワークカメラ接続した後、「IP カメラ設定」画面で変更します。（38 ページ「IP カメラ設定・IP カメラ変更（カスタム）画面」）

■ 本製品の PoE 端子につながれたネットワークカメラにネットワーク端子側のパソコンからアクセスできない

- LAN ポートにつないでいるパソコンから、ネットワークカメラの IP アドレスへ直接アクセスすることはできません。
ネットワークカメラの管理画面にアクセスするときは、ネットワークレコーダー Web 管理画面の [カメラ選択] — [カメラ選択] 画面からアクセスしてください。（37 ページ「カメラ選択—カメラ選択」）

■ Web 管理画面のとき、ライブビュー画面でカメラの切り換えができない

- ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ表示（1 画面表示）のときに、「前」「次」ボタンがクリックできない場合は、カメラウインドウ下にある画面分割ボタンで、再度シングルウィンドウ表示（1 画面表示）に切り換えてください。

■ Web 管理画面のとき、スケジュール設定で「休日の設定は 8 を超えました」というメッセージが表示された



- スケジュール設定のうち「有効」な時間帯が 8 個以内になるよう、設定してください。
メッセージの文章が一部間違っって表示される場合がありますが、1 日のうち設定できる「有効」な時間帯は最大 8 個です。

使用上のご注意

〈対応ネットワークカメラ〉

本製品は、DXアンテナ製のCNE3Cシリーズのネットワークカメラに対応しています。

〈本製品について〉

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 電源は常時100Vが確保できるコンセントを使用してください。
- 本製品設置時、他機器と重ね置きせず十分なスペースに設置してください。(熱による不具合などの防止の為)
- HDD交換によるデータ消失、不具合などに対する保障はできません。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をオフにしてください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤作動する場合があります。
- 通気口をふさいで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離して使用してください。
- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異状がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障、事故につながる場合があります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられており、ご使用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- 潮風や温泉成分による不具合は保証の対象外となります。
- 防爆機能はありません。
- 本製品の取扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- ご利用のネットワーク環境、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなる場合があります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- 設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。
- カメラの解像度を4対3の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。

〈データの取り扱いについて〉

- 外的要因により、まれに録画できなくなる場合があります。随時、録画状態の確認をしてください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合がございます。本製品が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分ご注意ください。
- 万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではいかなる保証もいたしかねます。

設置上のご注意

〈設置場所について〉

- 本製品は、屋内専用です。屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない場所で使用してください。
- 照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
直射日光の当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／厨房などの湿気、蒸気、油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）／ほこりの多い場所

〈設置作業前の注意〉

- 当社のネットワークカメラおよびネットワークレコーダーをご使用になるネットワーク回線を、他の目的（一般業務用など）で使用するネットワーク回線に接続してご利用になる場合は、動作の保証はいたしません。

〈雷に対しての保護に関する注意〉

- LAN ケーブルを使って本製品をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

- テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈時刻設定に関する注意〉

- 時刻の設定については、本書の 70 ページ「時刻」をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

- 本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は省略させていただきました。